

# 人権に関する市民意識調査報告書

令和4年3月

長岡市



# 目 次

## I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
5. 回答者の属性	2

## II. 調査結果の概要

1. 人権全般について	4
2. 女性の人権に関する問題について	20
3. 子どもの人権に関する問題について	29
4. 高齢者の人権に関する問題について	39
5. 障害のある人の人権に関する問題について	47
6. 同和問題について	55
7. 外国人市民等の人権に関する問題について	80
8. 新型コロナウイルス感染症をめぐる人権問題について	88
9. HIV感染者等をめぐる人権問題について	98
10. ホームレス（路上生活）状態にある人をめぐる人権問題について	106
11. 性的マイノリティ（LGBT等）をめぐる人権問題について	112
12. インターネット上での人権問題について	118
13. 人権を守るための活動について	125
14. 自由意見欄に寄せられた主な意見	131

III. 調査票	141
----------	-----



# I. 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

長岡市では、人権を尊重する地域づくりを進めるために、人権に関するさまざまな施策に取り組んでいる。

このたび、長岡市民を対象に人権に関する意識についてアンケート形式で調査を実施し、人権に関する施策をより効果的に推進していくための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査方法

- (1) 調査地域 長岡市全域
- (2) 調査対象 18歳以上の長岡市民
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による無記名アンケート方式
- (6) 調査時期 令和3年6月28日(月)～7月28日(水)

## 3. 回収結果

標本数	回収件数	回収率
2,000件	798件	39.9%

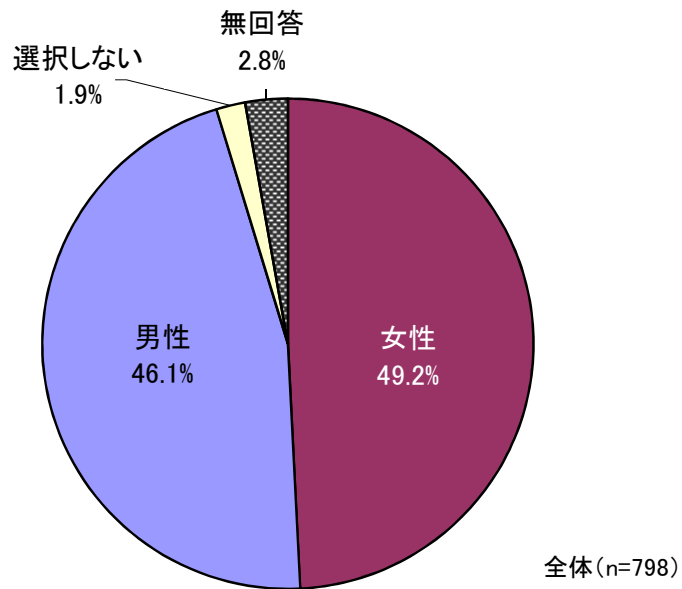
## 4. 報告書の見方

報告書中のグラフ・表の見方については以下のとおり。

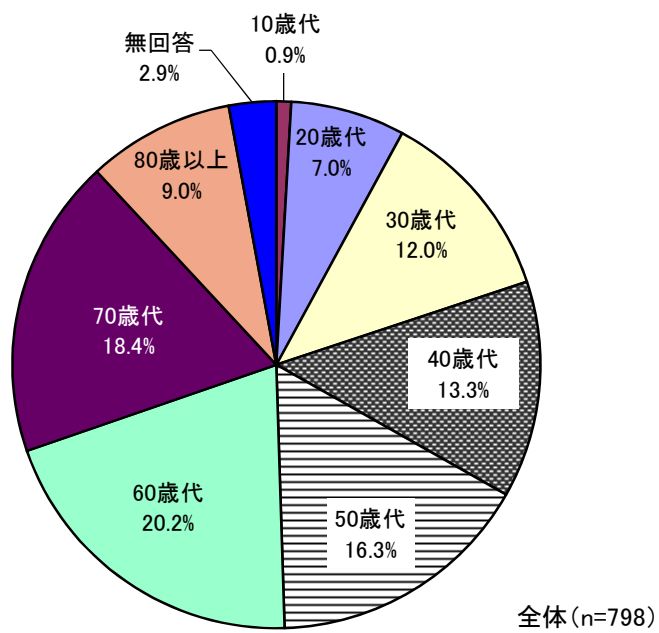
- ①集計結果の数値(%)は単位未満を四捨五入しており、回答比率の合計が100.0%にならないことがある。
- ②全体・性別・年代別の図表は、それぞれの無回答、無効回答を除外した合計を母数として回答比率を算出している。
- ③複数回答形式の設問の場合、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ④グラフ及び表中の「n」とは、Number of Caseの略であり、集計対象者(全体、性別、年代別)の総数を表している。
- ⑤全体の「n」は、性別の無回答や年代別の無回答を含んだものであり、性別(「女性」、「男性」、「選択しない」※)の「n」や年代別(「10歳代」、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」、「80歳以上」)の「n」の合計と一致しないことがある。※性別の「選択しない」は無回答とは異なる。
- ⑥年代別及び地域別のクロス集計については、上位5項目の分析を行っている。

## 5. 回答者の属性

### (1) 性別内訳



### (2) 年代別内訳



(3) アンケート調査回答先（分類不明先含む）の構成内訳表

		実数（人）	構成比（％）
性別	女性	393	49.2
	男性	368	46.1
	選択しない	15	1.9
	無回答	22	2.8
年代別	10歳代	7	0.9
	20歳代	56	7.0
	30歳代	96	12.0
	40歳代	106	13.3
	50歳代	130	16.3
	60歳代	161	20.2
	70歳代	147	18.4
	80歳以上	72	9.0
	無回答	23	2.9

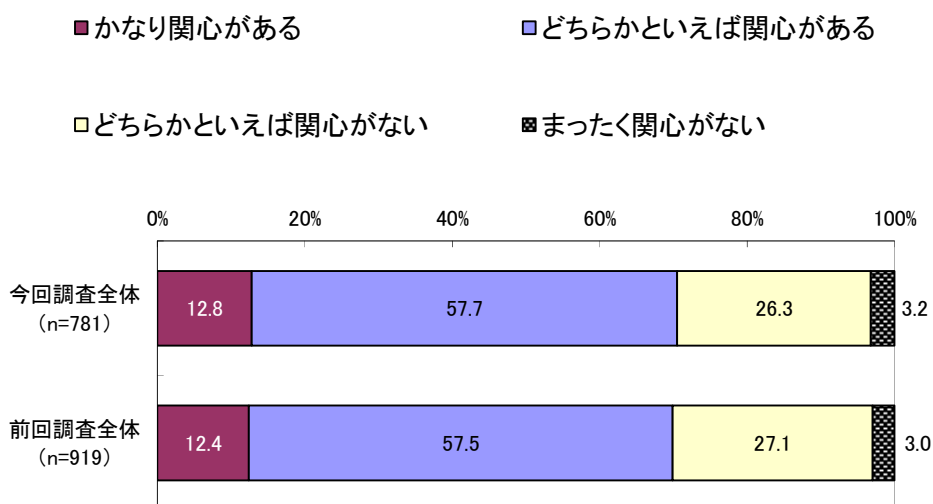
## Ⅱ. 調査結果の概要

### 1. 人権全般について

問1：あなたは、人権に関心がありますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

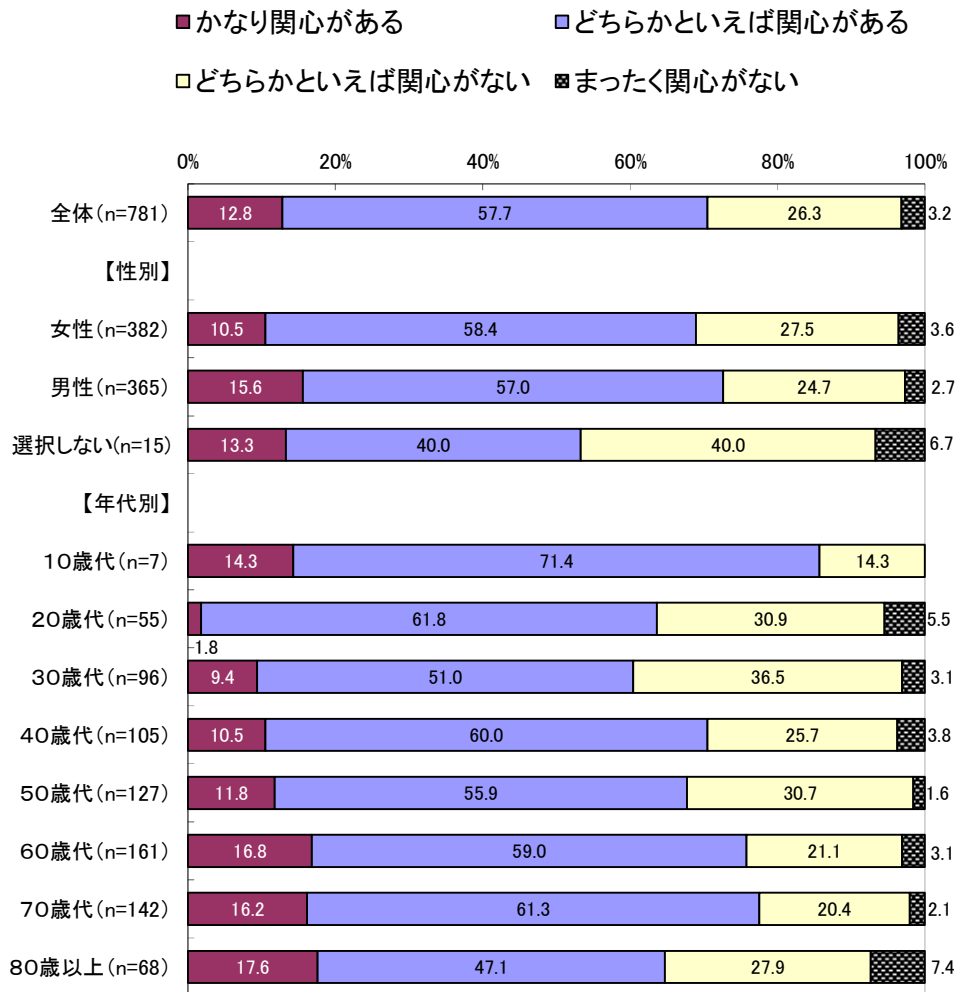
#### 【 全 体 】



- 人権に関心があるか尋ねたところ、全体では「かなり関心がある」が12.8%、「どちらかといえば関心がある」が57.7%で、この2つを合わせた回答（70.5%）が7割を超えた。一方、「どちらかといえば関心がない」は26.3%、「まったく関心がない」は3.2%で、この2つを合わせた回答（29.5%）は3割を下回った。
- 前回（平成28年実施）調査と比較して特に大きな差は見られなかった。



## 【 性別 ・ 年代別 】



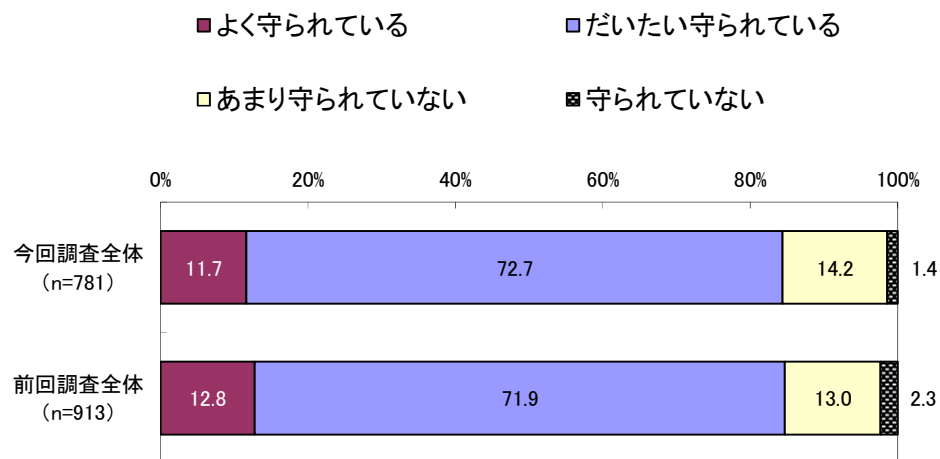
- 性別では、「かなり関心がある」（女性 10.5%、男性 15.6%）と「どちらかといえば関心がある」（女性 58.4%、男性 57.0%）を合わせた回答は男性（72.6%）が女性（68.9%）を 3.7 割上回った。
- 年代別では、「かなり関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた回答は、10歳代（85.7%）で8割を超えた。

問2：あなたは、人権が守られていると思いますか。

◆それぞれあてはまる番号に1つ〇をつけてください。

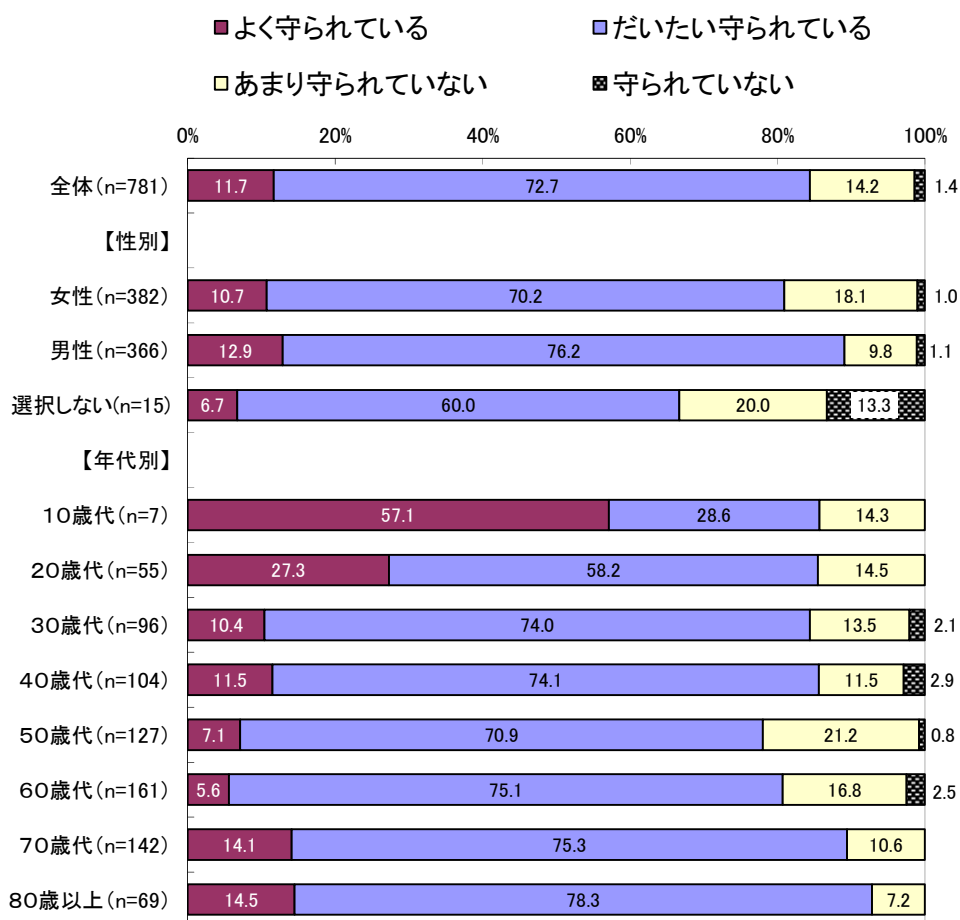
(1) あなた自身の人権について

### 【 全 体 】



- 自分自身の人権が守られていると思うか尋ねたところ、「よく守られている」が 11.7%、「だいたい守られている」が 72.7%で、この2つを合わせた回答（84.4%）が8割を超えた。
- 前回調査と比較して特に大きな差は見られなかった。

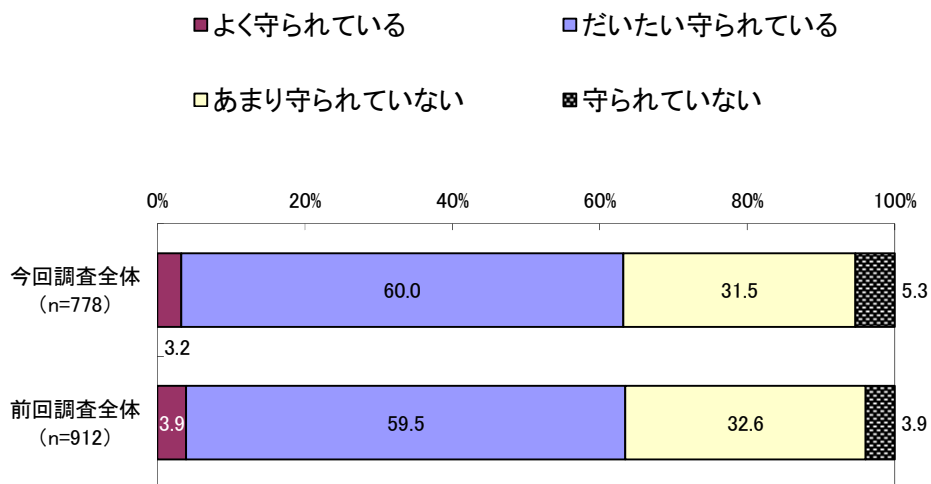
## 【 性別 ・ 年代別 】



- 性別では、「よく守られている」（女性 10.7%、男性 12.9%）と「だいたい守られている」（女性 70.2%、男性 76.2%）を合わせた回答は、男性（89.1%）が女性（80.9%）を 8.2 割上回った。
- 年代別では、「よく守られている」と「だいたい守られている」を合わせた回答は 80 歳以上（92.8%）で 9 割を超えたほか、70 歳代（89.4%）でも 9 割近くに達した。

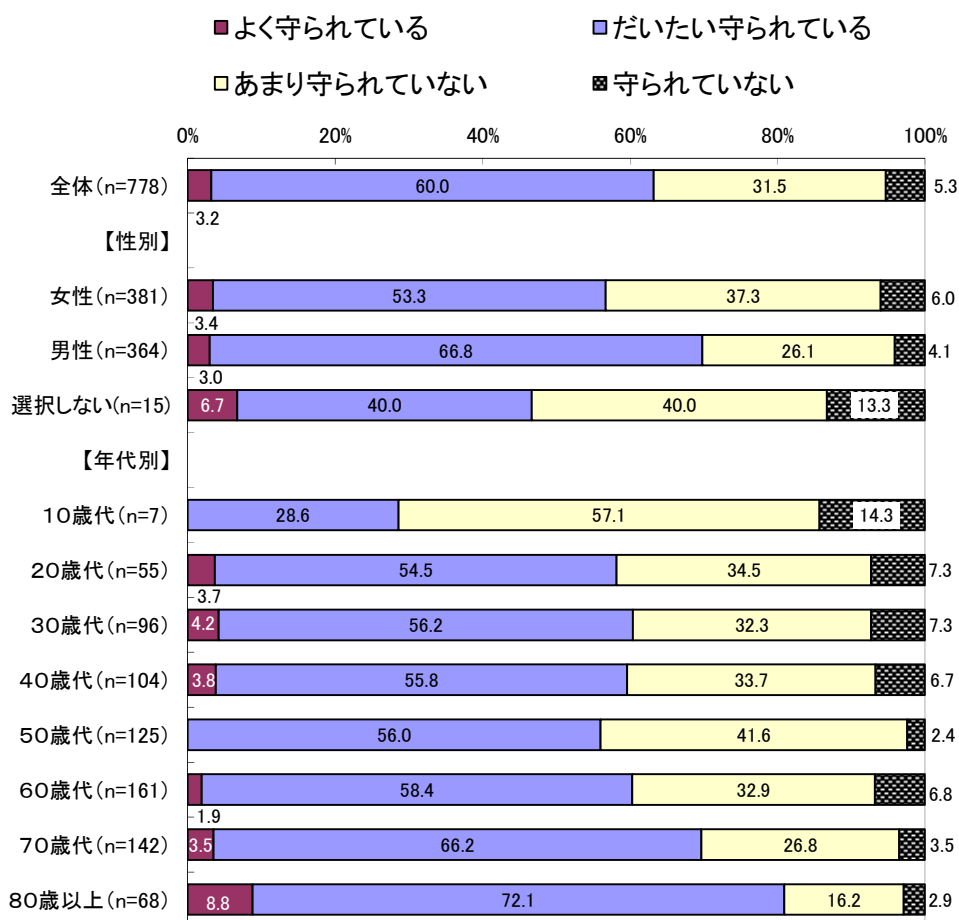
(2) 社会全体について

【 全 体 】



- 社会全体について人権が守られていると思うか尋ねたところ、全体では「よく守られている」が3.2%、「だいたい守られている」が60.0%で、この2つを合わせた回答（63.2%）は6割を超えた。
- 前回調査と比較して特に大きな差は見られなかった。

## 【 性別 ・ 年代別 】

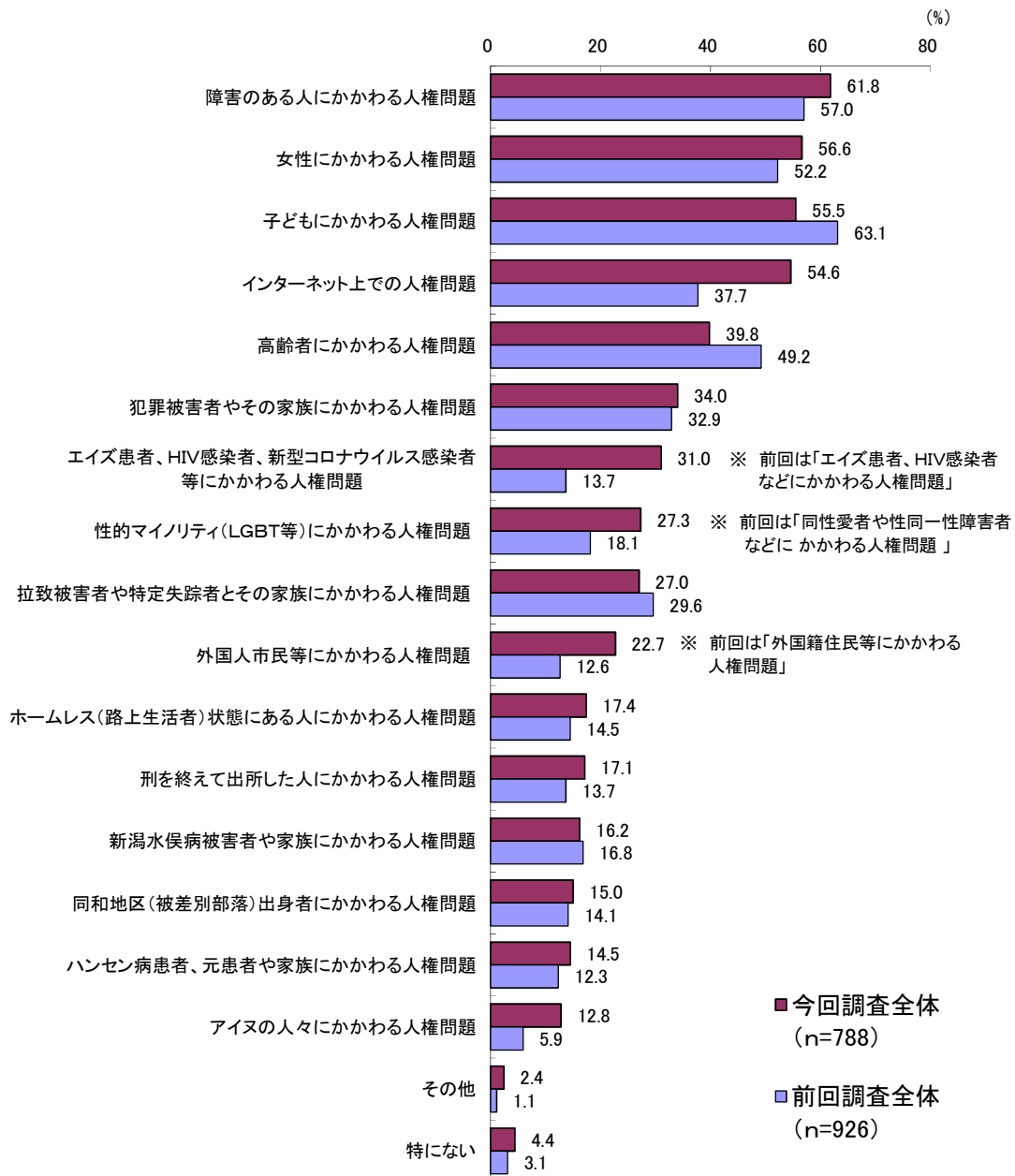


- 性別では、「よく守られている」(女性 3.4%、男性 3.0%)と「だいたい守られている」(女性 53.3%、男性 66.8%)を合わせた割合は、男性 (69.8%)が女性 (56.7%)を 13.1 割上回った。
- 年代別では、「よく守られている」と「だいたい守られている」を合わせた割合は、80歳以上 (80.9%)で8割を超えたほか、70歳代 (69.7%)でも7割近くに達した。

問3：日本の社会には、人権に関わる課題がいろいろありますが、あなたは、どの人権問題に関心がありますか。

◆あてはまる番号にすべて○をつけてください。

【 全 体 】

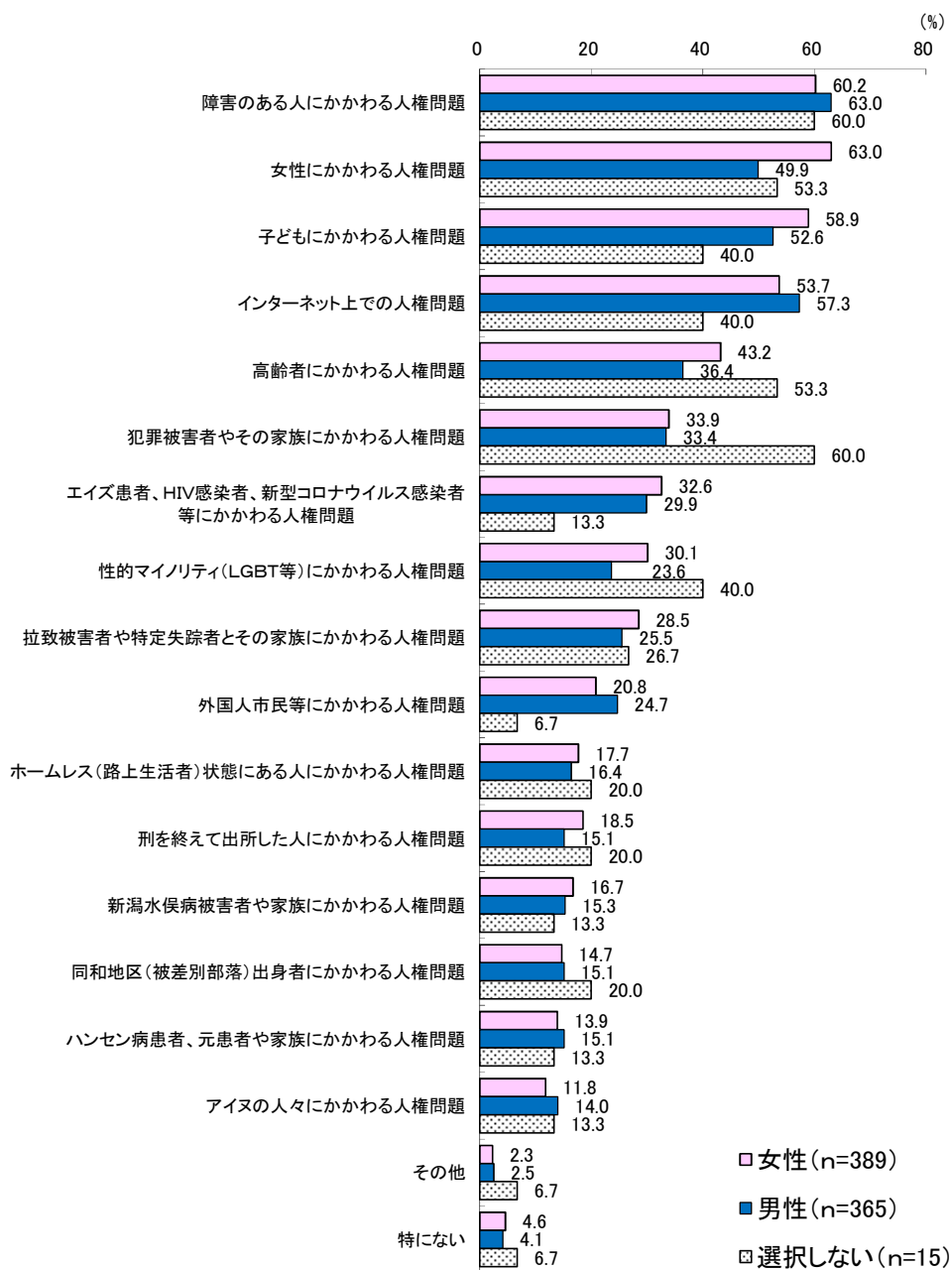


- 関心のある人権問題について尋ねたところ、「障害のある人にかかわる人権問題」(61.8%)が最も高く、「女性にかかわる人権問題」(56.6%)、「子どもにかかわる人権問題」(55.5%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「子どもにかかわる人権問題」(前回 63.1%→今回 55.5%)が7.6ポイント、  
「高齢者にかかわる人権問題」(前回 49.2%→今回 39.8%)が9.4ポイント低下した一方、「インターネット上での人権問題」(前回 37.7%→今回 54.6%)は16.9ポイント上昇した。

#### <「その他」で記載があった主な意見>

- ・ 同調圧力
- ・ 人権の濫用
- ・ 職場内における人権
- ・ 雇用形態による差別
- ・ 犯罪被害者の家族
- ・ 著名人のプライバシー
- ・ 公務員の違法行為
- ・ 職場でのいじめ
- ・ 新型コロナウイルス感染症の患者
- ・ パワーハラスメント
- ・ 原発事故による帰還困難者の問題
- ・ 単身者
- ・ ひとり親

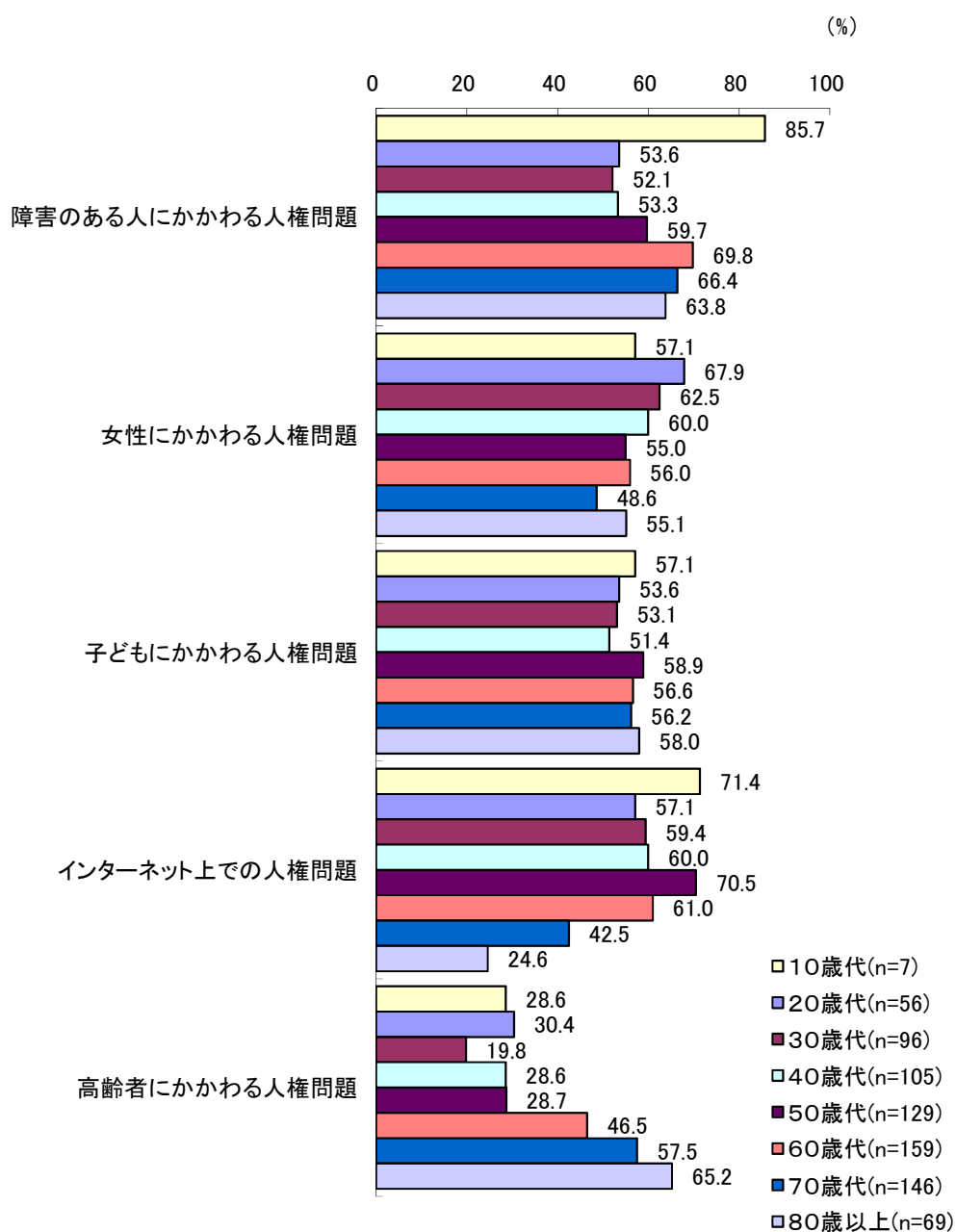
## 【 性別 】



- 性別では、女性は「女性にかかわる人権問題」(63.0%)が最も高く、「障害のある人にかかわる人権問題」(60.2%)、「子どもにかかわる人権問題」(58.9%)が続いた。男性は「障害のある人にかかわる人権問題」(63.0%)が最も高く、「インターネット上での人権問題」(57.3%)、「子どもにかかわる人権問題」(52.6%)が続いた。
- 「女性にかかわる人権問題」では、女性(63.0%)が男性(49.9%)を13.1ポイント上回った。



## 【 年 代 別 】



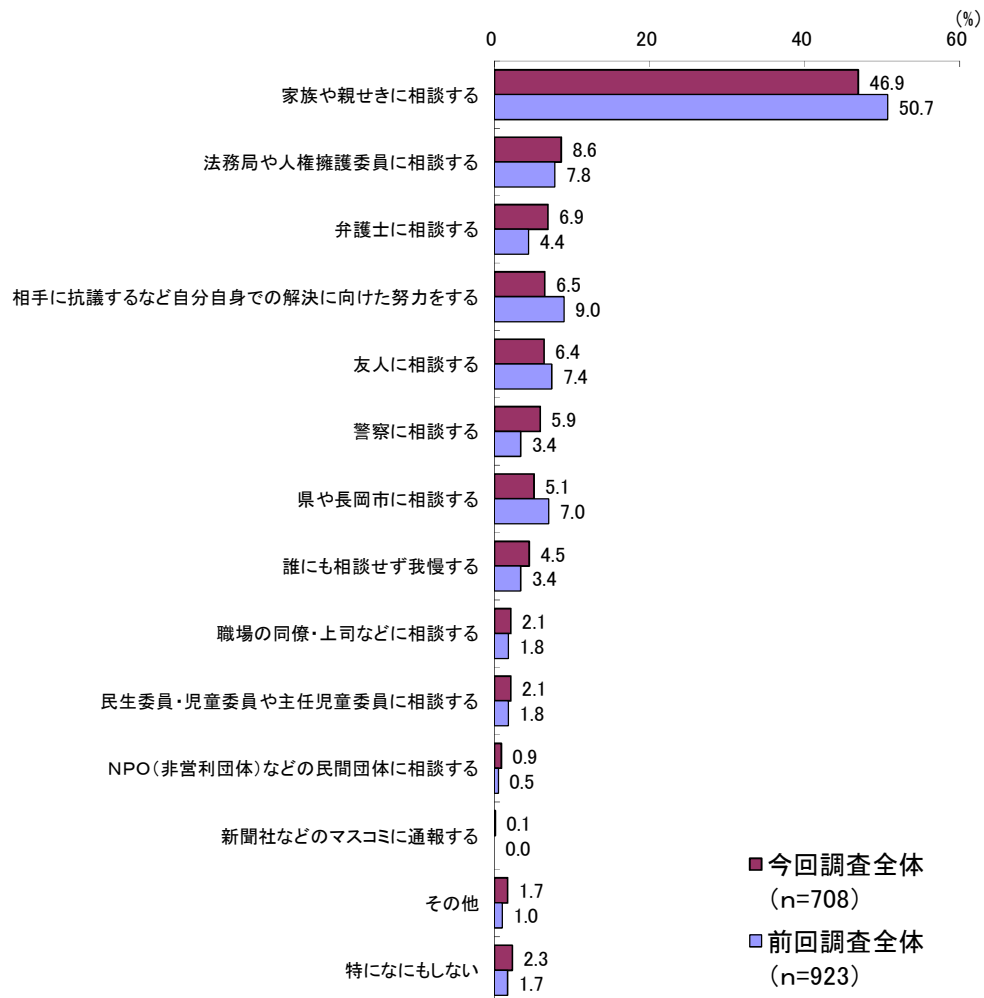
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「障害のある人にかかわる人権問題」は、10歳代（85.7%）で8割を超えたほか、60歳代（69.8%）、70歳代（66.4%）、80歳代（63.8%）で6割を超えた。「インターネット上での人権問題」は10歳代（71.4%）と50代（70.5%）で7割を超えた。

問4：あなたが、もし自己的人権を侵害された場合、まずどのような対応をしますか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

### 【 全 体 】

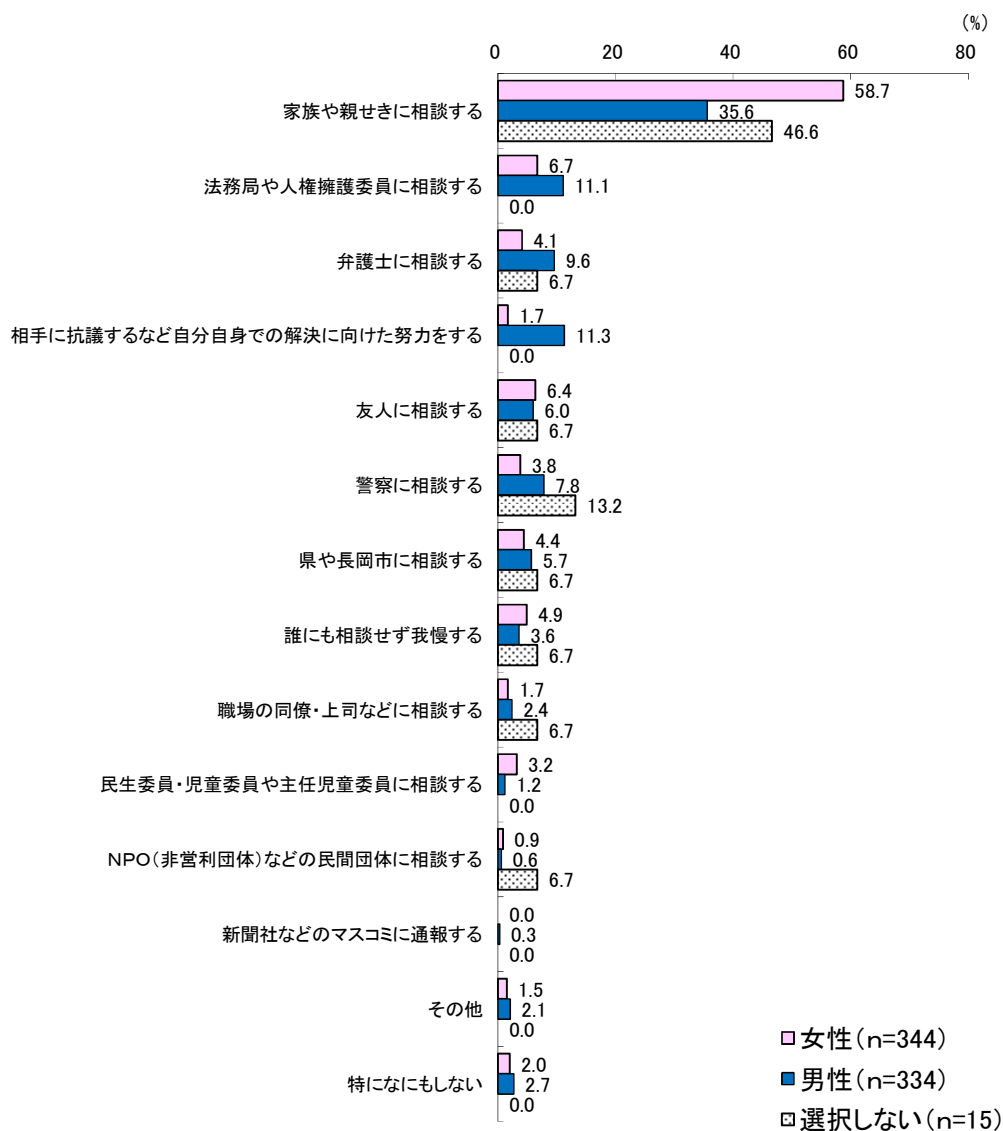


- 人権を侵害された場合、まずどのような対応をするか尋ねたところ、全体では「家族や親せきに相談する」(46.9%)が最も高く、4割を超えた。以下、「法務局や人権擁護委員に相談する」(8.6%)、「弁護士に相談する」(6.9%)、「相手に抗議するなど自分自身での解決に向けた努力をする」(6.5%)が続いた。
- 前回調査と比較して特に大きな差はみられなかった。

<「その他」で記載があった主な意見>

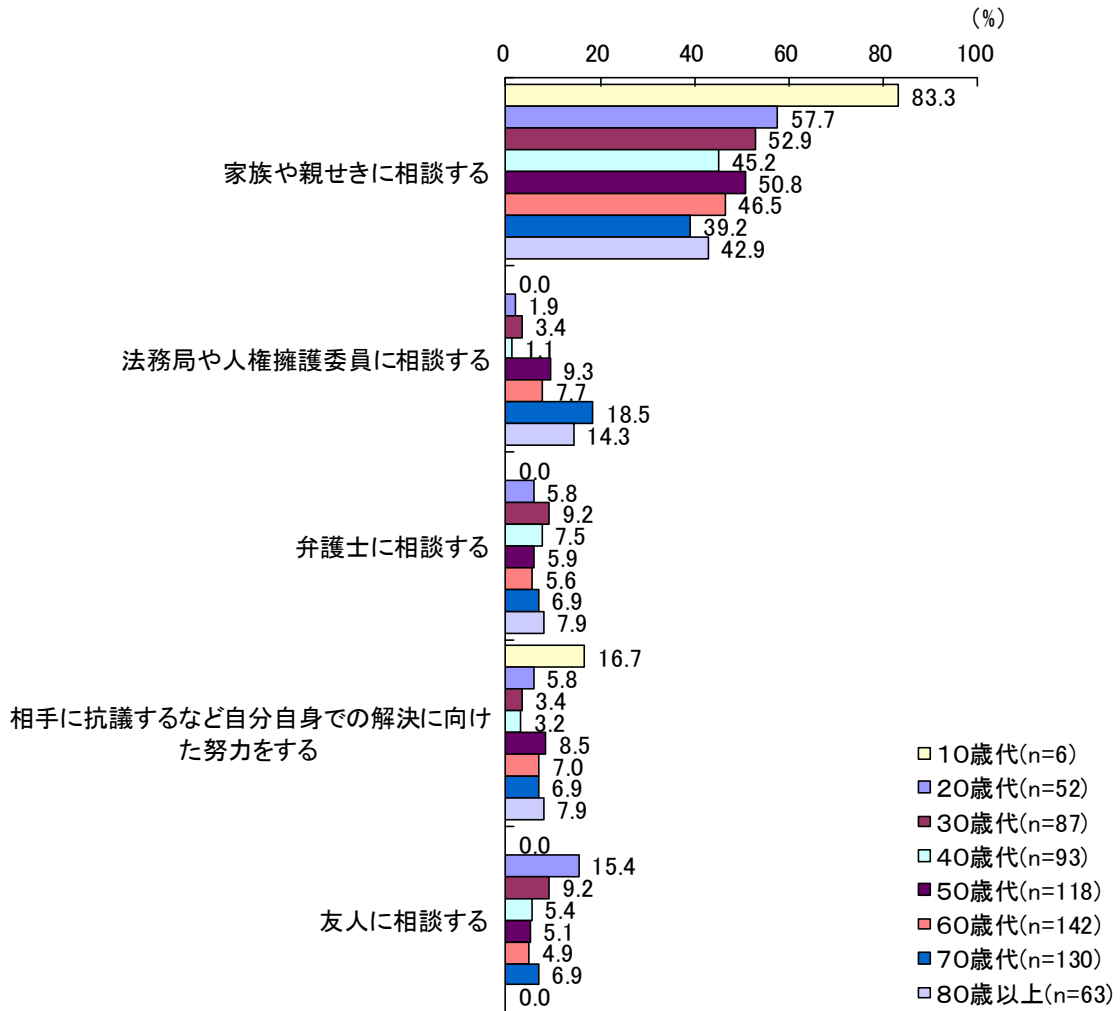
- ・相手を選んで相談
- ・信用できる人に相談する
- ・SNSで拡散する
- ・SNS等インターネットを利用して相談する
- ・実際にその時にならないとわからない
- ・誰に相談したらよいかわからない
- ・インターネットで検索

## 【 性別 】



- 性別では、女性は「家族や親せきに相談する」(58.7%)が最も高く、「法務局や人権擁護委員に相談する」(6.7%)、「友人に相談する」(6.4%)が続いた。男性は「家族や親せきに相談する」(35.6%)が最も高く、「相手に抗議するなど自分自身での解決に向けた努力をする」(11.3%)、「法務局や人権擁護委員に相談する」(11.1%)が続いた。
- 「家族や親せきに相談する」では、女性(58.7%)が男性(35.6%)を23.1ポイント上回り、「相手に抗議するなど自分自身での解決に向けた努力をする」では、男性(11.3%)が女性(1.7%)を9.6ポイント上回った。
- 「法務局や人権擁護委員に相談する」、「警察に相談する」、「県や長岡市に相談する」など公的機関に相談すると回答した割合は、いずれも男性が女性を上回った。

## 【 年 代 別 】



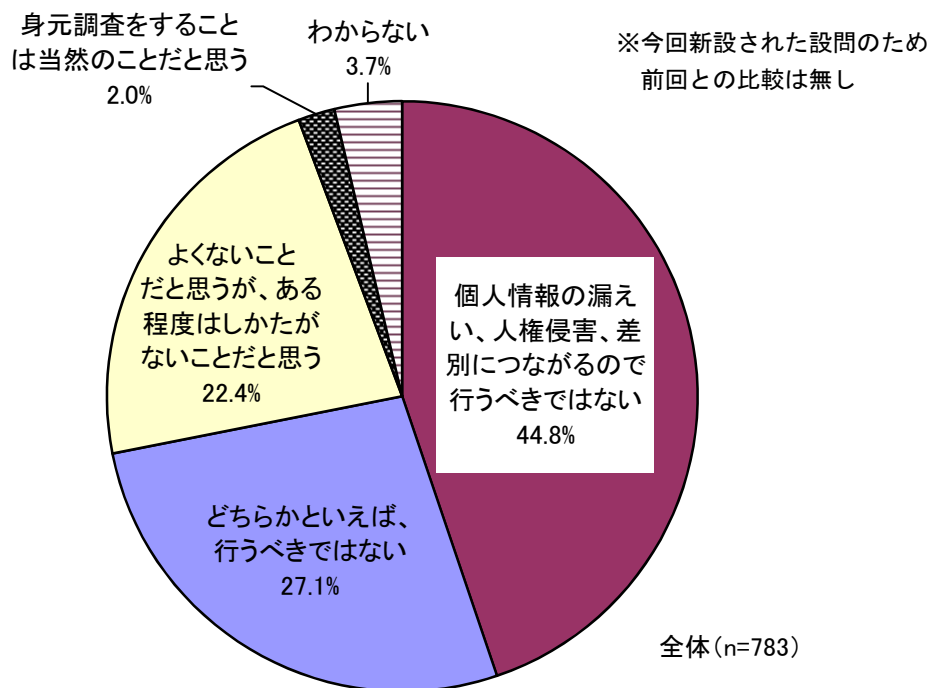
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「家族や親せきに相談する」は10歳代（83.3%）で8割を超えたほか、20歳代（57.7%）、30歳代（52.9%）、50歳代（50.8%）で5割を超えた。
- 全ての年代で「家族や親せきに相談する」が突出して高く、30歳代以下で「法務局や人権擁護委員に相談する」が極端に低かった。

問5：本人の知らないところで第三者が勝手に本籍、出生、家庭環境、国籍、資産などを調べることを身元調査といいます。第三者が本人の了承を得ないで身元調査を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

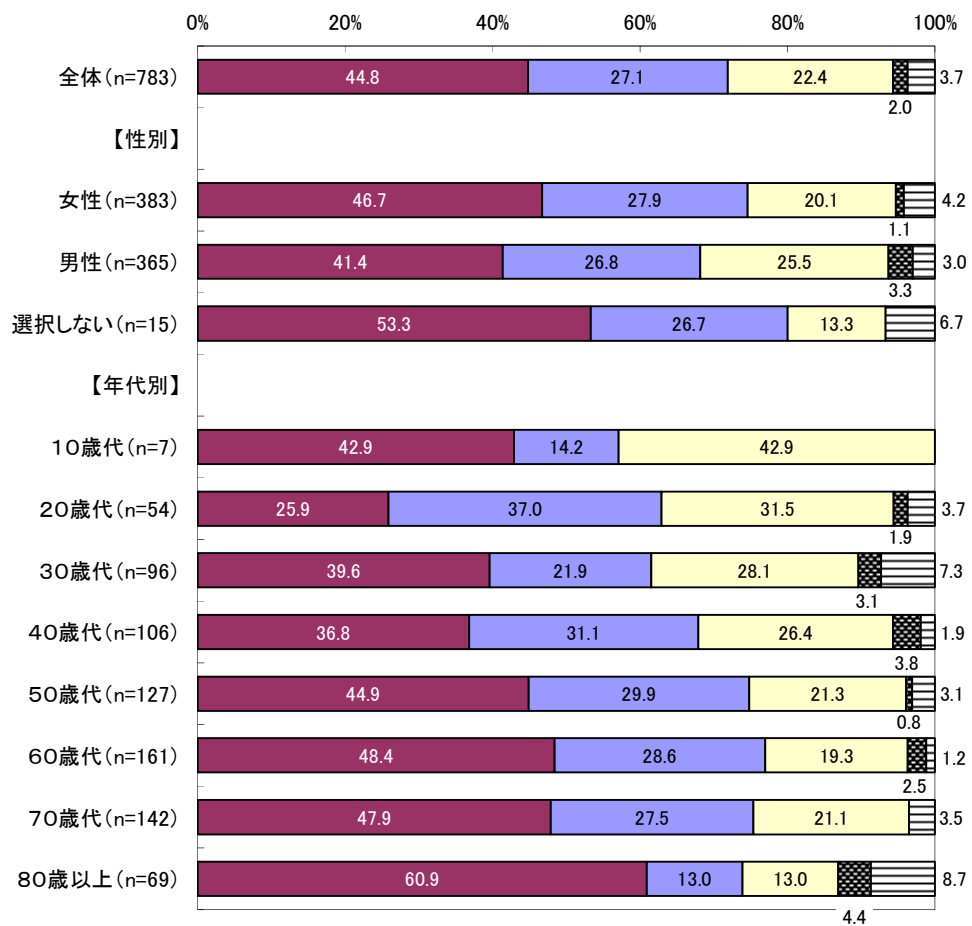
### 【 全 体 】



- 第三者が本人の了承を得ないで身元調査を行うことについて、どう考えるか尋ねたところ、「個人情報の漏えい、人権侵害、差別につながるので行うべきではない」が44.8%と最も高く、「どちらかといえば、行うべきではない」が27.1%で続いた。「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」は22.4%、「身元調査をすることは当然のことだと思う」は2.0%だった。

## 【 性別 ・ 年代別 】

- 個人情報の漏えい、人権侵害、差別につながるので行うべきではない
- どちらかといえば、行うべきではない
- よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
- 身元調査をすることは当然のことだと思う
- わからない



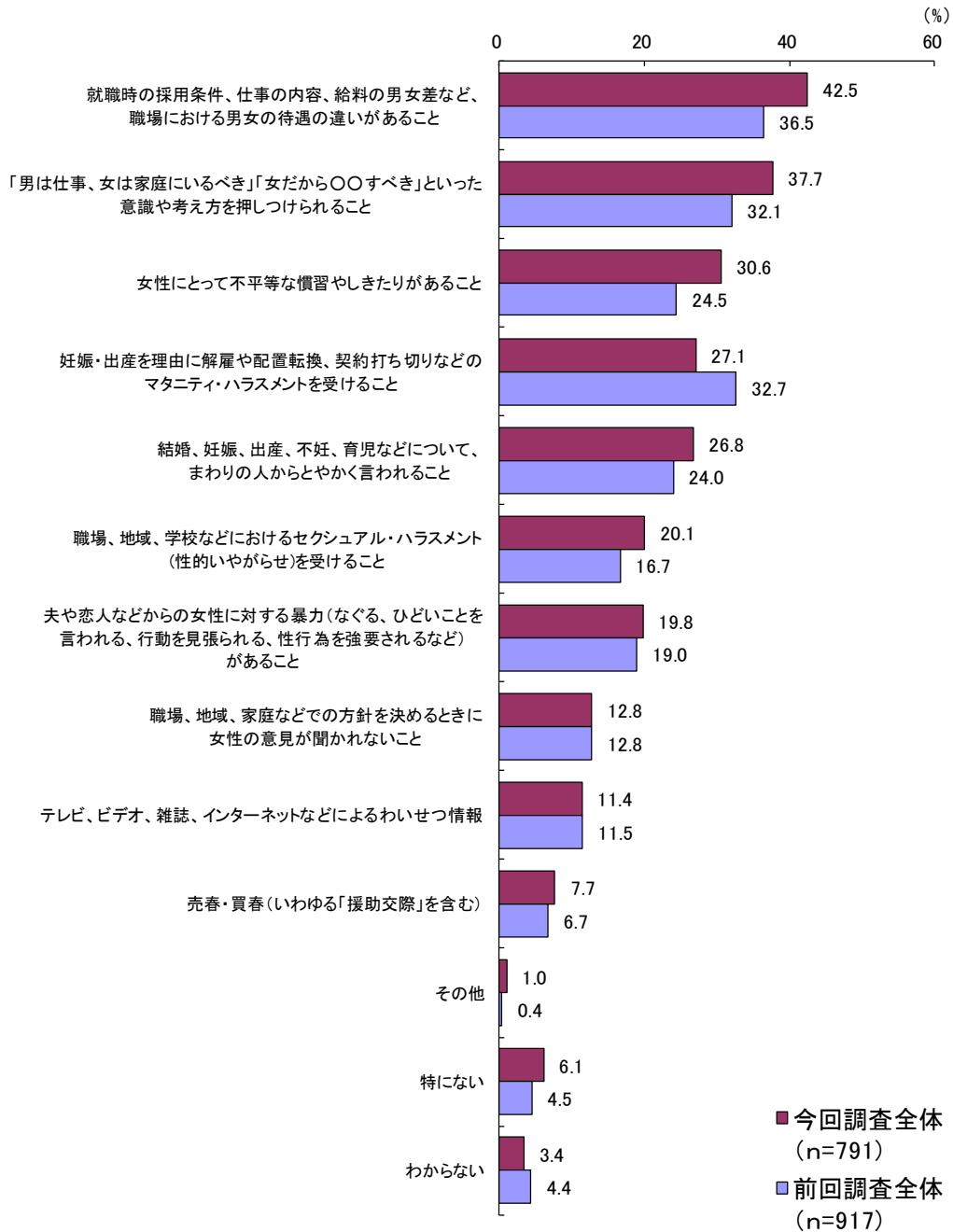
- 性別では、「個人情報の漏えい、人権侵害、差別につながるので行うべきではない」は女性（46.7%）が男性（41.4%）を5.3%上回り、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」は男性（25.5%）が女性（20.1%）を5.4%上回った。
- 年代別では、「個人情報の漏えい、人権侵害、差別につながるので行うべきではない」は80歳以上（60.9%）で6割を超えた。一方、20歳代（25.9%）では2割台にとどまった。「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」は10歳代（42.9%）で4割を超えた。

## 2. 女性の人権に関する問題について

問6：あなたが、「女性の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】



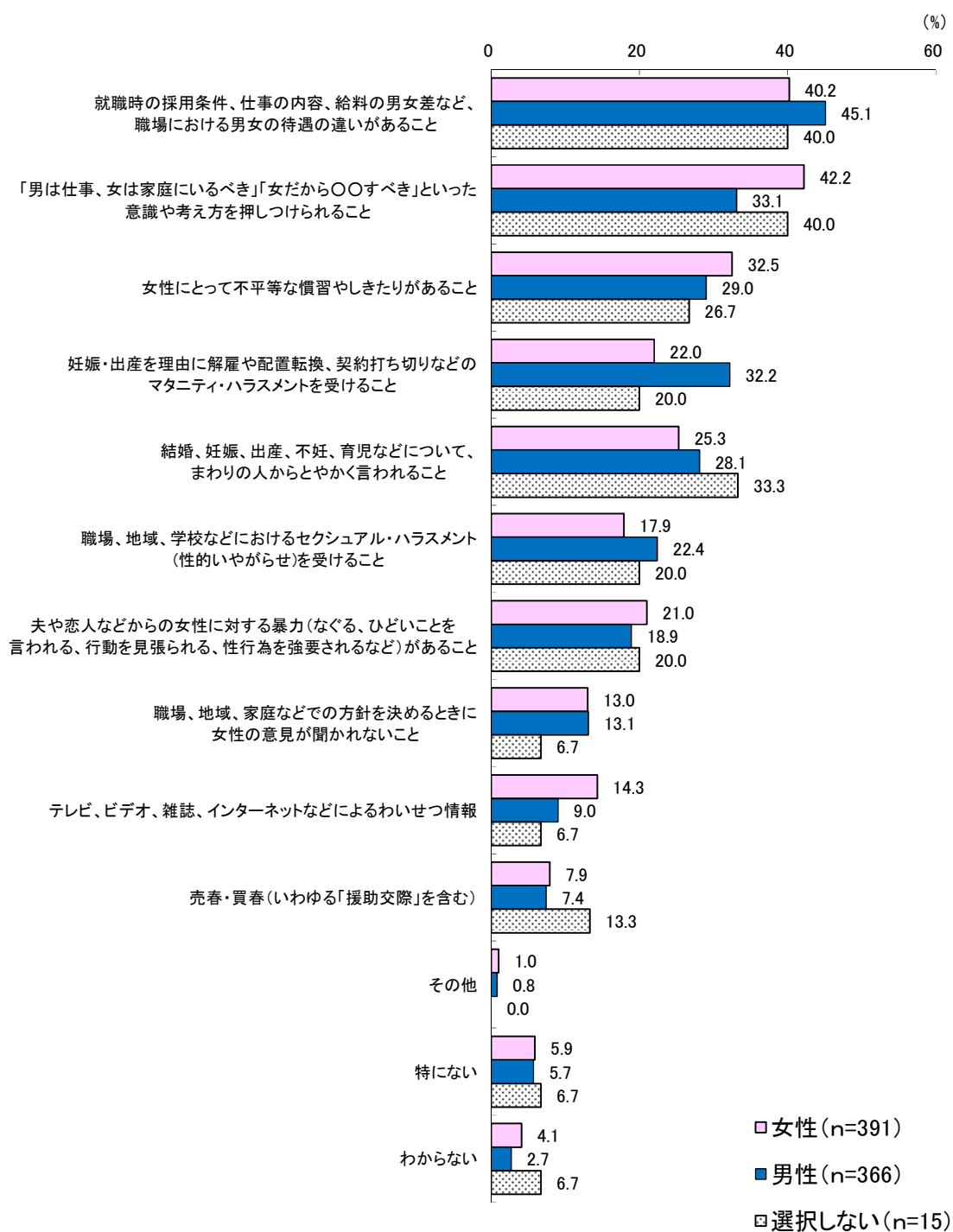


- 「女性の人権が特に守られていない」と思うことはどのようなことか尋ねたところ、全体では「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇の違いがあること」(42.5%)が最も高く、『「男は仕事、女は家庭に  
いるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること』  
(37.7%)、「女性にとって不平等な慣習やしきたりがあること」(30.6%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇の違いがあること」(前回 36.5%→今回 42.5%)が 6.0 ㊦、  
『「男は仕事、女は家庭に  
いるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること』(前回 32.1%→今回 37.7%)が 5.6 ㊦、  
「女性にとって不平等な慣習やしきたりがあること」(前回 24.5%→今回 30.6%)が 6.1 ㊦、  
それぞれ上昇した。一方、「妊娠・出産を理由に解雇や配置転換、契約打ち切りなどのマタニティ・ハラスメントを受けること」(前回 32.7%→今回 27.1%)は 5.6 ㊦低下した。

#### <「その他」で記載があった主な意見>

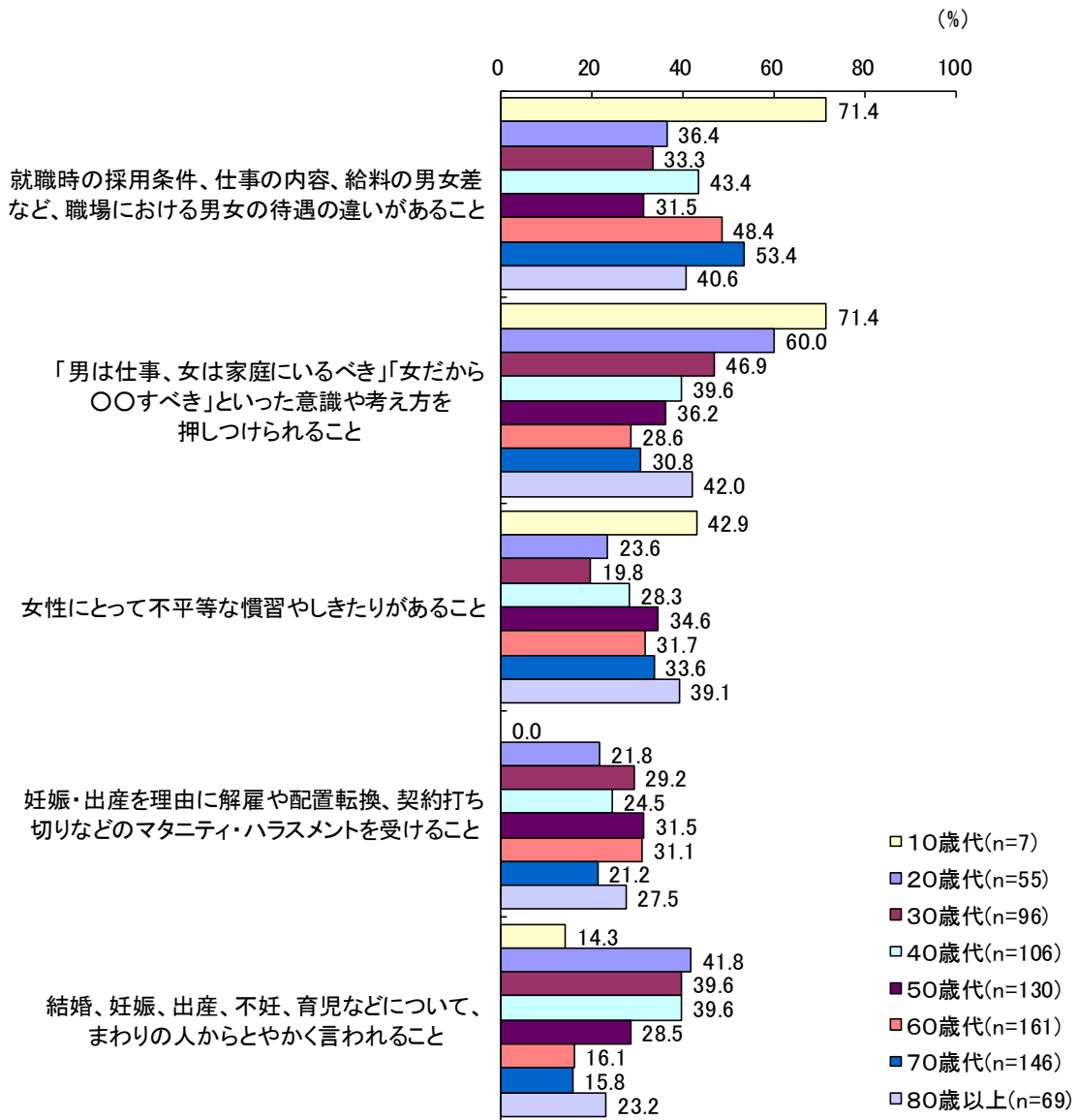
- ・ハイヒールを履くことの強要
- ・性犯罪
- ・女性の議員が少ない
- ・男性は仕事、女性は家事と言われる。今は女性も仕事をしている
- ・受験で女子の受験生が不利となった問題

## 【 性別 】



- 性別では、女性は『「男は仕事、女は家庭にいるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること』(42.2%)が最も高く、「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇の違いがあること」(40.2%)、「女性にとって不平等な慣習やしきたりがあること」(32.5%)が続いた。男性は「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇の違いがあること」(45.1%)が最も高く、『「男は仕事、女は家庭にいるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること』(33.1%)、「妊娠・出産を理由に解雇や配置転換、契約打ち切りなどのマタニティ・ハラスメントを受けること」(32.2%)が続いた。
- 『「男は仕事、女は家庭にいるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること』では、女性(42.2%)が男性(33.1%)を9.1ポイント上回り、「妊娠・出産を理由に解雇や配置転換、契約打ち切りなどのマタニティ・ハラスメントを受けること」では、男性(32.2%)が女性(22.0%)を10.2ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



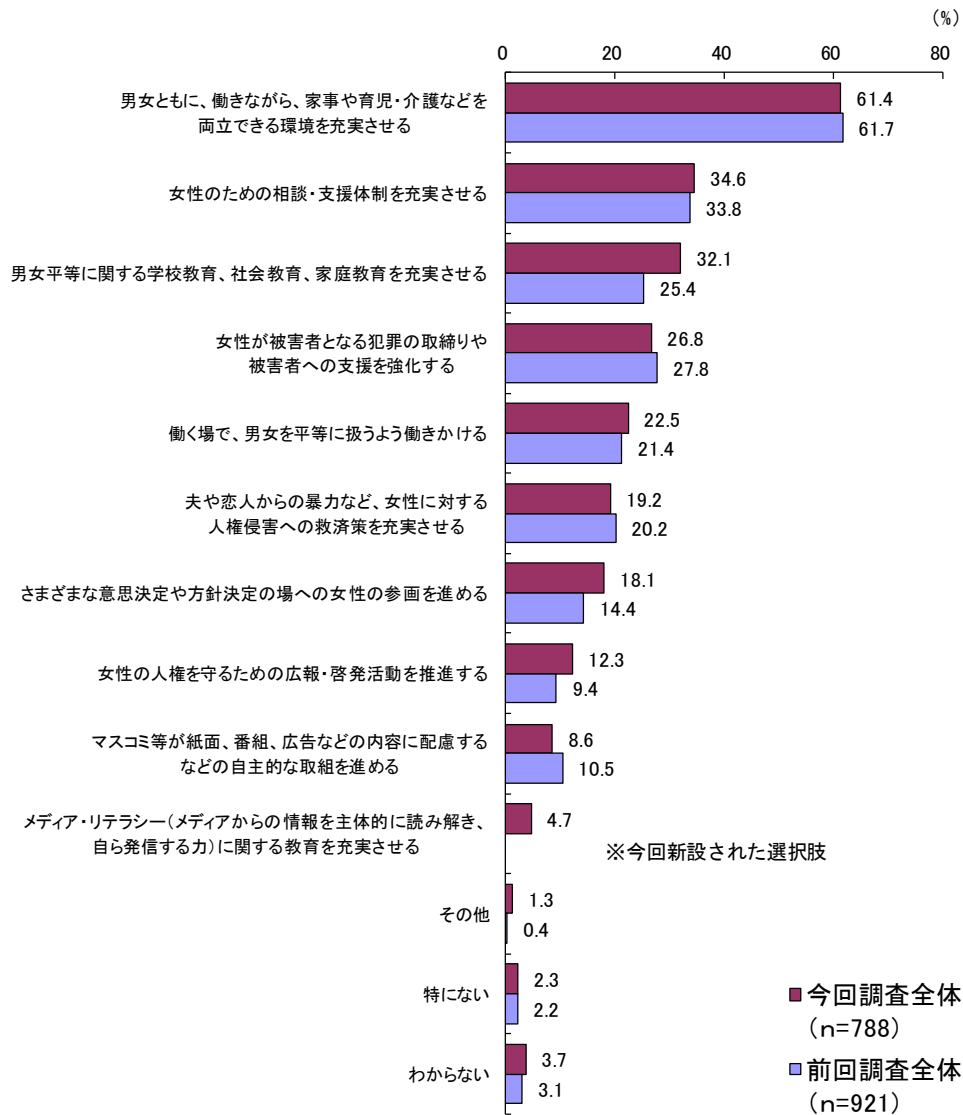
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇の違いがあること」は10歳代（71.4%）で7割を超えた。『「男は仕事、女は家庭にいるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること』は10歳代（71.4%）で7割を超え、20歳代（60.0%）で6割に達した。

問7：あなたは、女性の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

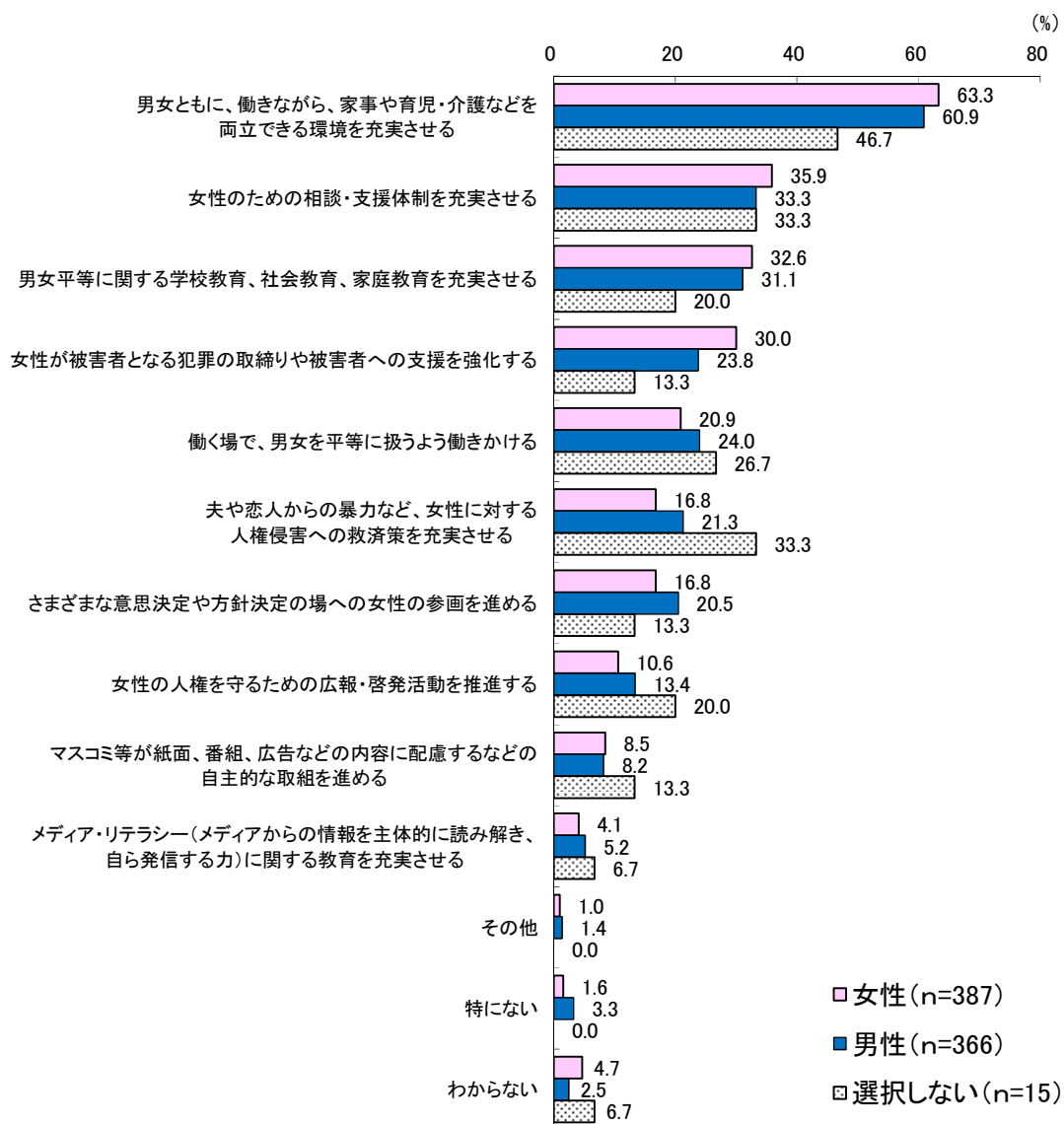


- 女性の人権を守るために必要なことを尋ねたところ、全体では「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を充実させる」(61.4%)が最も高く、「女性のための相談・支援体制を充実させる」(34.6%)、「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる」(32.1%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる」(前回 25.4%→今回 32.1%)が6.7ポイント上昇した。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

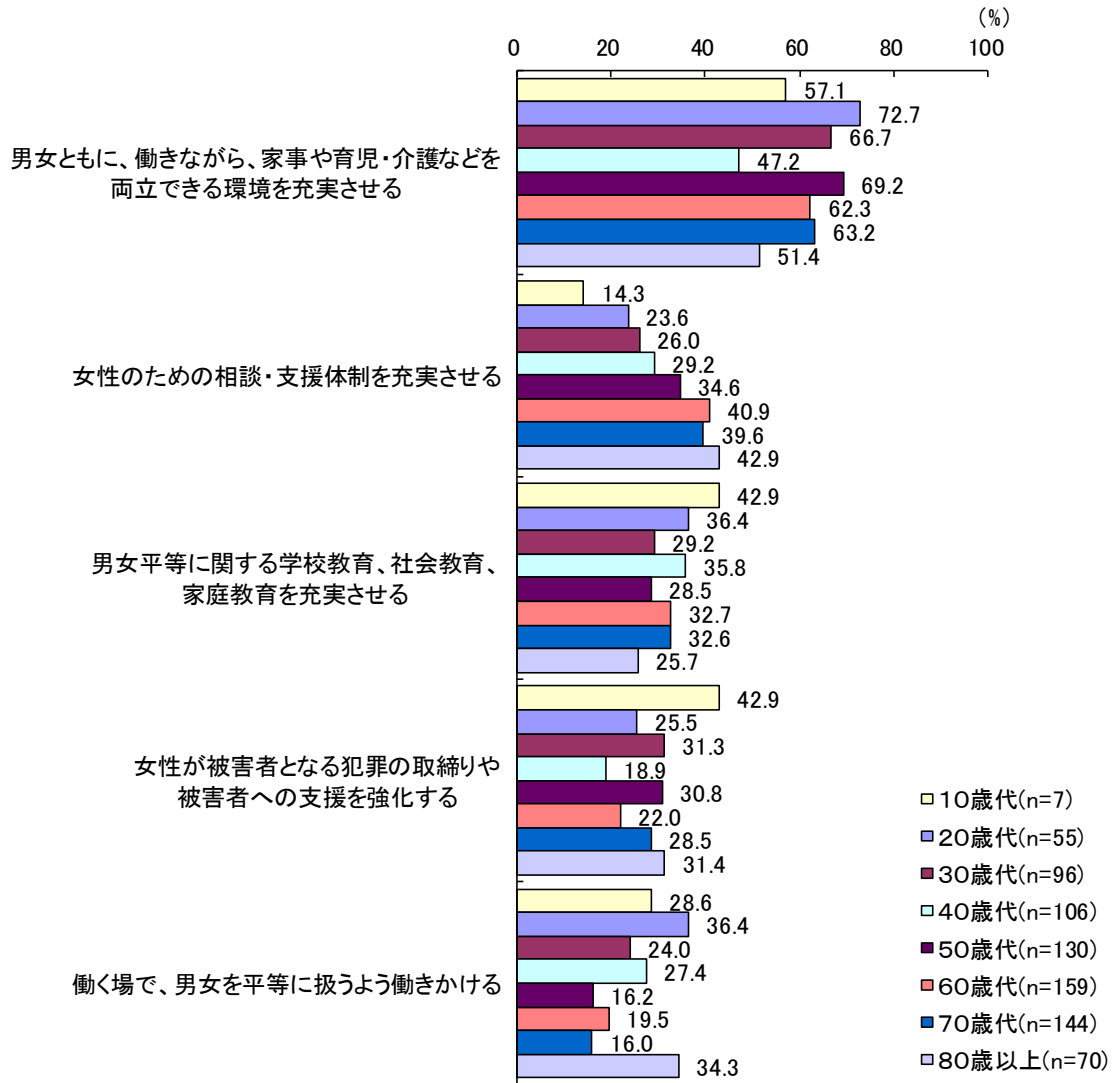
- ・ 経済面
- ・ 加害者に厳罰の制度が必要
- ・ 道徳などで勉強させてほしい。子どもにも性別役割意識がある
- ・ 女性議員の数を増やす等、社会進出できる場を多くする
- ・ 男性も女性も人権は一緒。「どちらかの」必要はない
- ・ 選択肢の取り組みがすべて必要
- ・ まず女性管理職の比率を 50%にする

## 【 性別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を充実させる」（女性 63.3%、男性 60.9%）が最も高く、「女性のための相談・支援体制を充実させる」（女性 35.9%、男性 33.3%）、「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる」（女性 32.6%、男性 31.1%）が続いた。
- 「女性が被害者となる犯罪の取締りや被害者への支援を強化する」は女性（30.0%）が男性（23.8%）を6.2ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を充実させる」は、20歳代（72.7%）で7割を超えたほか、30歳代（66.7%）、50歳代（69.2%）、60歳代（62.3%）、70歳代（63.2%）で6割を超えた。「女性のための相談・支援体制を充実させる」は60歳代（40.9%）と80歳以上（42.9%）で4割を超えた。
- 全世代で「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を充実させる」が最も高かった。

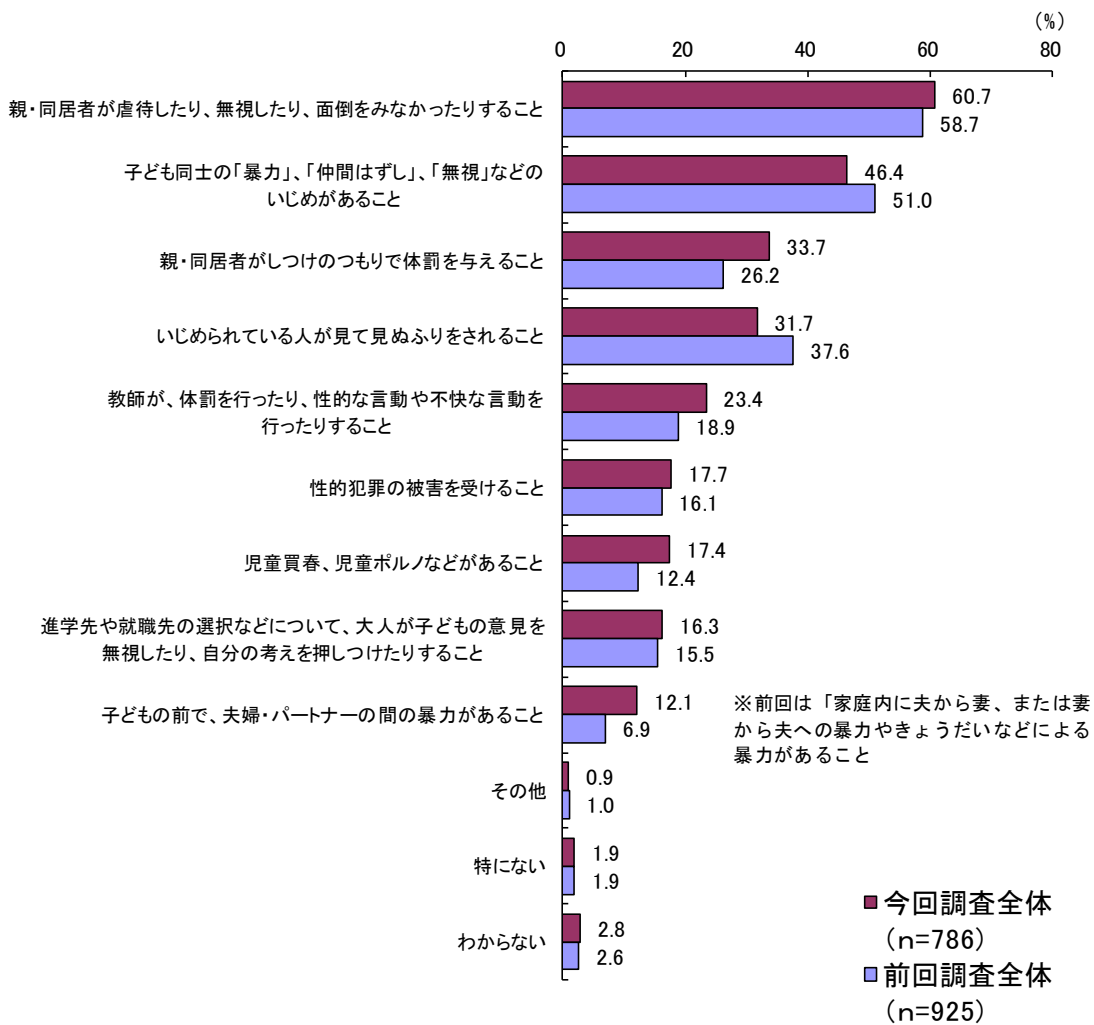


### 3. 子どもの人権に関する問題について

問8：あなたが、「子どもの人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

#### 【 全 体 】

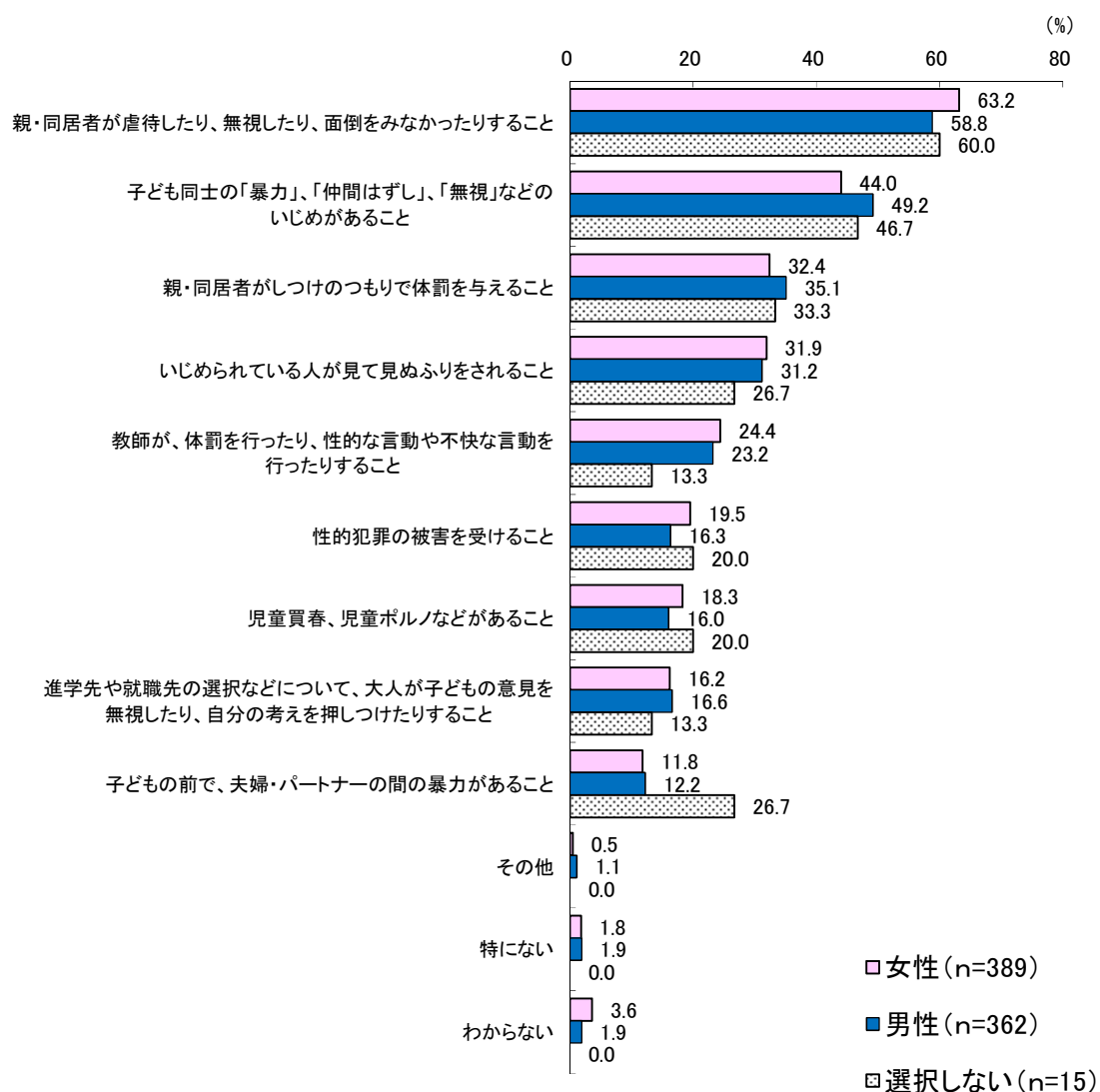


- 「子どもの人権が特に守られていない」ということを尋ねたところ、全体では「親・同居者が虐待したり、無視したり、面倒をみなかたりすること」(60.7%) が最も高く、『子ども同士の「暴力」、「仲間はずし」、「無視」などのいじめがあること』(46.4%)、「親・同居者がしつけのつもりで体罰を与えること」(33.7%) が続いた。
- 前回調査と比較すると、「親・同居者がしつけのつもりで体罰を与えること」(前回 26.2%→今回 33.7%) が 7.5 ポイント上昇した。

<「その他」で記載があった主な意見>

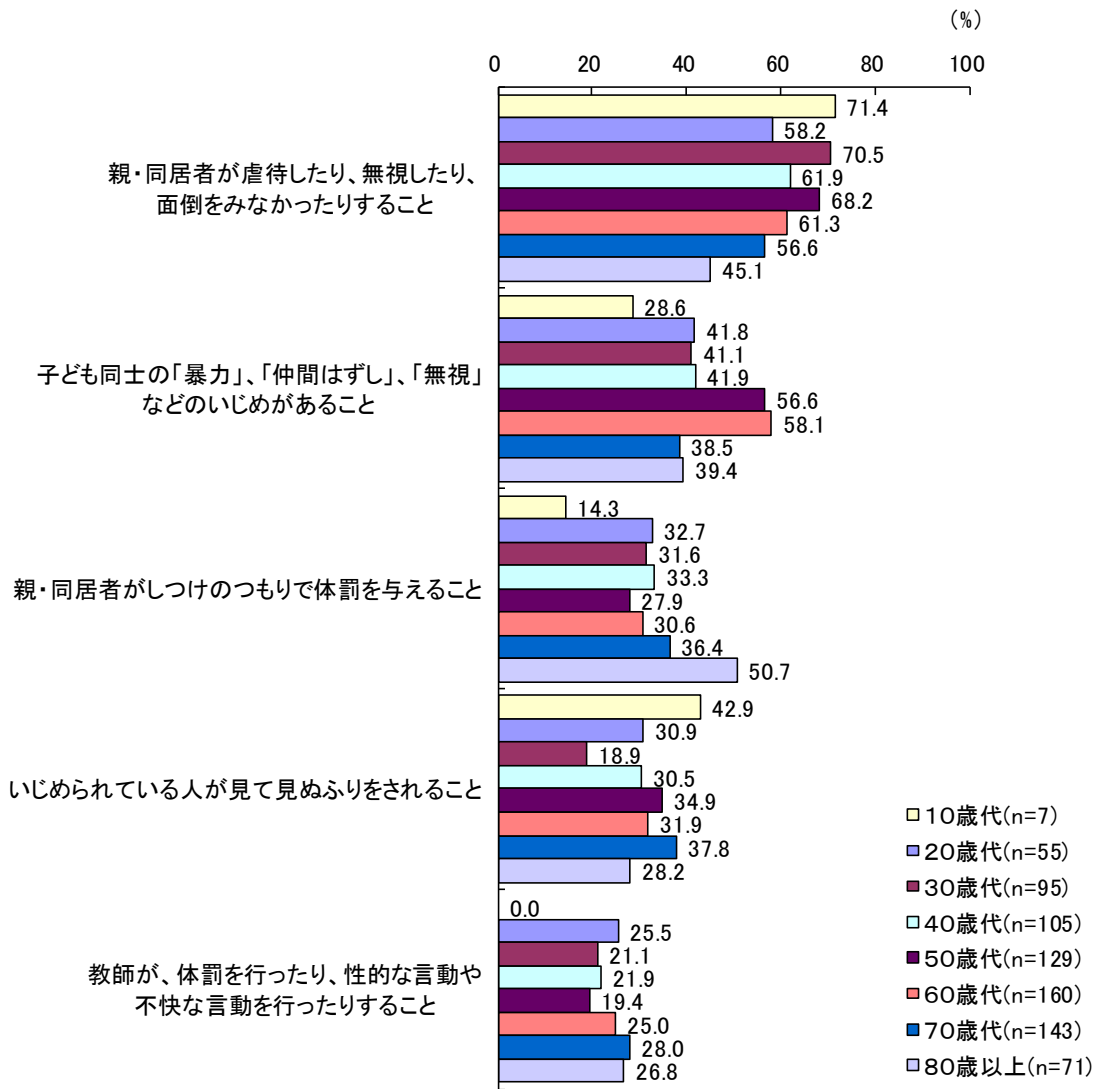
- ・両親からの体罰・ネグレクト
- ・就学の機会の格差
- ・教員や学校管理職のいじめに対する責任感の欠如
- ・成長の段階でいろいろなことを自分で克服していくことが大事
- ・子どもの意見をしっかり聞かないこと
- ・プライバシー保護を優先し、子どもの虐待が表に出ない。プライバシーより子どもの人権を優先すべき

## 【 性別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「親・同居者が虐待したり、無視したり、面倒をみなかたりすること」（女性 63.2%、男性 58.8%）が最も高く、『子ども同士の「暴力」、「仲間はずし」、「無視」などのいじめがあること』（女性 44.0%、男性 49.2%）、「親・同居者がしつけのつもりで体罰を与えること」（女性 32.4%、男性 35.1%）が続いた。
- 全ての選択肢を通じて、男女の間で特に大きな差は見られなかった。

## 【 年 代 別 】



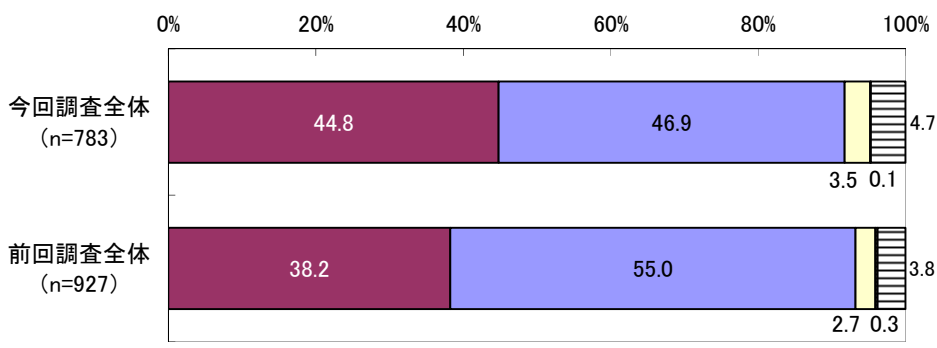
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「親・同居者が虐待したり、無視したり、面倒をみななかったりすること」は10歳代(71.4%)、30歳代(70.5%)で7割を超えたほか、40歳代(61.9%)、50歳代(68.2%)、60歳代(61.3%)で6割を超えた。『子ども同士の「暴力」、「仲間はずし」、「無視」などのいじめがあること』は50歳代(56.6%)と60歳代(58.1%)で5割を超えた。

問9：あなたは、いじめの問題についてどのように思いますか。  
 ◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【 全 体 】

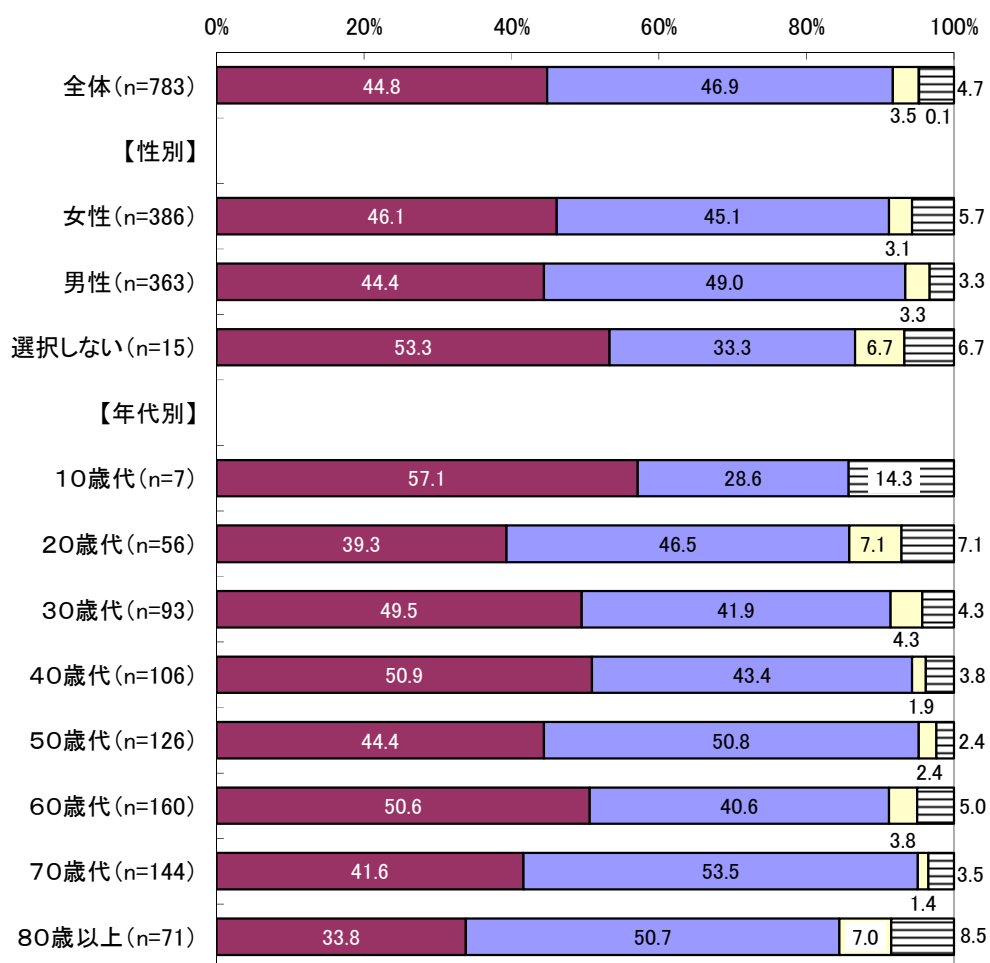
- いじめの人が悪い
- いじめの人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある
- いじめの人が悪いが、いじめられる人も悪い
- いじめられる人が悪い
- わからない



- いじめの問題をどう思うか尋ねたところ、全体では「いじめの人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある」(46.9%)が最も高く、「いじめの人が悪い」(44.8%)を2.1%上昇した。
- 前回調査との比較では、「いじめの人が悪い」(前回38.2%→今回44.8%)が6.6%上昇した一方、「いじめの人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある」(前回55.0%→今回46.9%)が8.1%低下した。

## 【 性別 ・ 年代別 】

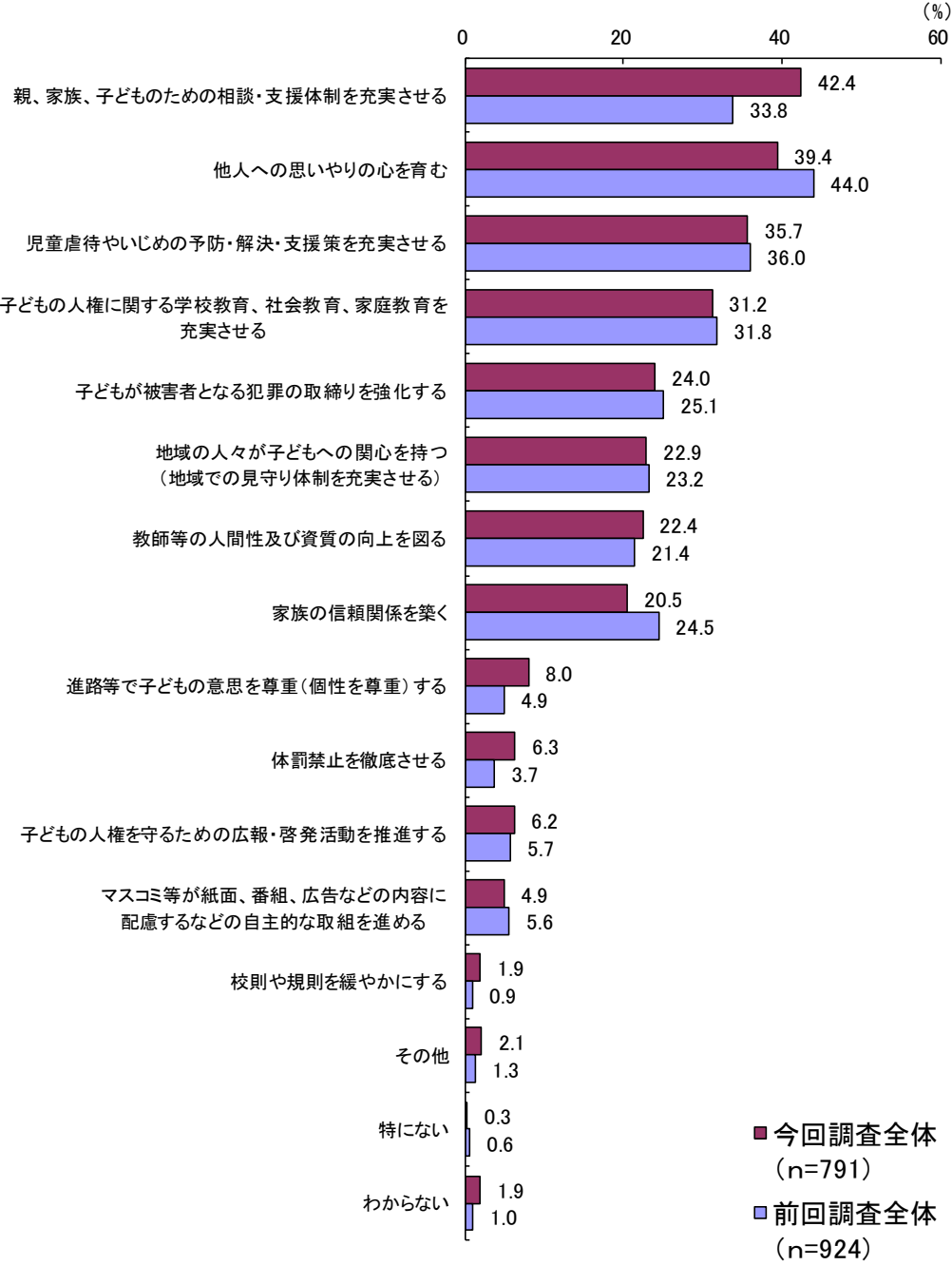
- いじめる人が悪い
- いじめる人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある
- いじめる人が悪いが、いじめられる人も悪い
- いじめられる人が悪い
- わからない



- 性別では、女性は「いじめる人が悪い」(46.1%)が「いじめる人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある」(45.1%)を1.0ポイント上回った。男性は「いじめる人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある」(49.0%)が「いじめる人が悪い」(44.4%)を4.6ポイント上回った。
- 年代別では、「いじめる人が悪い」は10歳代(57.1%)、40歳代(50.9%)、60歳代(50.6%)で5割を超えた。

問10：あなたは、子どもの人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。  
 ◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

【 全 体 】



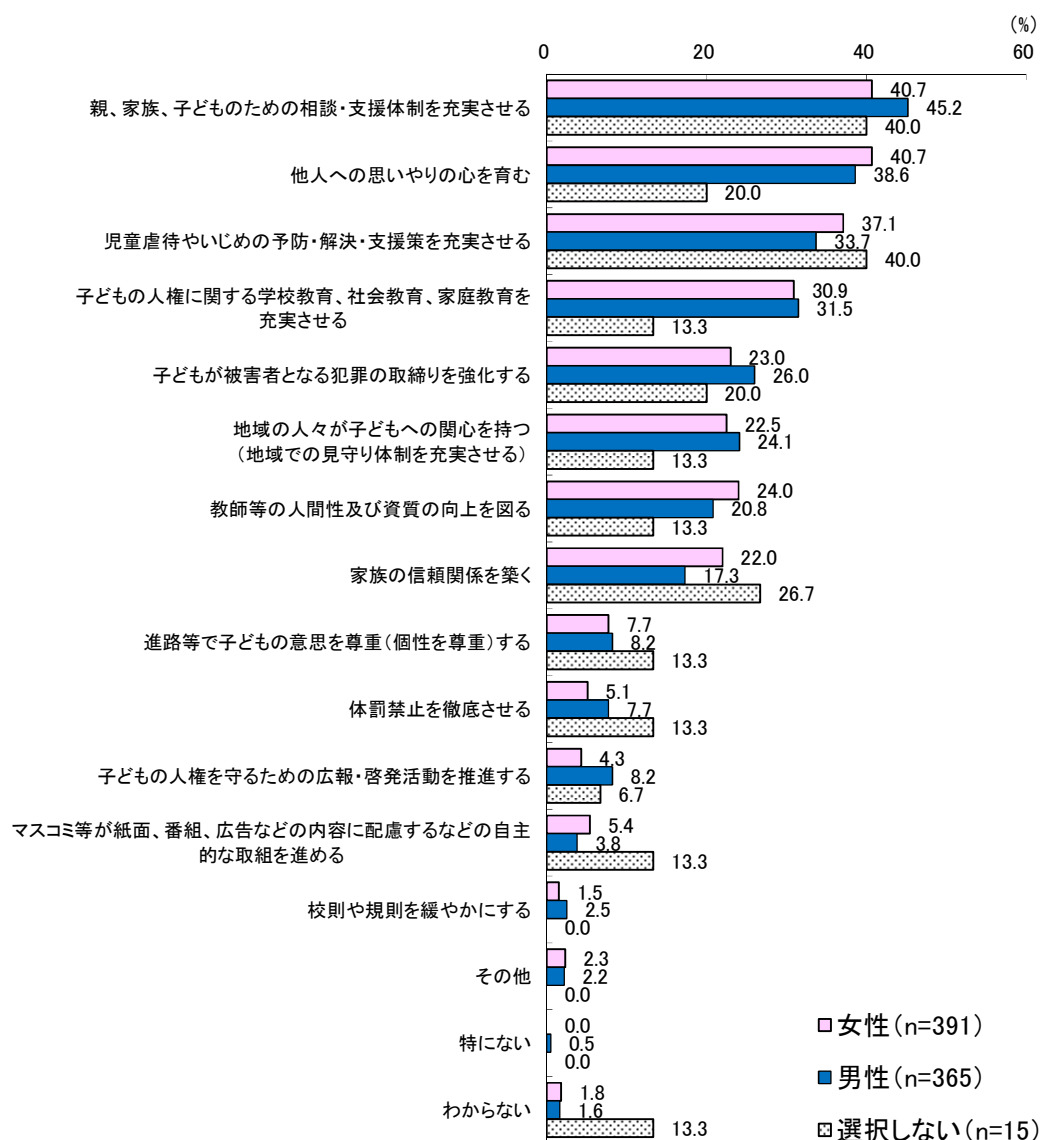
- 子どもの人権を守るために、特にどのようなことが必要か尋ねたところ、全体では「親、家族、子どものための相談・支援体制を充実させる」(42.4%)が最も高く、「他人への思いやりの心を育む」(39.4%)、「児童虐待やいじめの予防・解決・支援策を充実させる」(35.7%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「親、家族、子どものための相談・支援体制を充実させる」(前回 33.8%→今回 42.4%)が 8.6 ㊦上昇した一方、「他人への思いやりの心を育む」(前回 44.0%→今回 39.4%)が 4.6 ㊦低下し、「家族の信頼関係を築く」(前回 24.5%→今回 20.5%)も 4.0 ㊦低下した。

### ＜「その他」で記載があった主な意見＞

- ・ いじめ側の家庭への働きかけ
- ・ 行政がその責任を果たすこと
- ・ 刑罰を重くする
- ・ 児童相談所に権限をもたせる
- ・ 親が子どもを甘やかさない
- ・ 思想の教育
- ・ 選択肢の取り組みがすべて必要
- ・ 事なかれ行政からの脱却
- ・ インターネットでの情報収集
- ・ 善悪等の限度を教えること
- ・ 保護者の教育
- ・ 児童相談所の予算と人員の拡張
- ・ 学校内に防犯カメラを設置
- ・ 子どもが相談できる先をわかりやすくする。学校や市役所などに相談する場所が多岐にわたりすぎている
- ・ 社会的にやっていいこと悪いことを教える時間が必要
- ・ 子どもが直接相談する場所を作り、子どもたちに周知する
- ・ 被害を小さくするための組織化が必要
- ・ 教員を増やし、1クラスの人数を少なくする
- ・ 校内に警察が介入できるようにする
- ・ いじめた子を転校させカウンセリングを受けさせる

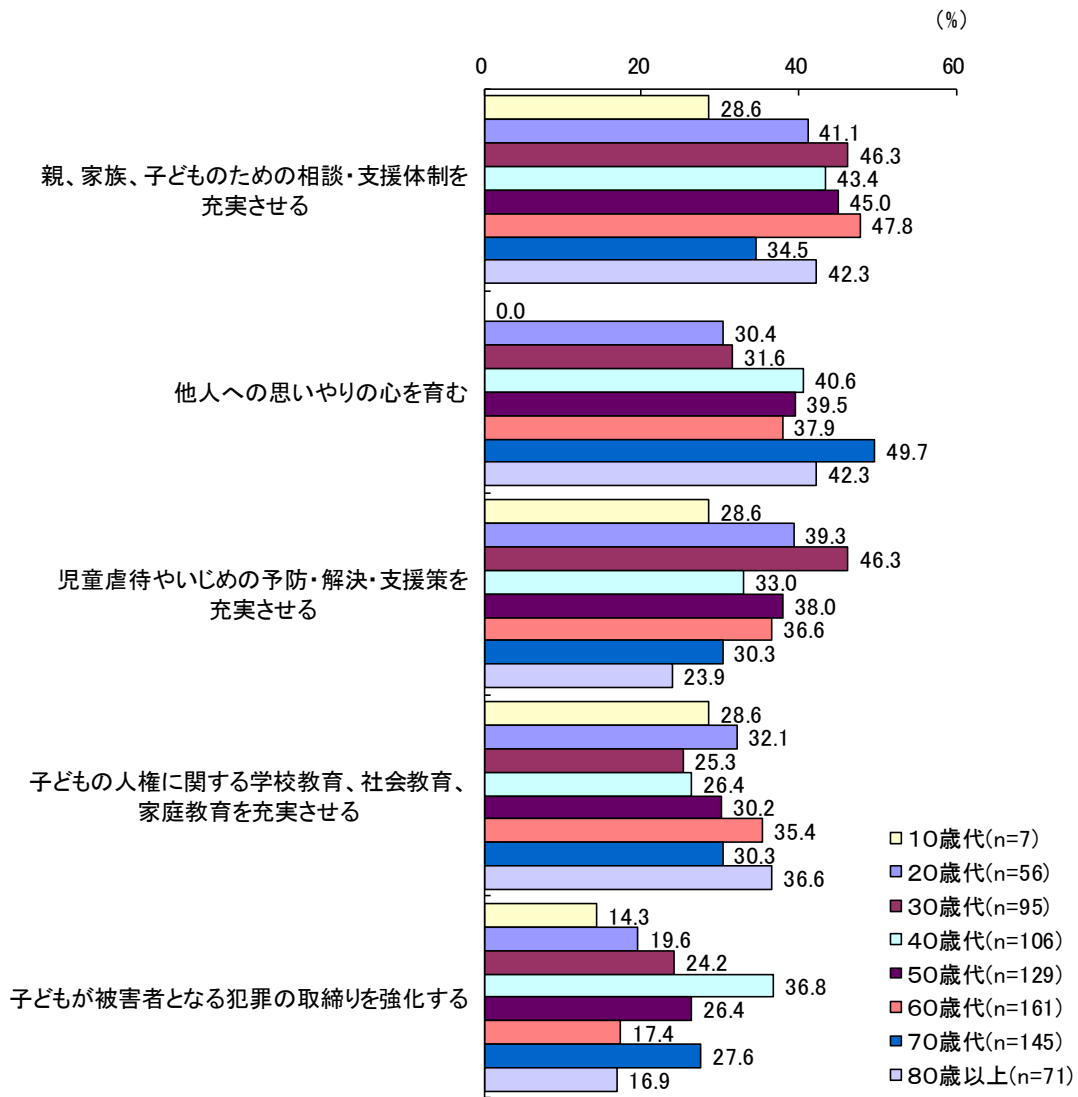


## 【 性 別 】



- 性別では、女性は「親、家族、子どものための相談・支援体制を充実させる」(40.7%)と「他人への思いやりの心を育む」(40.7%)が同率で最も高く、「児童虐待やいじめの予防・解決・支援策を充実させる」(37.1%)が続いた。男性は「親、家族、子どものための相談・支援体制を充実させる」(45.2%)が最も高く、「他人への思いやりの心を育む」(38.6%)、「児童虐待やいじめの予防・解決・支援策を充実させる」(33.7%)が続いた。
- 「親、家族、子どものための相談・支援体制を充実させる」は男性(45.2%)が女性(40.7%)を4.5ポイント上回り、「家族の信頼関係を築く」は女性(22.0%)が男性(17.3%)を4.7ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

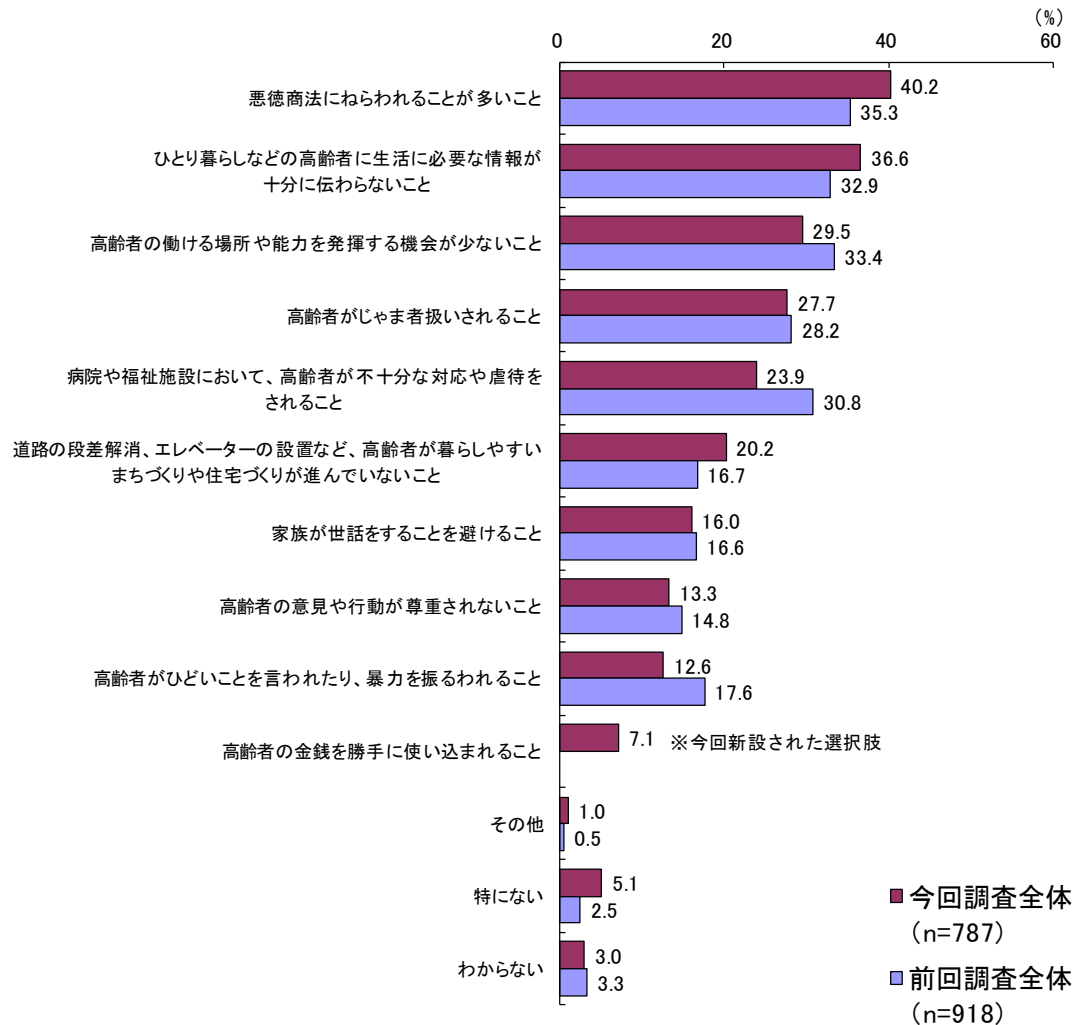
- 年代別では、「他人への思いやりの心を育む」は、70歳代（49.7%）で5割近くに達したほか、40歳代（40.6%）と80歳以上（42.3%）で4割を超えた。「児童虐待やいじめの予防・解決・支援策を充実させる」は30歳代（46.3%）で4割を超えた。

## 4. 高齢者の人権に関する問題について

問 11：あなたが、「高齢者の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

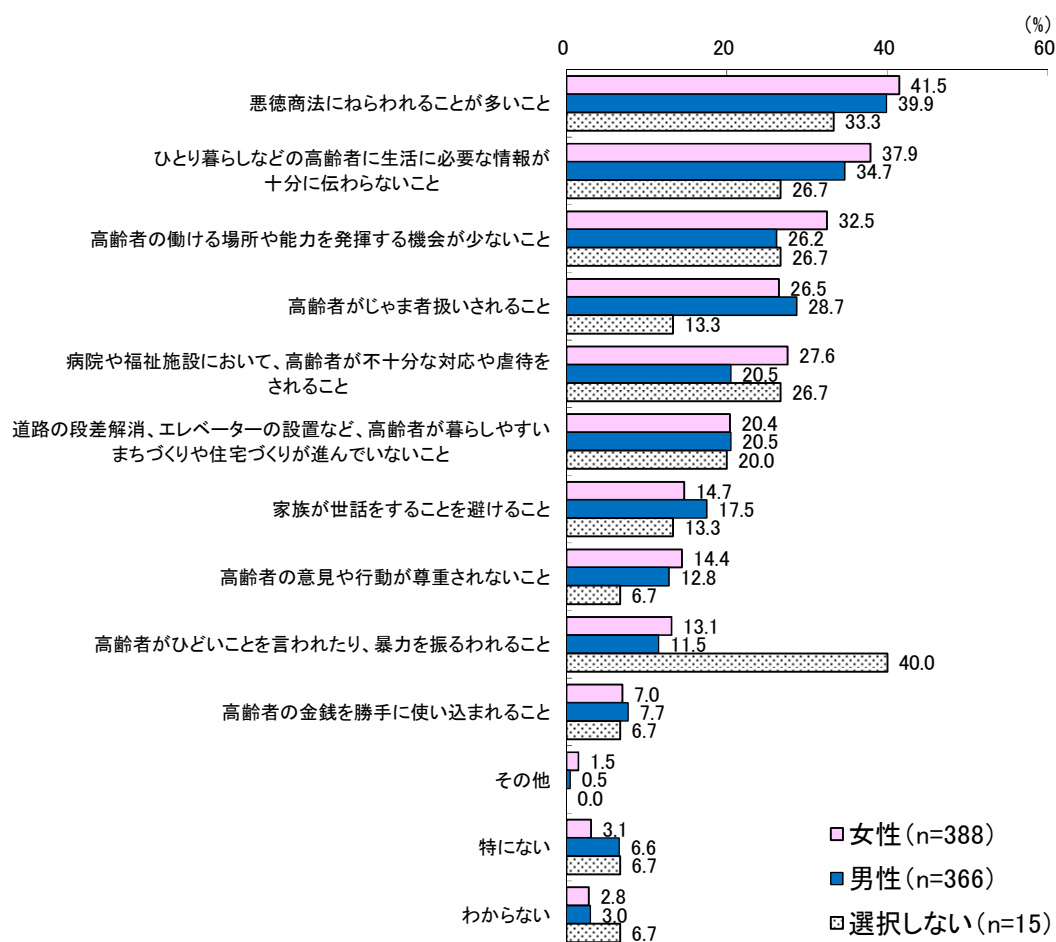


- 「高齢者の人権が守られていない」と思うことはどのようなことか尋ねたところ、全体では「悪徳商法にねらわれることが多いこと」(40.2%)が最も高く、「ひとり暮らしなどの高齢者に生活に必要な情報が十分に伝わらないこと」(36.6%)、「高齢者の働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(29.5%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「悪徳商法にねらわれることが多いこと」(前回 35.3%→今回 40.2%)が 4.9 割上昇した一方、「病院や福祉施設において、高齢者が不十分な対応や虐待をされること」(前回 30.8%→今回 23.9%)が 6.9 割低下した。

<「その他」で記載があった主な意見>

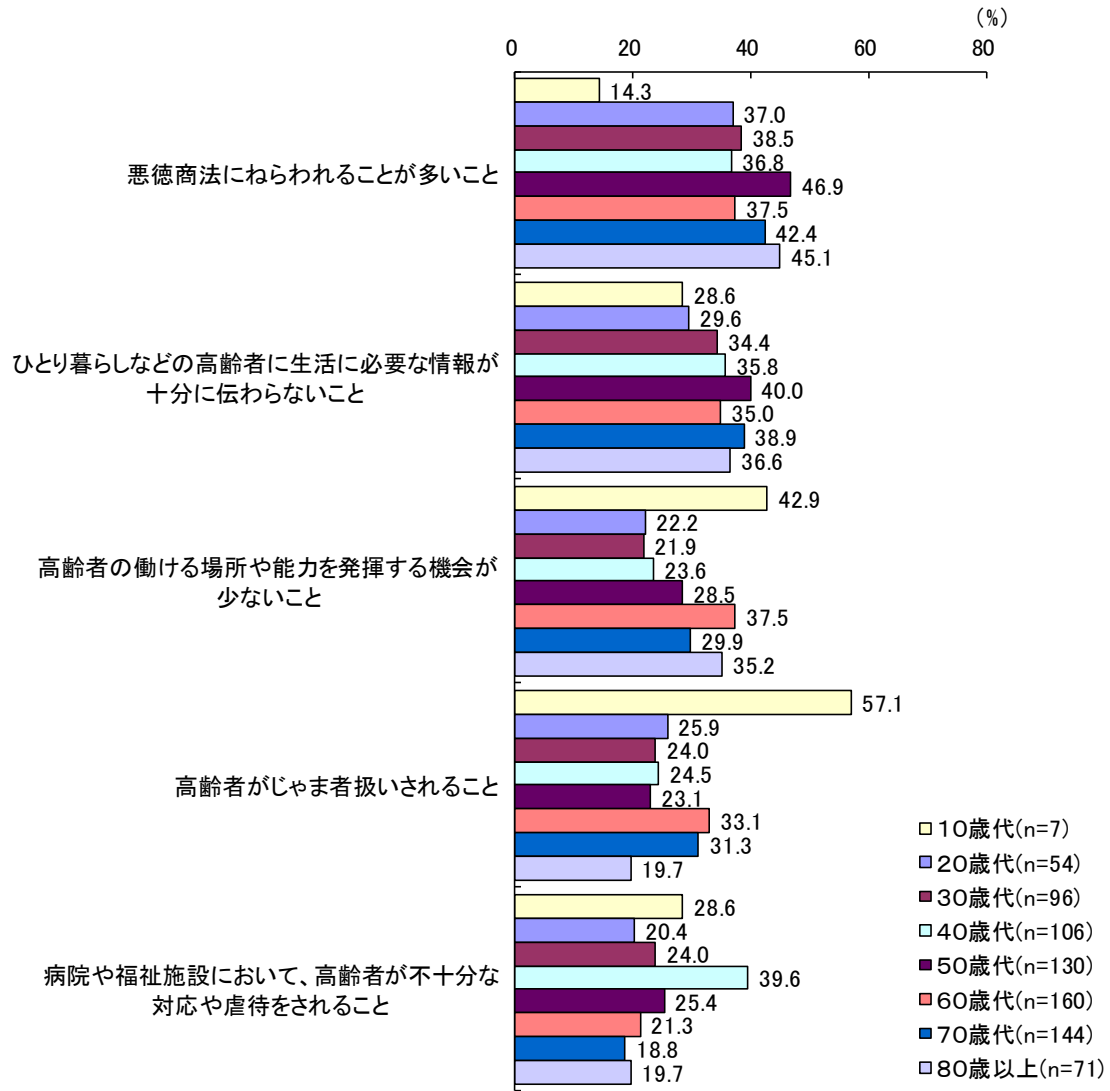
- ・一人世帯の高齢者への支援不足
- ・高齢者が大切にされすぎている
- ・マスコミの取り上げ方
- ・老老介護
- ・気軽に高齢者が集まって体を動かす場所や買い物に行けるコミュニティバスのようなものがないと車の運転がやめられない
- ・高齢者が活動できるサークルが必要
- ・高齢者とは法的に65歳以上をいうが、労働能力には個人差がある

## 【 性別 】



- 性別では、女性は「悪徳商法にねらわれることが多いこと」(41.5%)が最も高く、「ひとり暮らしなどの高齢者に生活に必要な情報が十分に伝わらないこと」(37.9%)、「高齢者の働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(32.5%)が続いた。男性は「悪徳商法にねらわれることが多いこと」(39.9%)が最も高く、「ひとり暮らしなどの高齢者に生活に必要な情報が十分に伝わらないこと」(34.7%)、「高齢者がじゃま者扱いされること」(28.7%)が続いた。
- 「高齢者の働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」では、女性(32.5%)が男性(26.2%)を6.3ポイント上回り、「病院や福祉施設において、高齢者が不十分な対応や虐待をされること」では、女性(27.6%)が男性(20.5%)を7.1ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



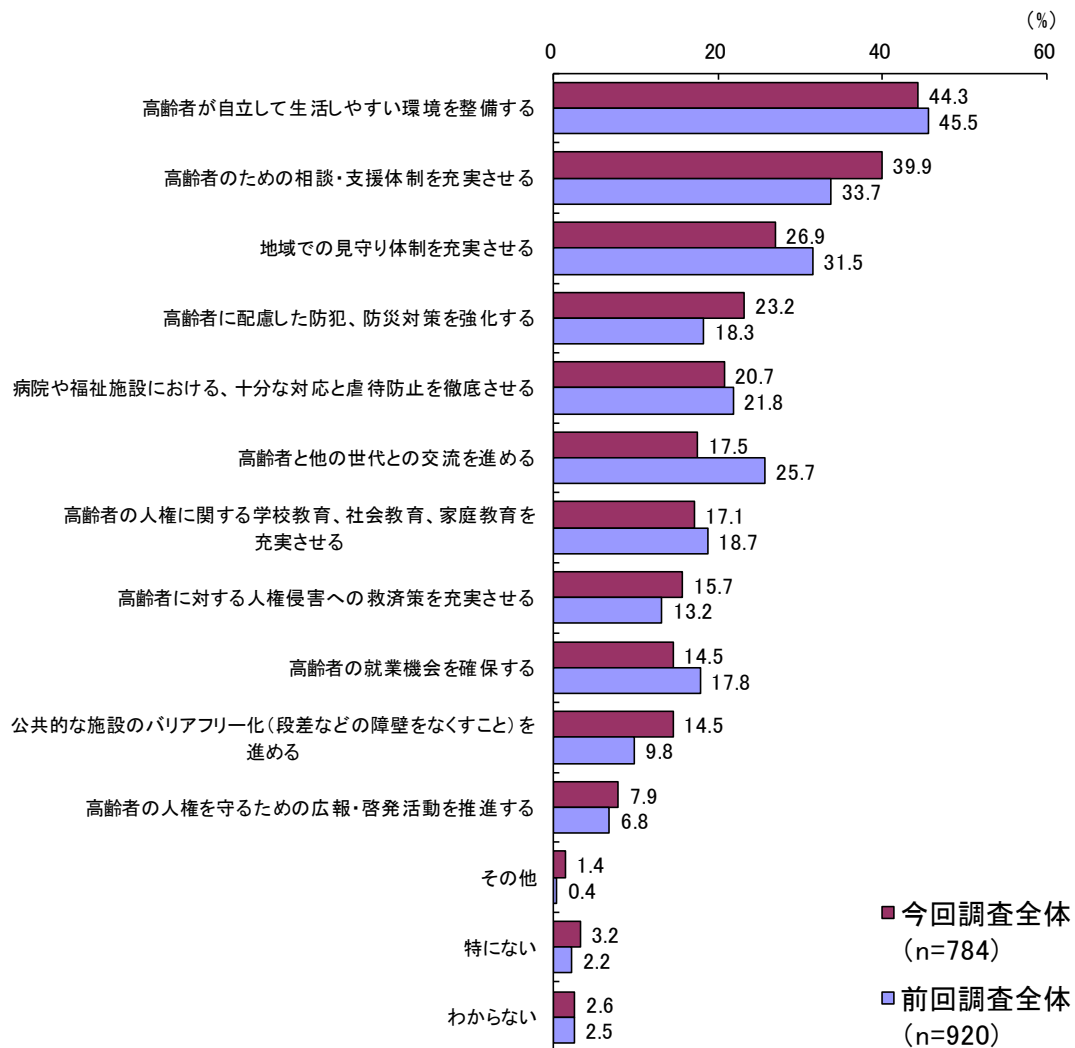
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「悪徳商法にねらわれることが多いこと」は50歳代（46.9%）、70歳代（42.4%）、80歳以上（45.1%）で4割を超えた。「高齢者がじゃま者扱いされること」は10歳代（57.1%）で5割を超えた。

問 12：あなたは、高齢者の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】



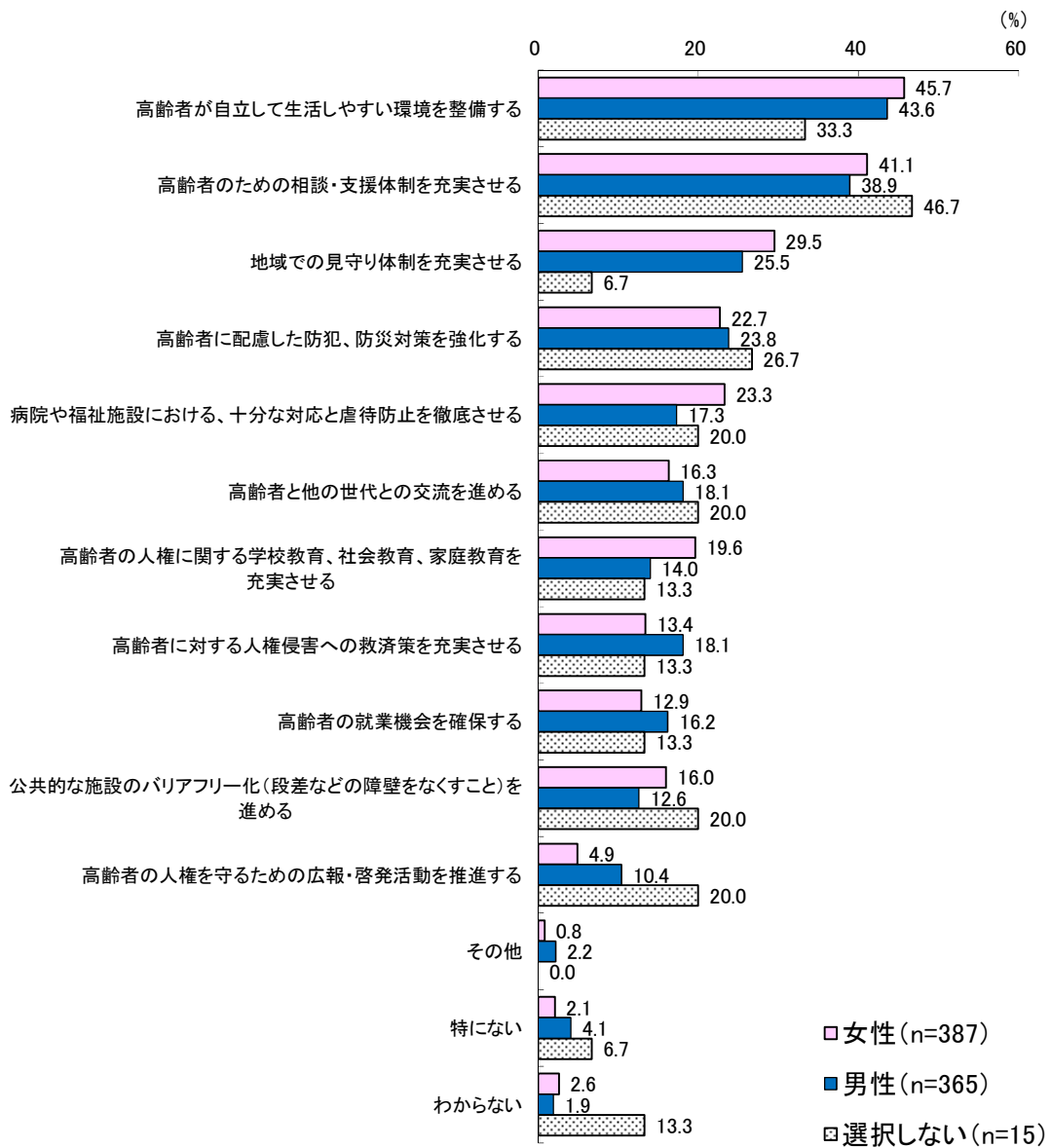
- 高齢者の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、全体では「高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」(44.3%)が最も高く、「高齢者のための相談・支援体制を充実させる」(39.9%)、「地域での見守り体制を充実させる」(26.9%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「高齢者のための相談・支援体制を充実させる」(前回 33.7% → 今回 39.9%)が6.2ポイント上昇した一方、「高齢者和其他の世代との交流を進める」(前回 25.7% → 今回 17.5%)が8.2ポイント低下した。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

- ・インターネットで情報収集
- ・高齢者の人権は守られていると思う
- ・親の行動が次の世代に受け継がれる。家庭教育が大切
- ・高齢者に対する社会福祉サービスの拡充
- ・高齢者の自立を促進する。働ける人は働く
- ・市などを中心とした介護を含めた支援体勢の充実
- ・高齢者の人権、待遇は割と守られていると思う。年金の少ない人を支援する
- ・高齢者に富が集中し、狙われている。世代間の富の不平等解消を

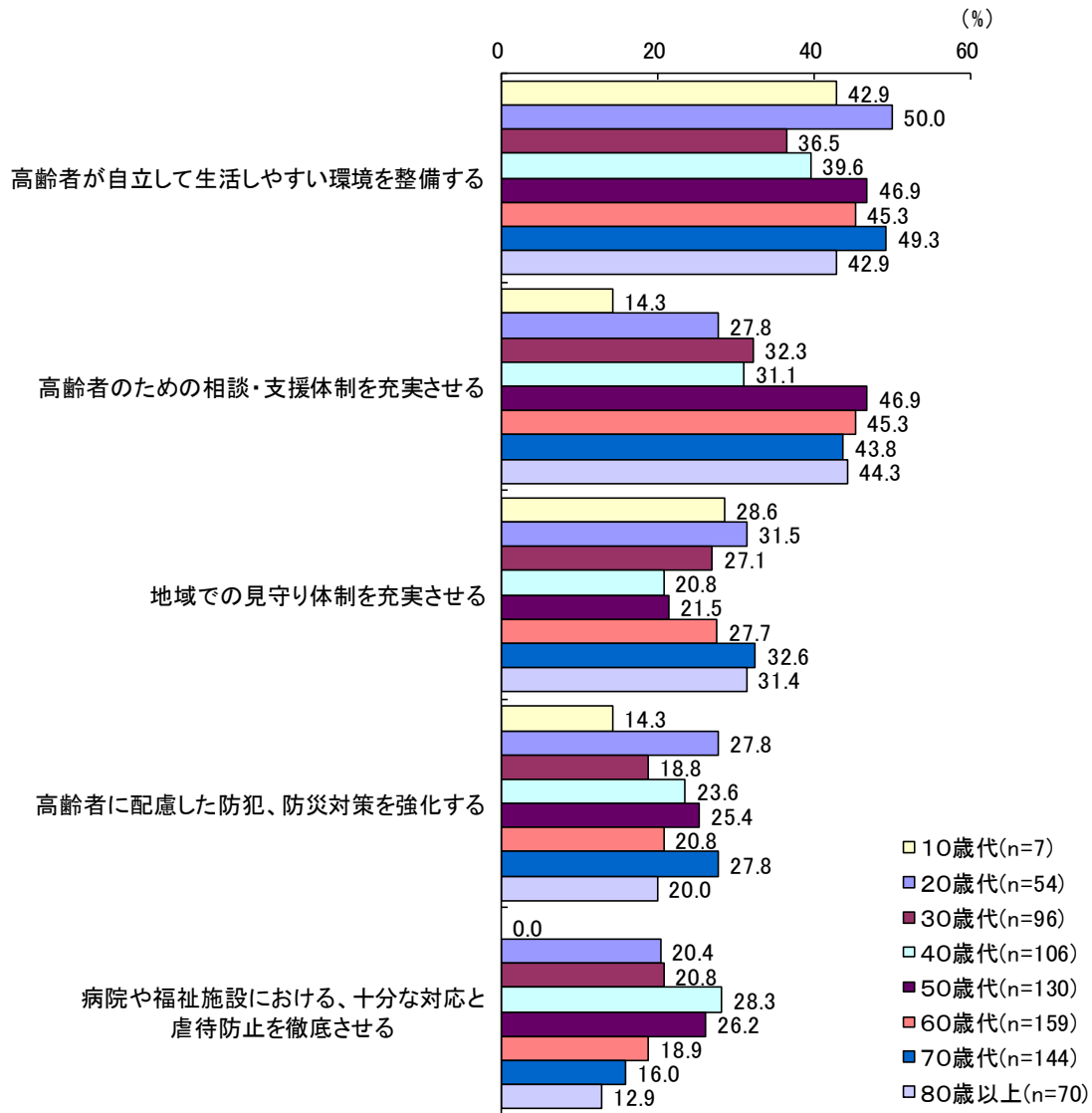


## 【 性別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」(女性 45.7%、男性 43.6%) が最も高く、「高齢者のための相談・支援体制を充実させる」(女性 41.1%、男性 38.9%)、「地域での見守り体制を充実させる」(女性 29.5%、男性 25.5%) が続いた。
- 「病院や福祉施設における、十分な対応と虐待防止を徹底させる」では、女性 (23.3%) が男性 (17.3%) を 6.0 ㊦上回り、「高齢者の人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる」では、女性 (19.6%) が男性 (14.0%) を 5.6 ㊦上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

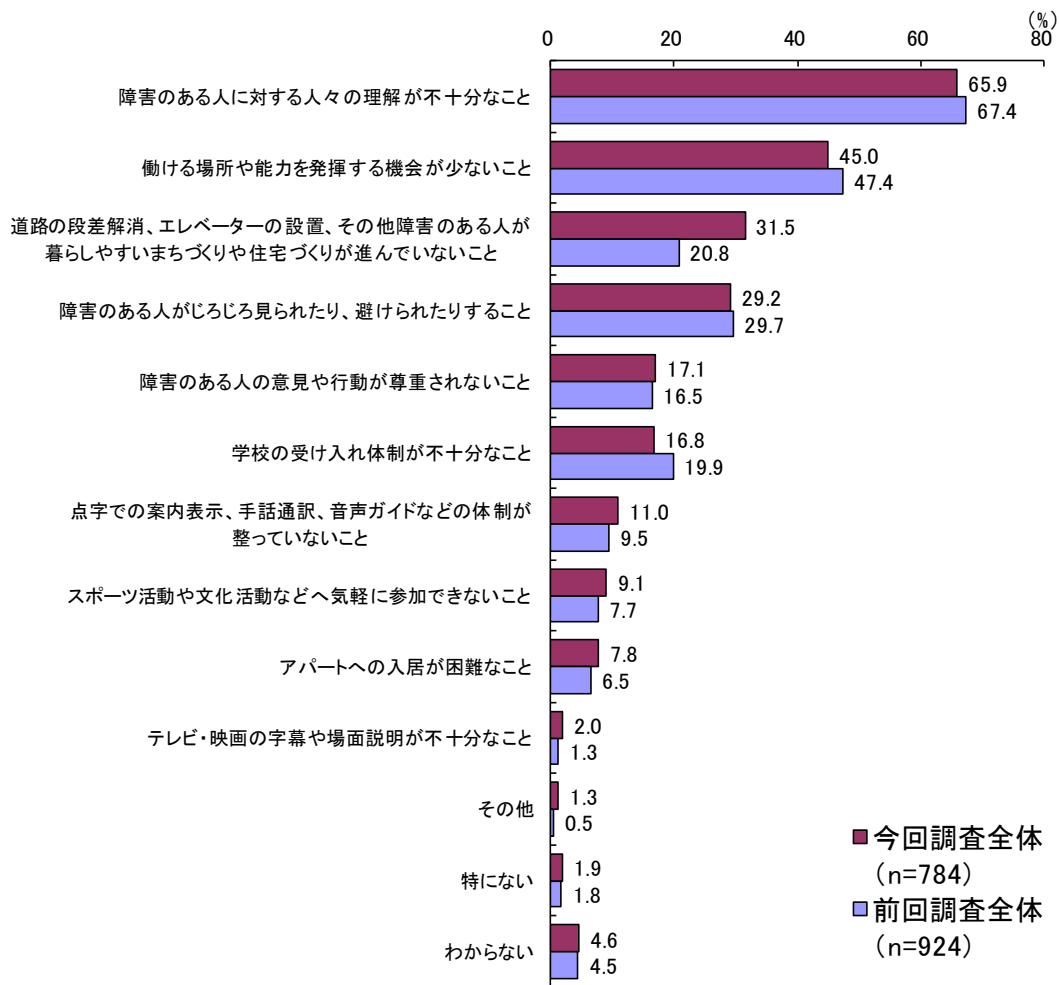
- 年代別では、「高齢者のための相談・支援体制を充実させる」は50歳代(46.9%)、60歳代(45.3%)、70歳代(43.8%)、80歳以上(44.3%)で4割を超えた一方、10歳代(14.3%)は1割台、20歳代(27.8%)は2割台にそれぞれとどまった。「地域での見守り体制を充実させる」は、20歳代(31.5%)、70歳代(32.6%)、80歳以上(31.4%)で3割を超えた。

## 5. 障害のある人の人権に関する問題について

問 13: あなたが、「障害のある人の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

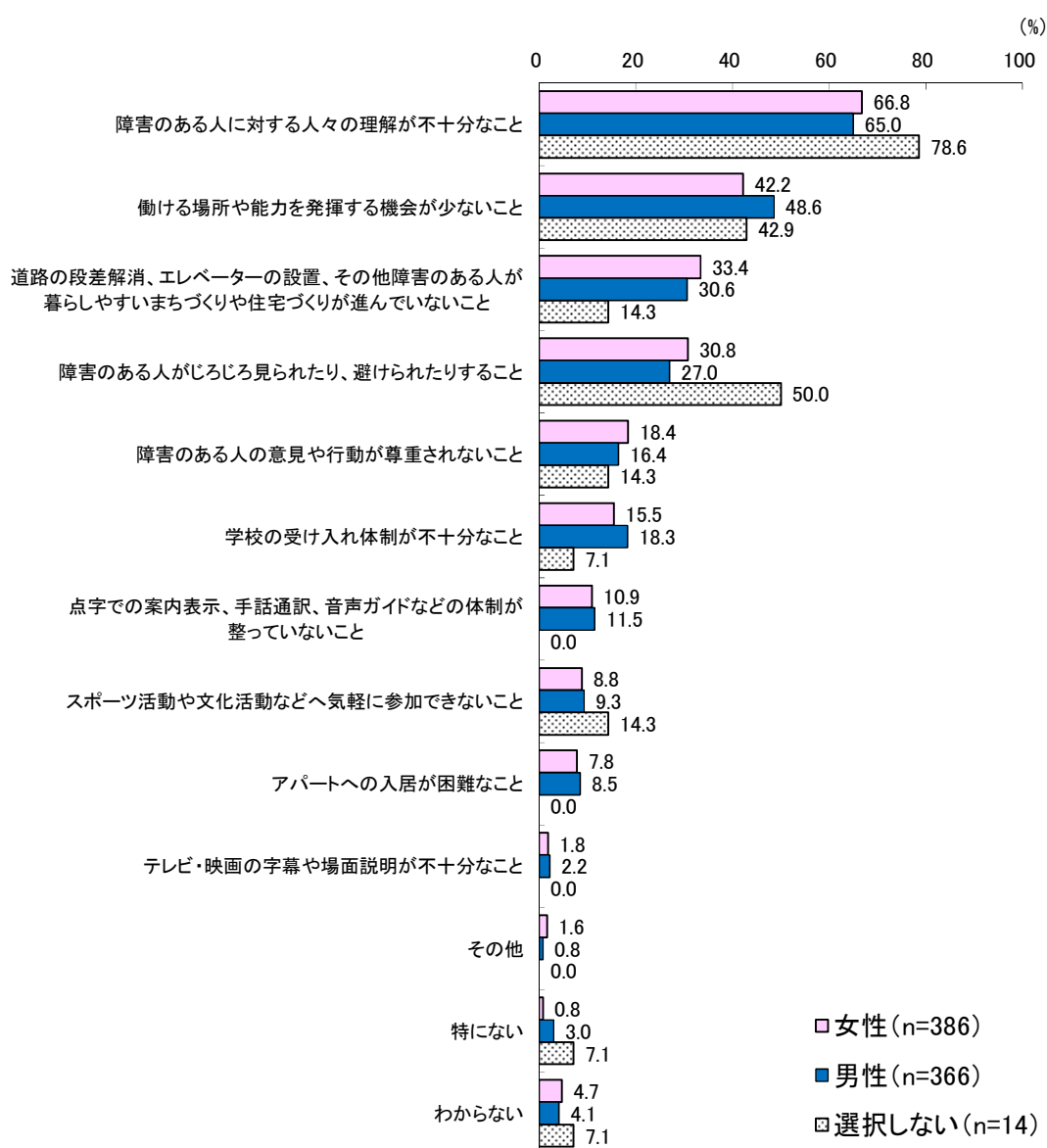


- 「障害のある人の人権が特に守られていない」と思うことはどのようなことか尋ねたところ、全体では「障害のある人に対する人々の理解が不十分なこと」(65.9%)が最も高く、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(45.0%)、「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと」(31.5%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと」(前回 20.8% → 今回 31.5%) が 10.7 ㊦上昇した。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

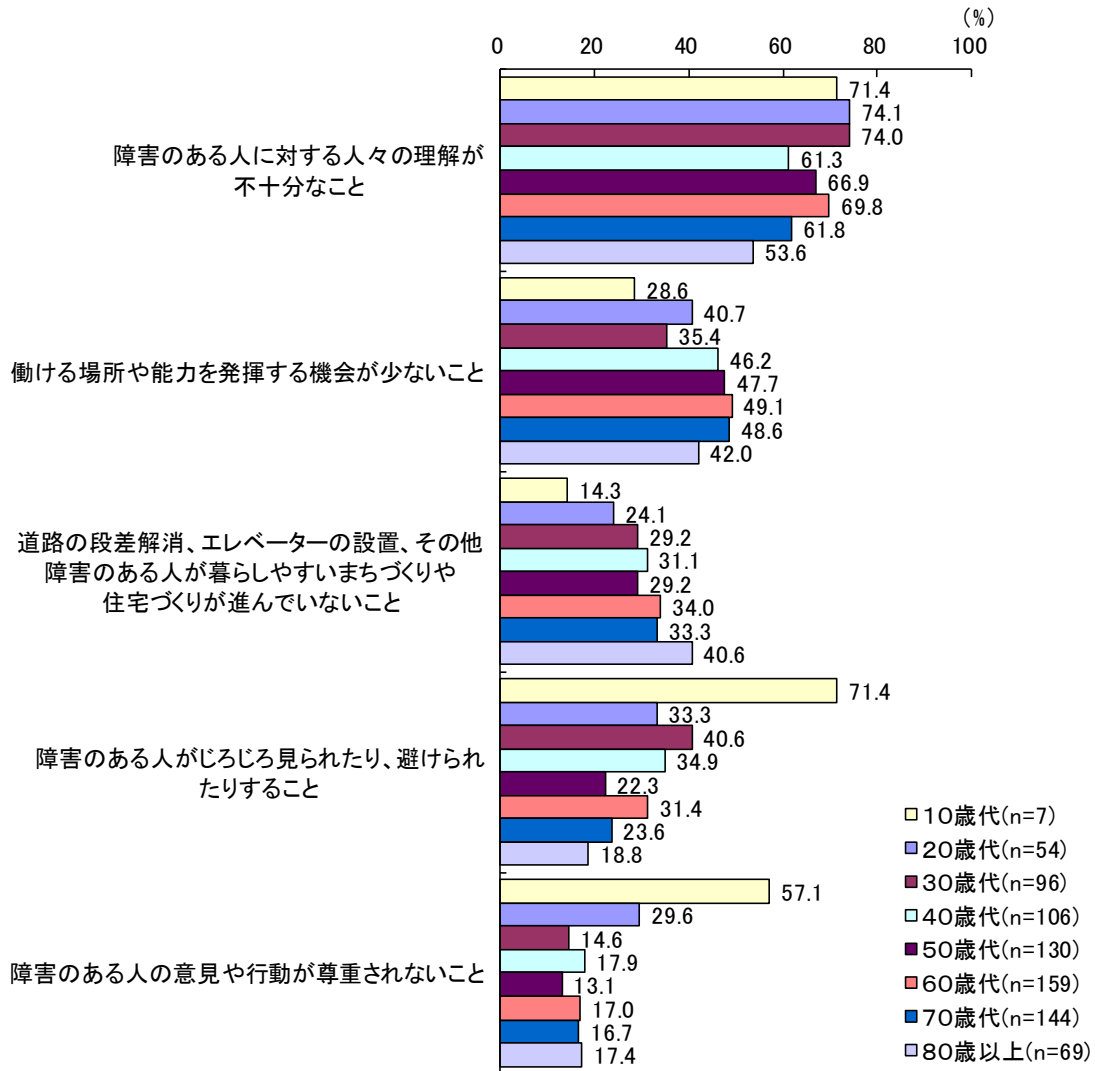
- ・相談窓口が少ない
- ・障害についての理解が少ないこと
- ・守られていると思う
- ・責極的に社会参画してもらいたい
- ・「自分と違う」というだけで差別や偏見を持つこと
- ・社会全体として、障害のある人が社会に出る機会を作る取り組みが足りない
- ・福祉事業所内におかしな社内ルールがあること
- ・働ける場所が全く無い訳ではないが、将来的にもっと働ける場所が広がるとよい

## 【 性別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「障害のある人に対する人々の理解が不十分なこと」（女性 66.8%、男性 65.0%）が最も高く、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」（女性 42.2%、男性 48.6%）、「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと」（女性 33.4%、男性 30.6%）が続いた。
- 「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」では、男性（48.6%）が女性（42.2%）を6.4ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



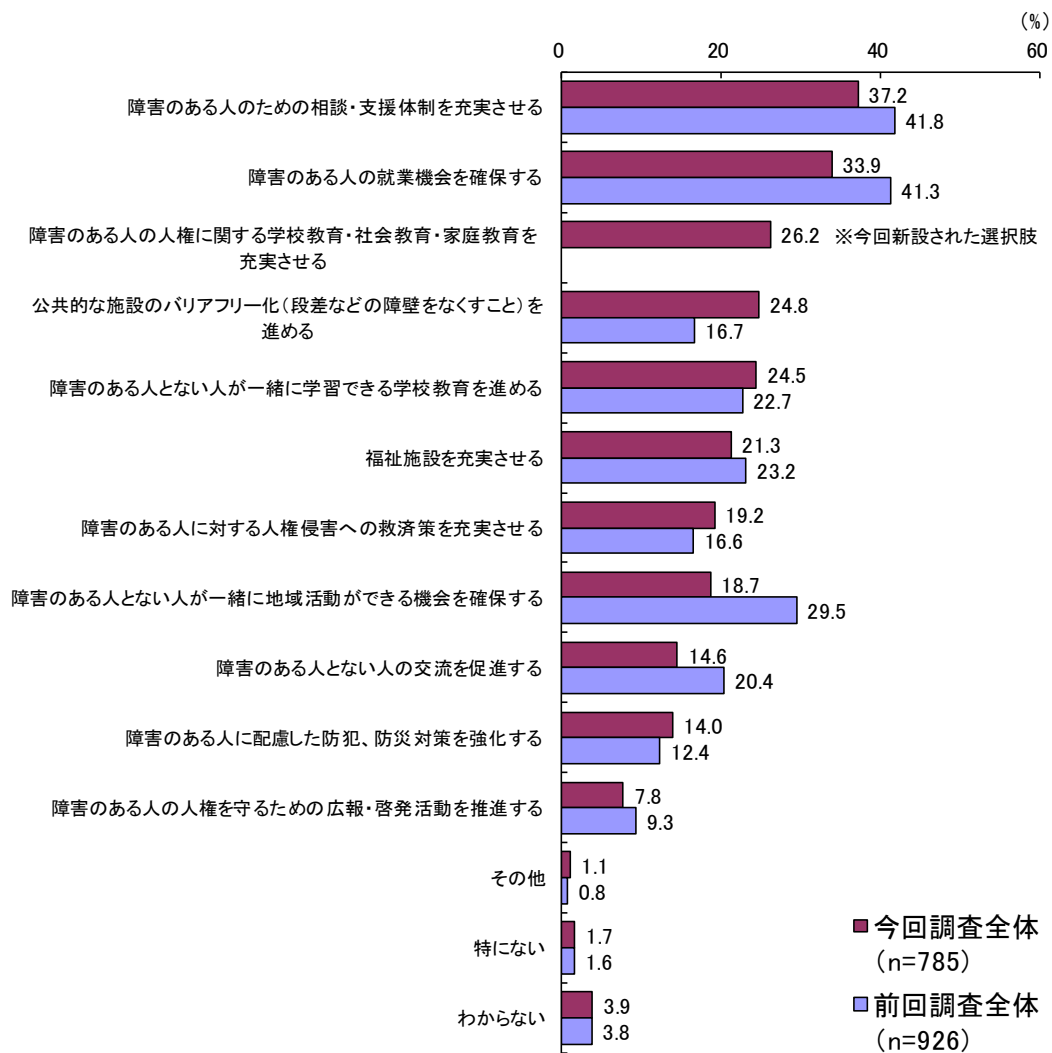
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「障害のある人に対する人々の理解が不十分なこと」は、10歳代（71.4%）、20歳代（74.1%）、30歳代（74.0%）で7割を超えた。「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと」は、80歳以上（40.6%）で4割を超えた一方、10歳代（14.3%）で1割台にとどまった。「障害のある人がじろじろ見られたり、避けられたりすること」は10歳代（71.4%）で7割を超えた。

問 14：あなたは、障害のある人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】



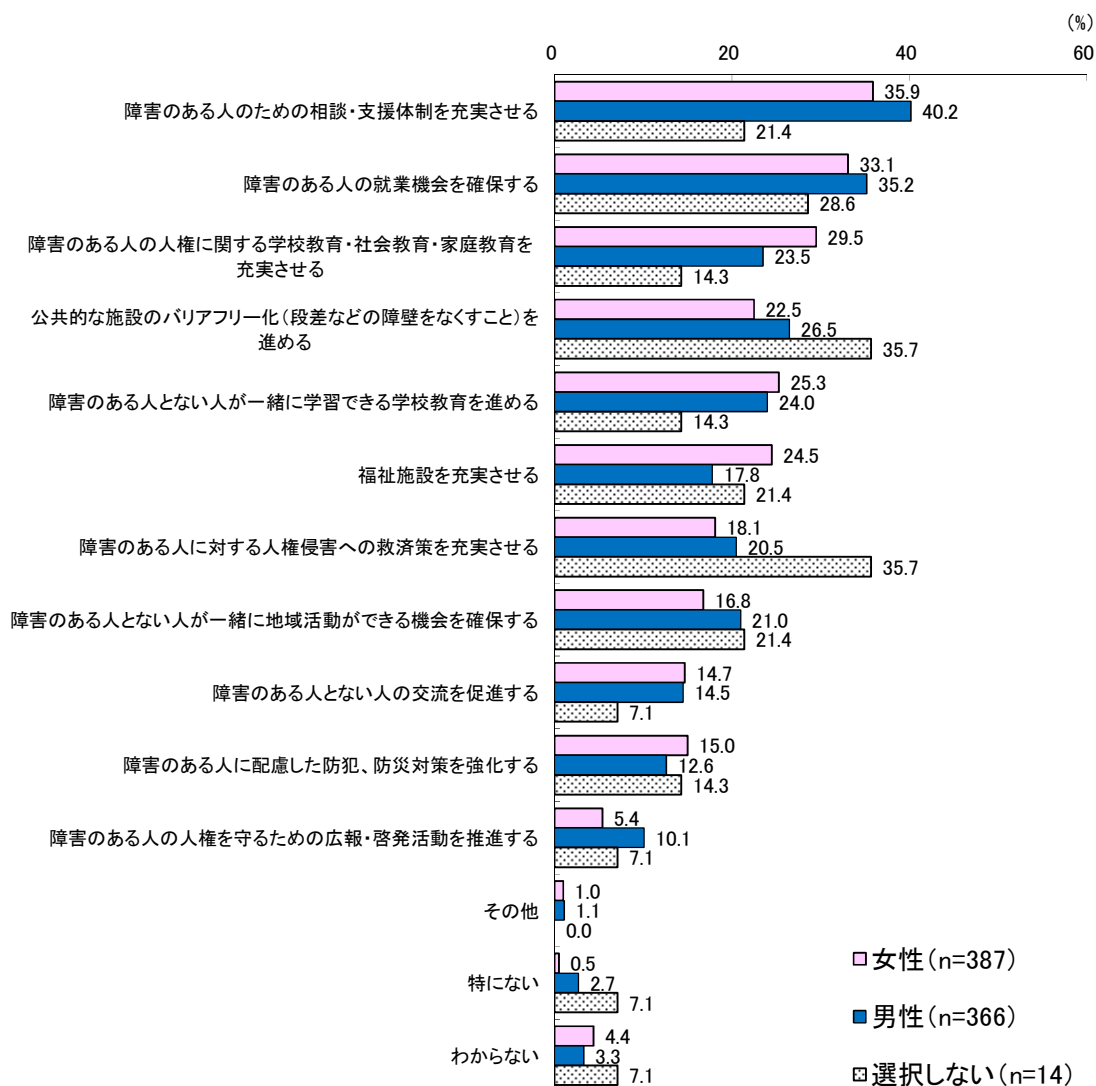
- 障害のある人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、全体では「障害のある人のための相談・支援体制を充実させる」(37.2%)が最も高く、「障害のある人の就業機会を確保する」(33.9%)、「障害のある人の人権に関する学校教育・社会教育・家庭教育を充実させる」(26.2%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「公共的な施設のバリアフリー化(段差などの障壁をなくすこと)を進める」(前回 16.7%→今回 24.8%)が 8.1 ㊦上昇した一方、「障害のある人とない人が一緒に地域活動ができる機会を確保する」(前回 29.5%→今回 18.7%)が 10.8 ㊦低下した。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

- ・身体障害者用トイレが少ないこと
- ・選択肢の取り組みがすべて必要
- ・点字ブロックをセンサー式にしてはどうか
- ・公共的に限らずバリアフリー化を進める
- ・障害という言葉自体が差別を生んでいる。障害とは何のことを指すのかが不明確
- ・障害のある人に対する理解を深め、よりそえる気持ちを広く育てていくこと

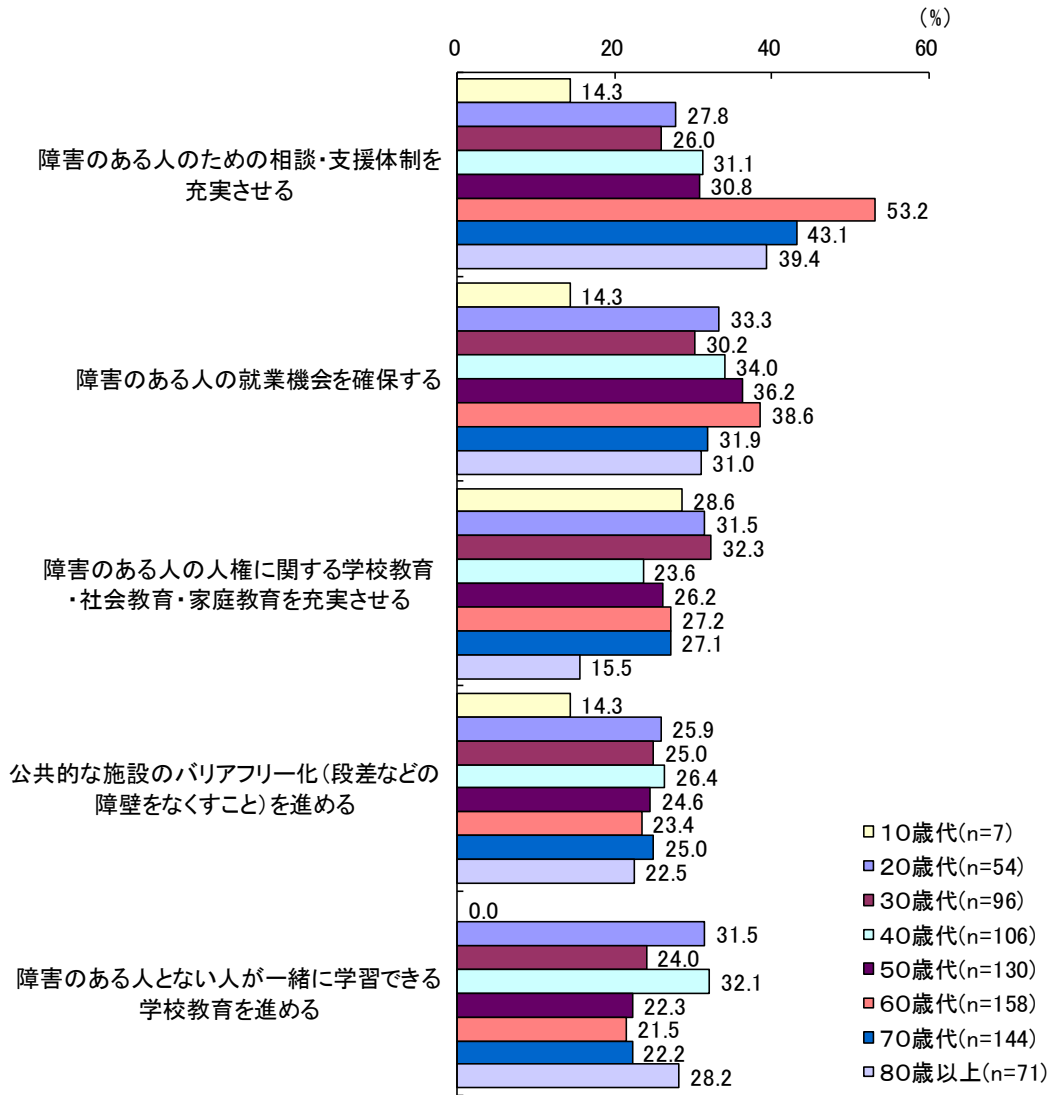


## 【 性 別 】



- 性別では、女性は「障害のある人のための相談・支援体制を充実させる」(35.9%)が最も高く、「障害のある人の就業機会を確保する」(33.1%)、「障害のある人の人権に関する学校教育・社会教育・家庭教育を充実させる」(29.5%)が続いた。男性は「障害のある人のための相談・支援体制を充実させる」(40.2%)が最も高く、「障害のある人の人権に関する学校教育・社会教育・家庭教育を充実させる」(35.2%)、「公共的な施設のバリアフリー化(段差などの障壁をなくすこと)を進める」(26.5%)が続いた。
- 「障害のある人のための相談・支援体制を充実させる」では、男性(40.2%)が女性(35.9%)を4.3ポイント上回り、「障害のある人の人権に関する学校教育・社会教育・家庭教育を充実させる」では、女性(29.5%)が男性(23.5%)を6.0ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

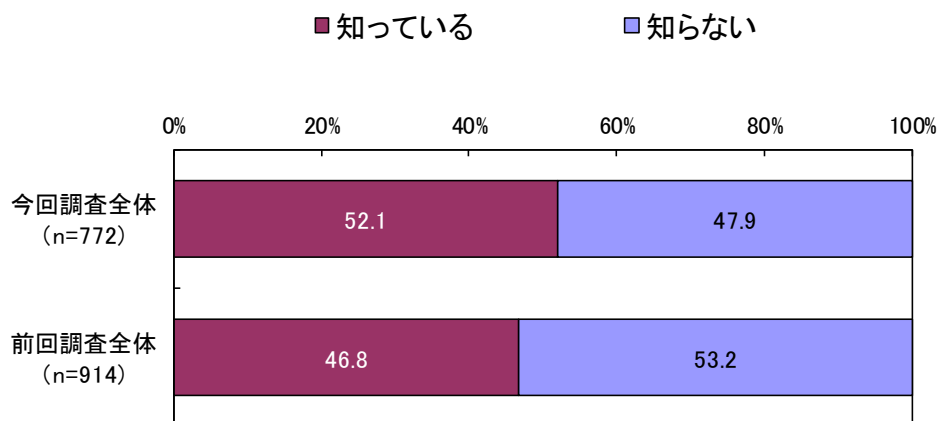
- 年代別では、「障害のある人のための相談・支援体制を充実させる」は60歳代(53.2%)で5割を超えたほか、70歳代(43.1%)で4割を超えた。「障害のある人の人権に関する学校教育・社会教育・家庭教育を充実させる」は、20歳代(31.5%)と30歳代(32.3%)で3割を超えた。

## 6. 同和問題について

問 15：あなたは、日本の社会にいまだに同和問題や同和地区があることを知っていますか。

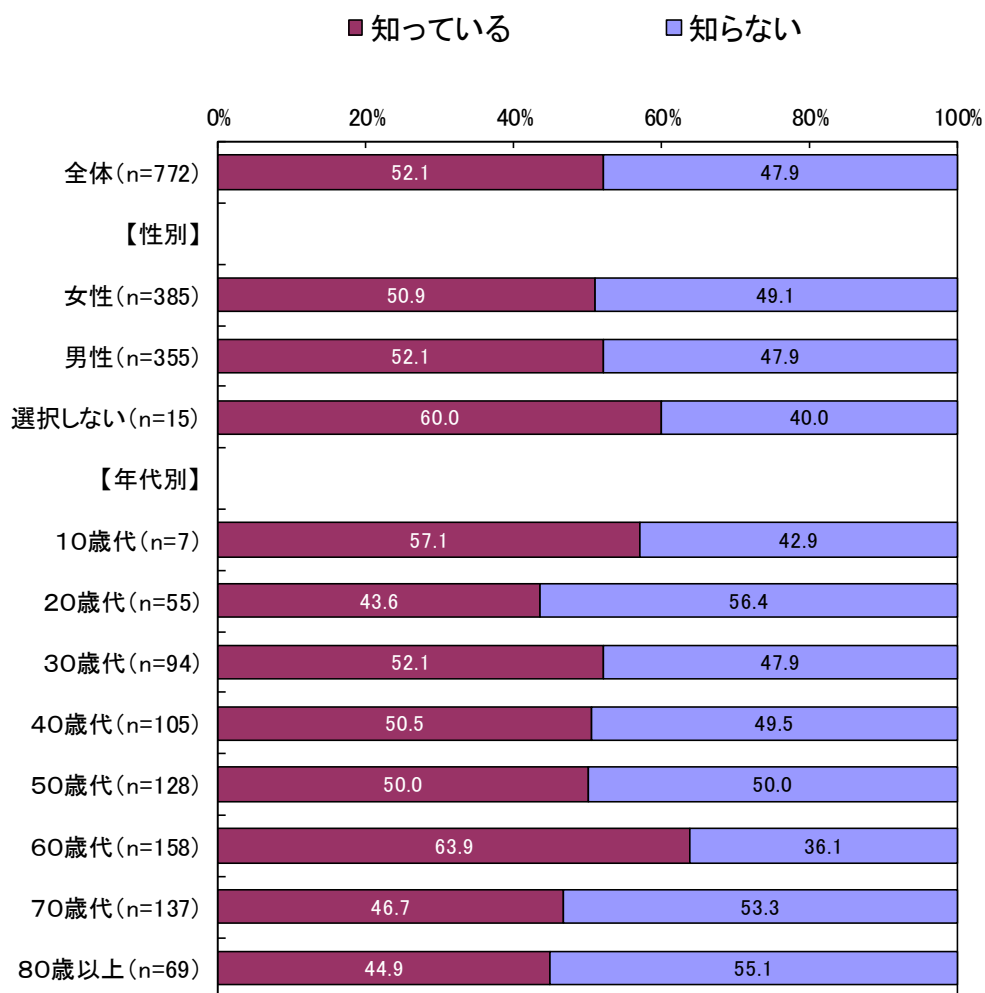
◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

### 【 全 体 】



- 同和問題や同和地区があることを知っているか尋ねたところ、全体では「知っている」が 52.1%、「知らない」が 47.9%で、「知っている」が「知らない」を 4.2 割上回った。
- 前回調査との比較では、「知っている」（前回 46.8%→今回 52.1%）が 5.3 割上昇し、5 割を超えた。

## 【 性別 ・ 年代別 】



- 性別では、「知っている」は女性（50.9%）、男性（52.1%）とも5割を超えた。
- 年代別では、「知っている」は60歳代（63.9%）で6割を超えた。

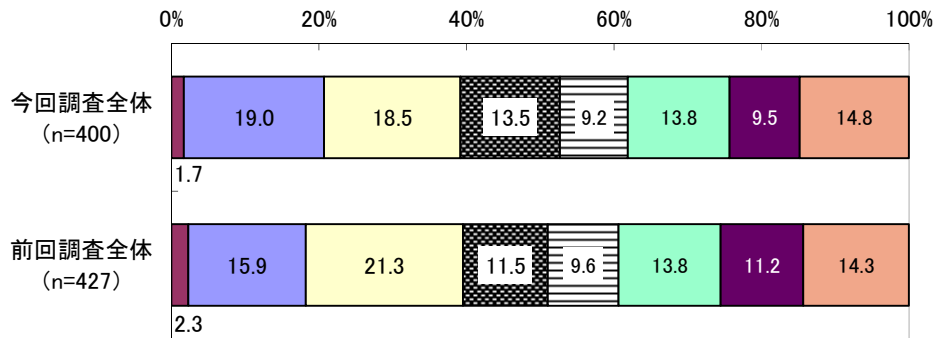
問 16：問 15 で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたが、同和問題や同和地区について、はじめて知ったのは、いつ頃ですか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【 全 体 】

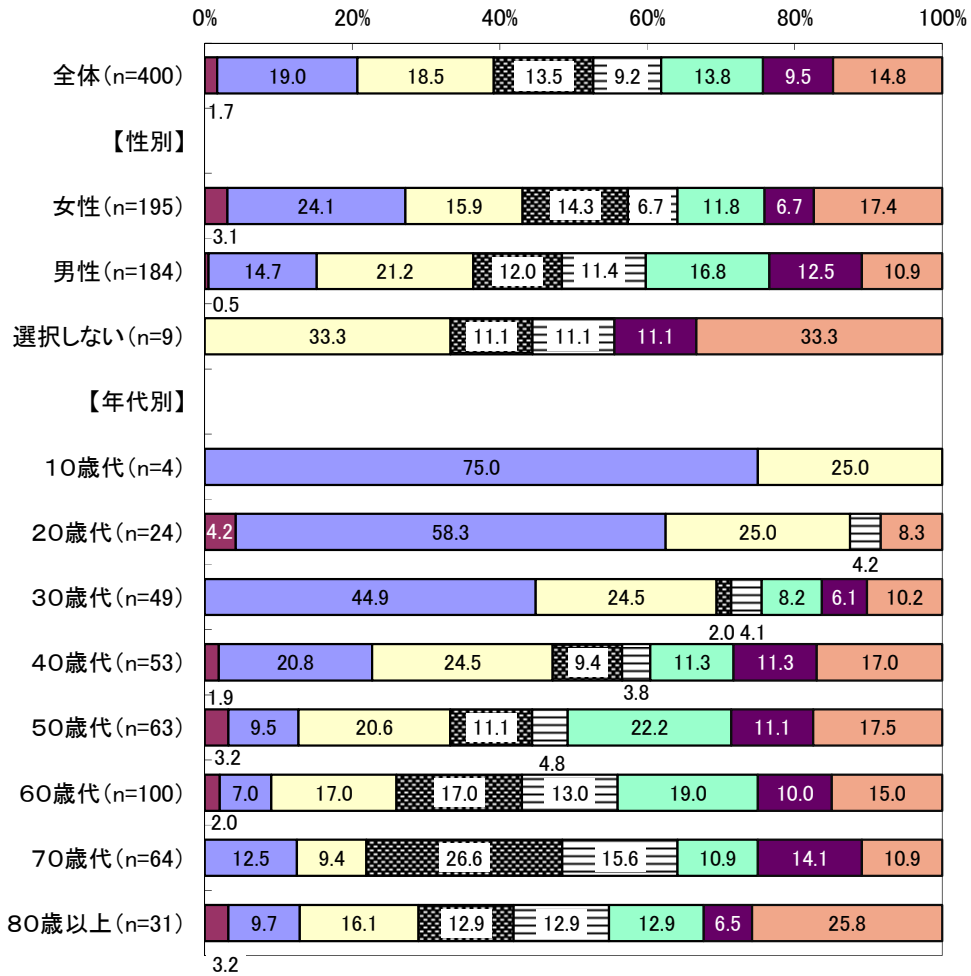
- 小学校入学前
- 小学生のとき
- 中学生のとき
- 15歳～18歳未満(高校生のとき)
- 18歳～20歳未満
- 20歳～30歳未満
- 30歳以上
- はっきりおぼえていない



- 問 15 で「1. 知っている」と回答した人に対して、同和問題や同和地区について、はじめて知ったのはいつ頃か尋ねたところ、「小学生のとき」(19.0%)が最も高く、「中学生のとき」(18.5%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「小学生のとき」(前回 15.9%→今回 19.0%)が 3.1 ㊦上昇した一方、「中学生のとき」(前回 21.3%→今回 18.5%)が 2.8 ㊦低下した。

## 【 性 別 ・ 年 代 別 】

- 小学校入学前
- 小学生のとき
- 中学生のとき
- 15歳～18歳未満(高校生のとき)
- 18歳～20歳未満
- 20歳～30歳未満
- 30歳以上
- はっきりおぼえていない



- 性別では、「小学生のとき」は女性（24.1%）が男性（14.7%）を9.4%上回り、「中学生のとき」は男性（21.2%）が女性（15.9%）を5.3%上回った。
- 年代別では、「小学生のとき」は10歳代（75.0%）で7割を超えたほか、20歳代（58.3%）で6割近くに達した。「15歳～18歳未満（高校生のとき）」は、70歳代（26.6%）で2割を超えた。

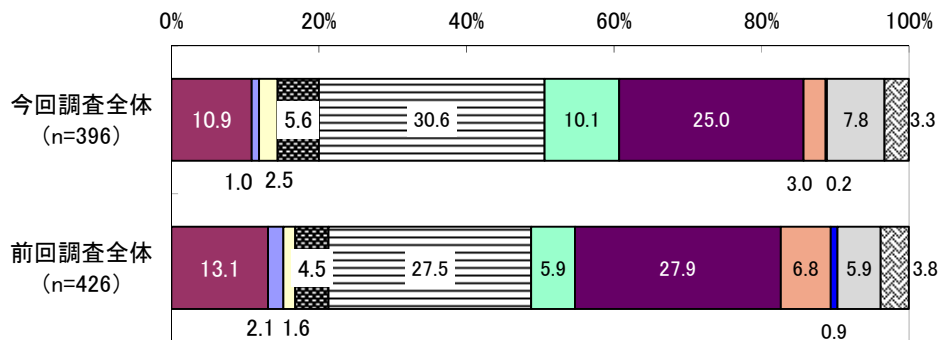
問 17：問 15 で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたが、同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけは、何ですか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

### 【 全 体 】

- 家族から聞いた
- 親せきの人から聞いた
- 近所の人から聞いた
- 学校の友だちや先輩・後輩から聞いた
- 学校の授業で教わった
- 職場の人から聞いた
- テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
- 同和問題の集会や研修会で知った
- 県や市町村の広報誌などで知った
- はっきりおぼえていない
- その他



- 問 15 で「1. 知っている」と回答した人に対して、同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何か尋ねたところ、全体では「学校の授業で教わった」(30.6%)が最も高く、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った」(25.0%)、「家族から聞いた」(10.9%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「学校の授業で教わった」(前回 27.5%→今回 30.6%)が3.1 ㊦上昇した一方、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った」(前回 27.9%→今回 25.0%)が2.9 ㊦低下した。

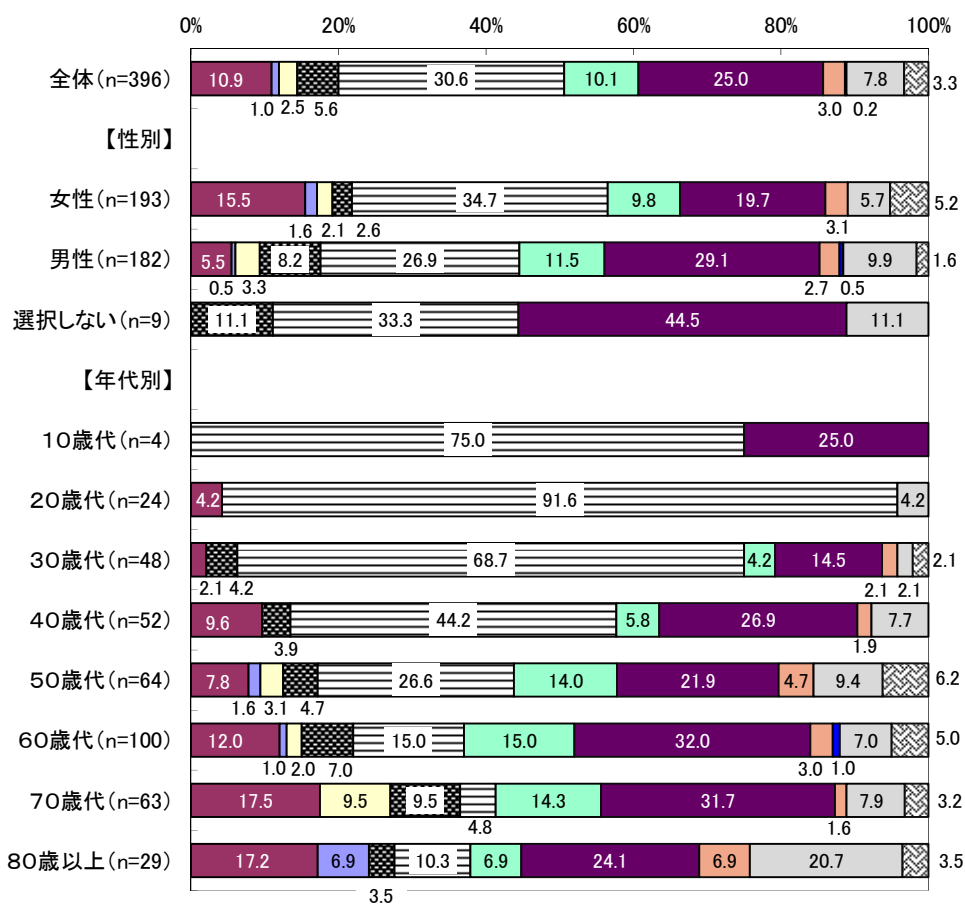
<「その他」で記載があった主な意見>

- ・ P T A活動
- ・ 同和地区で育った
- ・ 小説。新潟県内にも同和問題があることを知ったのは成人してから
- ・ 職場で研修会があった
- ・ 同和地区がある自治体に住んだとき



## 【 性別 ・ 年代別 】

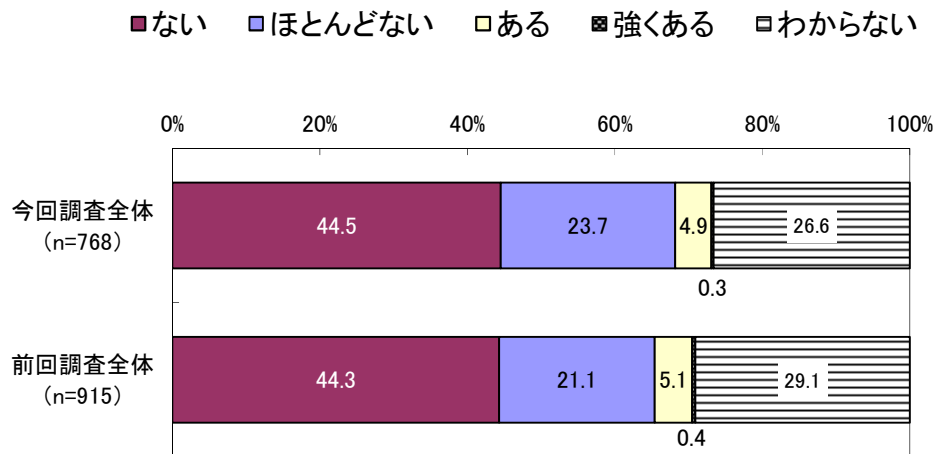
- 家族から聞いた
- 親せきの人から聞いた
- 近所の人から聞いた
- 学校の友だちや先輩・後輩から聞いた
- 学校の授業で教わった
- 職場の人から聞いた
- テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
- 同和問題の集会や研修会で知った
- 県や市町村の広報誌などで知った
- はっきりおぼえていない
- その他



- 性別では、「学校の授業で教わった」は女性（34.7%）が男性（26.9%）を7.8割上回り、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った」は男性（29.1%）が女性（19.7%）を9.4割上回った。
- 年代別では、「学校の授業で教わった」は、20歳代（91.6%）で9割を超えたほか、10歳代（75.0%）で全体の4分の1を占め、30歳代（68.7%）でも7割近くに達した。「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った」は、60歳代（32.0%）と70歳代（31.7%）で3割を超えた。

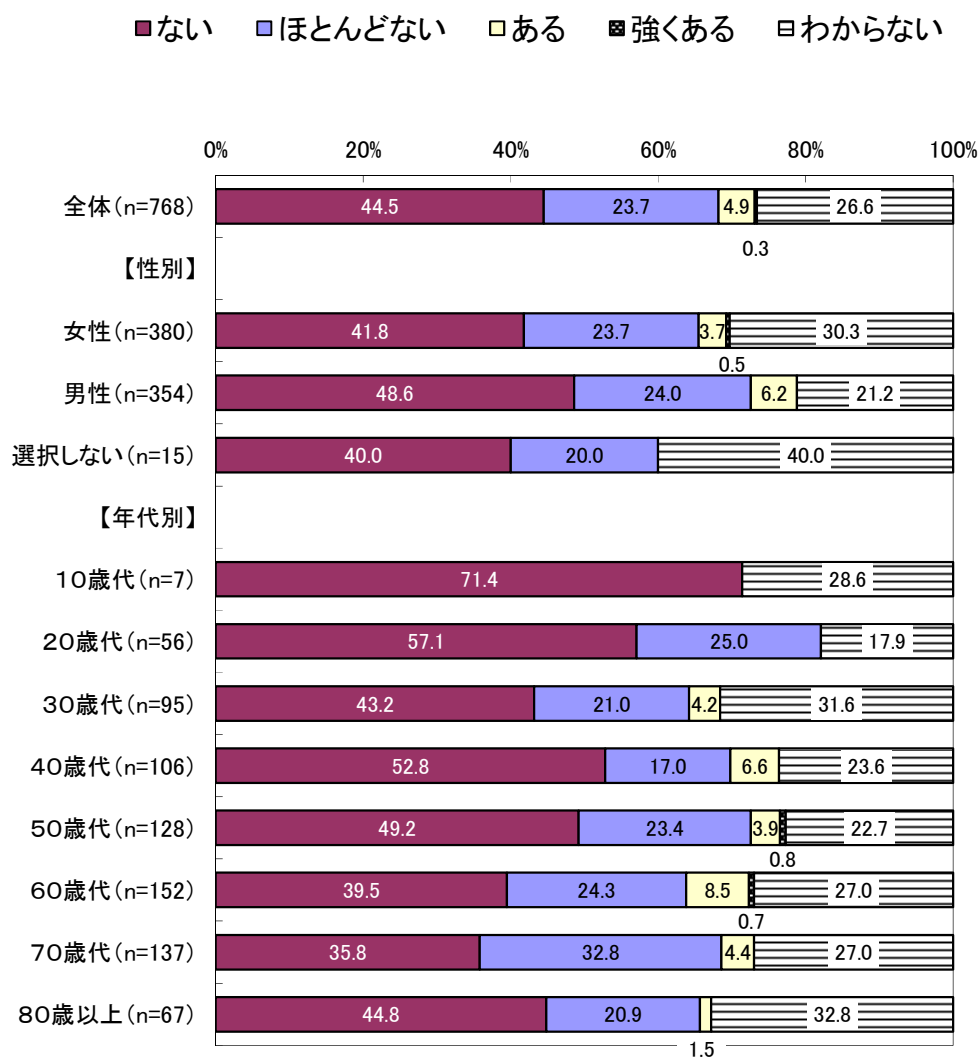
問 18: あなたのまわりで、同和地区の人を嫌がったり、避けたりする意識があると思いますか。  
 ◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【 全 体 】



- 自分のまわりで、同和地区の人を嫌がったり、避けたりする意識があると思うか尋ねたところ、「ない」が 44.5%、「ほとんどない」が 23.7%で、この2つを合わせた回答（68.2%）が7割近くを占めた。
- 前回調査と比較して特に大きな差は見られなかった。

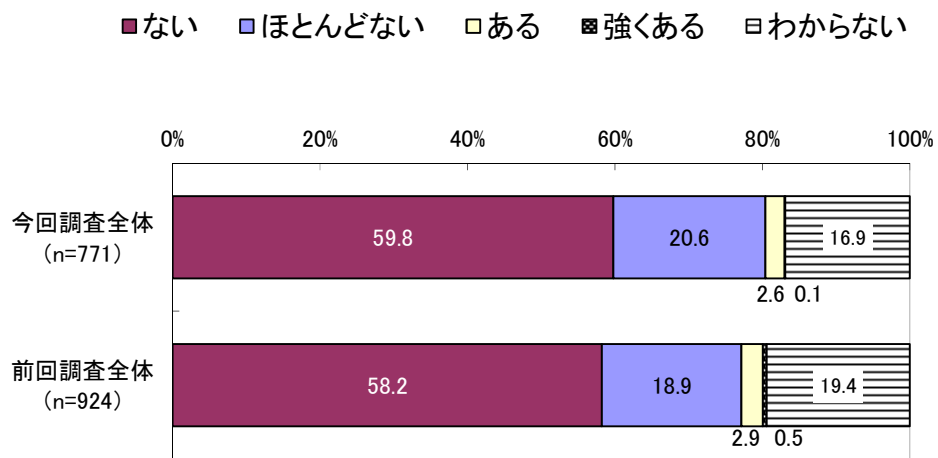
## 【 性別 ・ 年代別 】



- 性別では、「ない」は男性（48.6%）が女性（41.8%）を6.8割上回った。
- 年代別では、「ない」は、10歳代（71.4%）で7割を超えたほか、20歳代（57.1%）、40歳代（52.8%）で過半数を占めた。

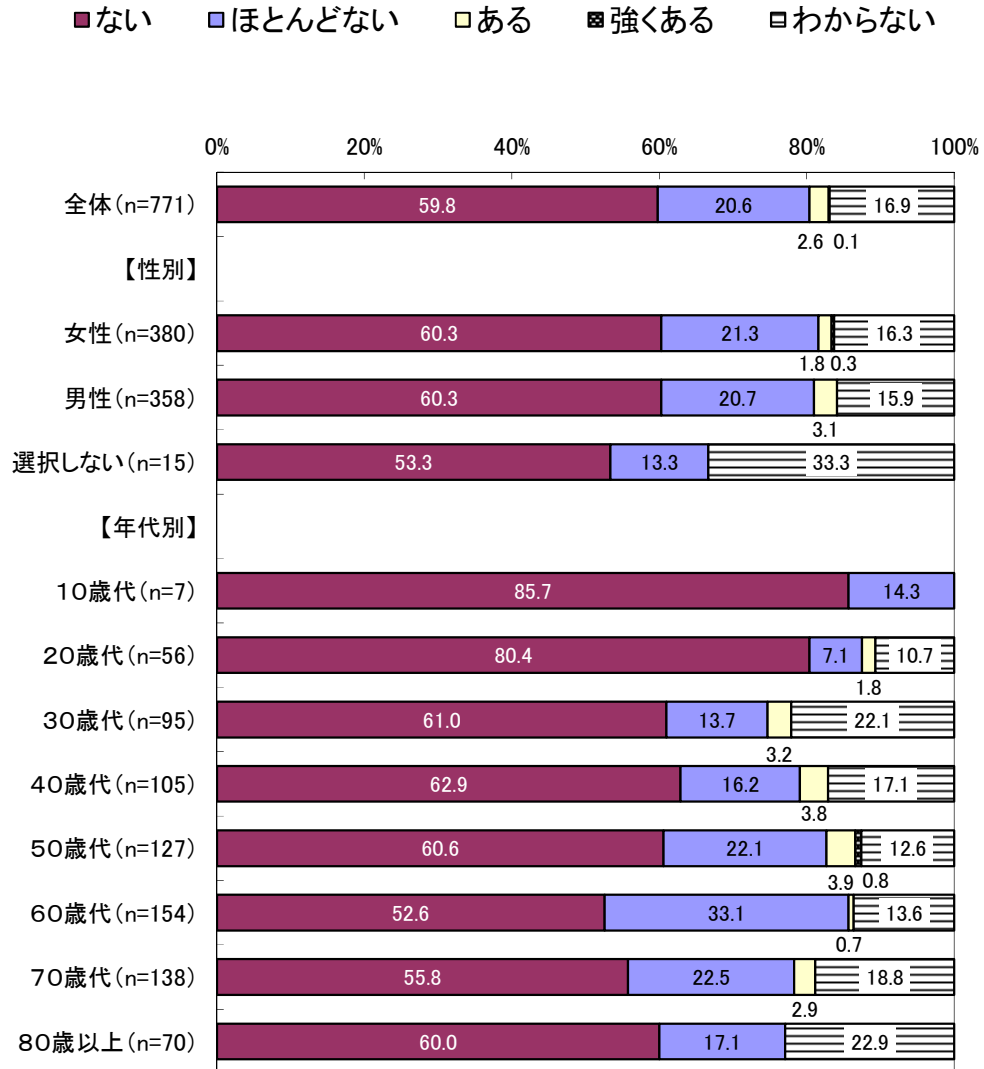
問 19：あなたは、自分自身に、同和地区の人を嫌がったり、避けたりする意識があると思いますか。  
 ◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【 全 体 】



- 自分自身に、同和地区の人を嫌がったり、避けたりする意識があると思うか尋ねたところ、「ない」が 59.8%、「ほとんどない」が 20.6%で、この2つを合わせた回答（80.4%）が8割を超えた。
- 前回調査との比較では、「ない」（前回 58.2%→今回 59.8%）が 1.6 ㊦、「ほとんどない」（前回 18.9%→今回 20.6%）が 1.7 ㊦、それぞれ上昇した。

## 【 性別 ・ 年代別 】



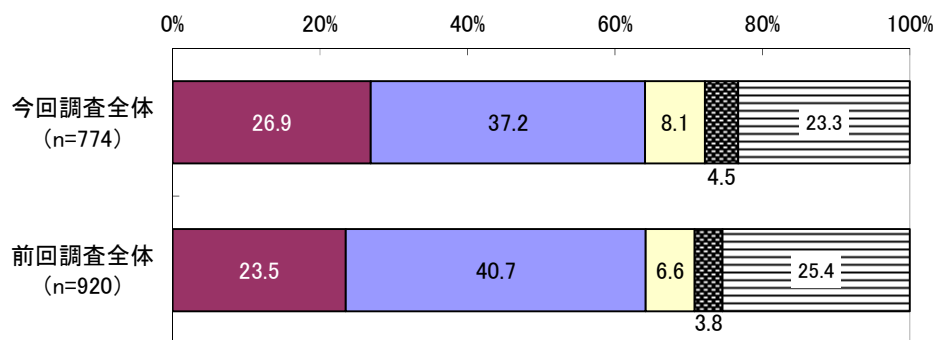
- 性別では、女性、男性とも「ない」（女性 60.3%、男性 60.3%）が6割を超え、「ほとんどない」（女性 21.3%、男性 20.7%）が2割を超えるなど、男女で大きな差は見られなかった。
- 年代別では、「ない」は10歳代（85.7%）、20歳代（80.4%）で8割を超えた。

問 20：あなたは、親しい友人から「〇〇さんは同和地区出身だ」と言われたとき、どのよう  
に対応しますか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

### 【 全 体 】

- 人権侵害でありよくないと言う
- 批判がましいことは言わない
- つい「そうか」と言ってしまう
- その他
- わからない



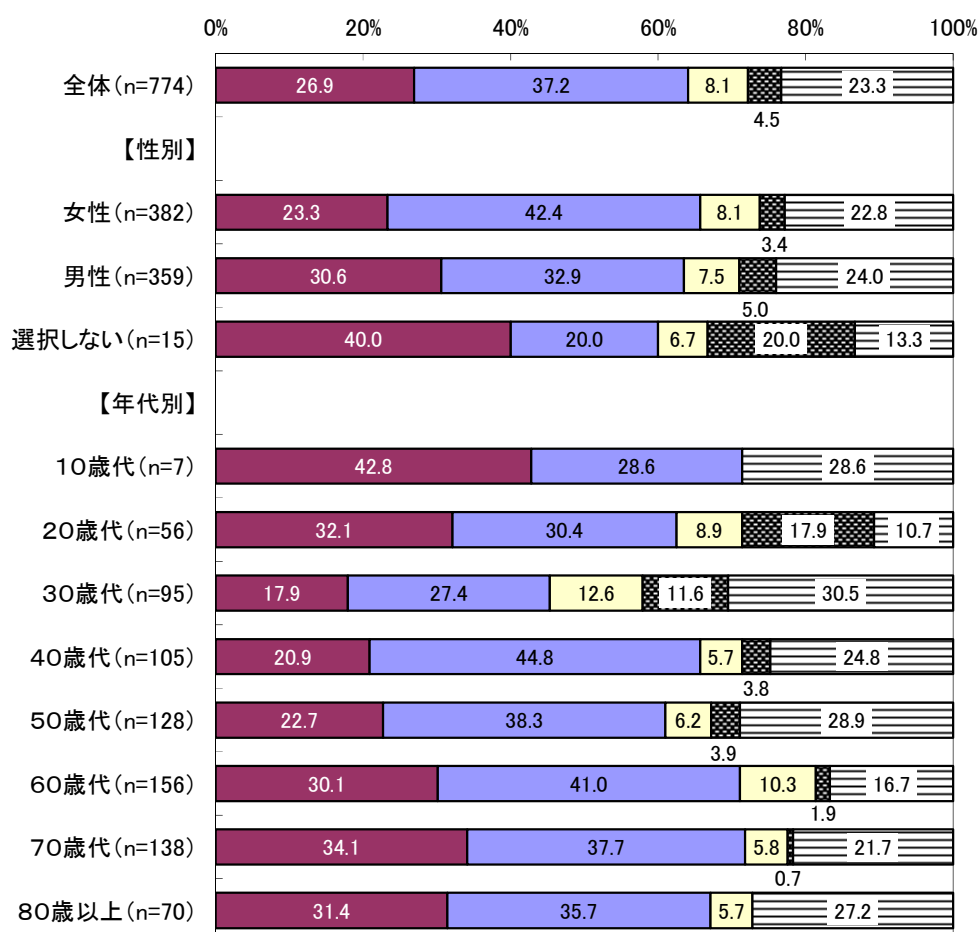
- 親しい友人から「〇〇さんは同和地区出身だ」と言われたとき、どのように対応するか尋ねたところ、全体では「批判がましいことは言わない」(37.2%)が最も高く、「人権侵害でありよくないと言う」(26.9%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「人権侵害でありよくないと言う」(前回 23.5%→今回 26.9%)が3.4%上昇した一方、「批判がましいことは言わない」(前回 40.7%→今回 37.2%)が3.5%低下した。

#### < 「その他」で記載があった主な意見 >

- ・ 気にしない
- ・ 「だから何？」と聞きかえす
- ・ なぜ打ち明けたのか理由を聞く
- ・ 聞き流す
- ・ 普段どおりに接する
- ・ 「あなたの人間性とは関係ない」と伝える

## 【 性別 ・ 年代別 】

- 人権侵害でありよくないと言う
- 批判がましいことは言わない
- つい「そうか」と言ってしまう
- その他
- わからない

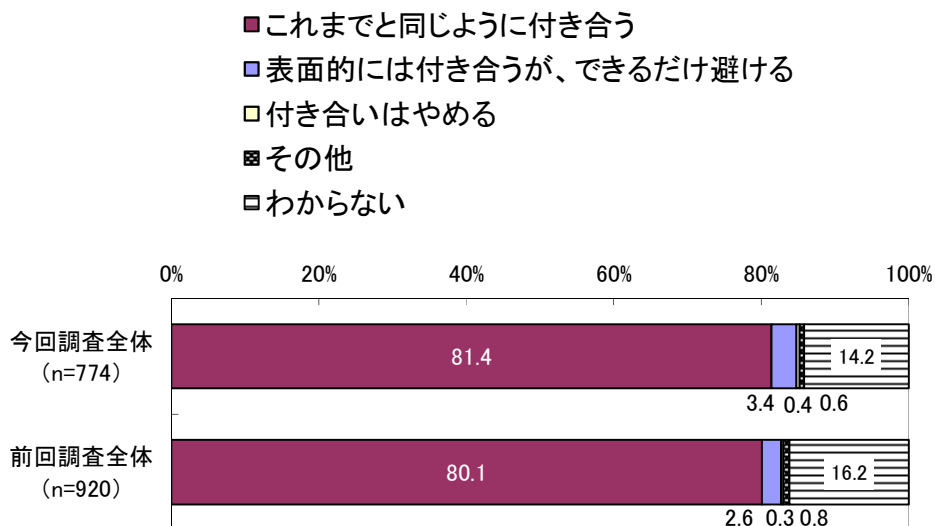


- 性別では、「批判がましいことは言わない」は女性（42.4%）が男性（32.9%）を9.5%上回り、「人権侵害でありよくないと言う」は男性（30.6%）が女性（23.3%）を7.3%上回った。
- 年代別では、「人権侵害でありよくないと言う」は10歳代（42.8%）で4割を超えた一方、30歳代（17.9%）で1割台にとどまった。

問 21：あなたは、親しく付き合っている隣近所の方が同和地区出身とわかった場合、どうしますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

### 【 全 体 】



- 親しく付き合っている隣近所の方が同和地区出身とわかった場合、どうするか尋ねたところ、「これまでと同じように付き合う」(81.4%)が最も高く、8割を超えた。
- 前回調査と比較して特に大きな差はみられなかった。

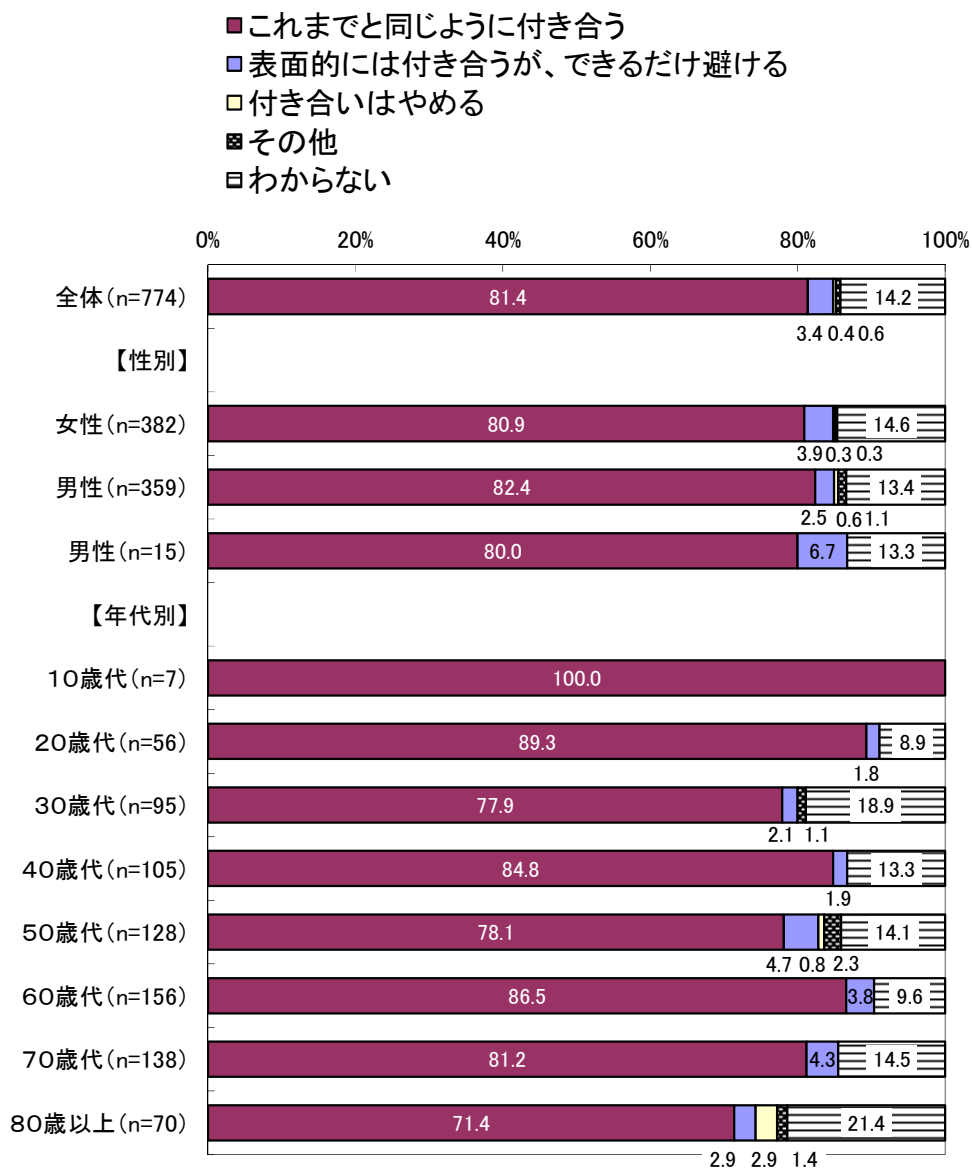
#### < 「その他」で記載があった主な意見 >

・特になにもしない

・わからない



## 【 性別 ・ 年代別 】



- 性別では、男女とも「これまでと同じように付き合う」（女性 80.9%、男性 82.4%）が 8 割を超えた。
- 年代別では、「これまでと同じように付き合う」は 10 歳代で 100.0% だったほか、20 歳代（89.3%）で 9 割近くに達した。

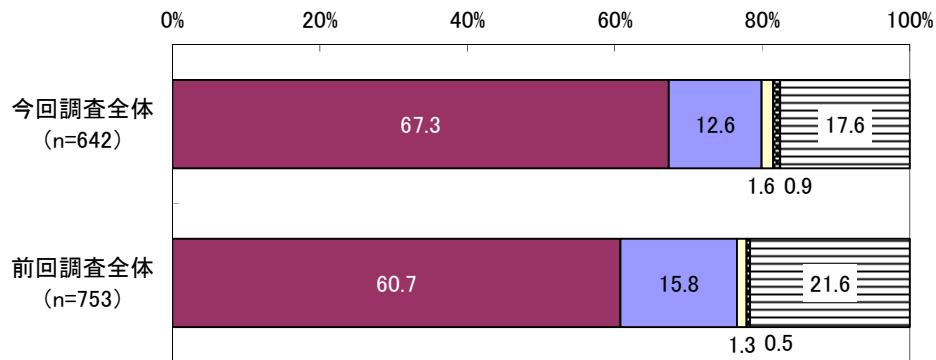
問 22：既婚の方のみお答えください。

仮に、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区出身者であるとわかった場合、あなたはどのように思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

### 【 全 体 】

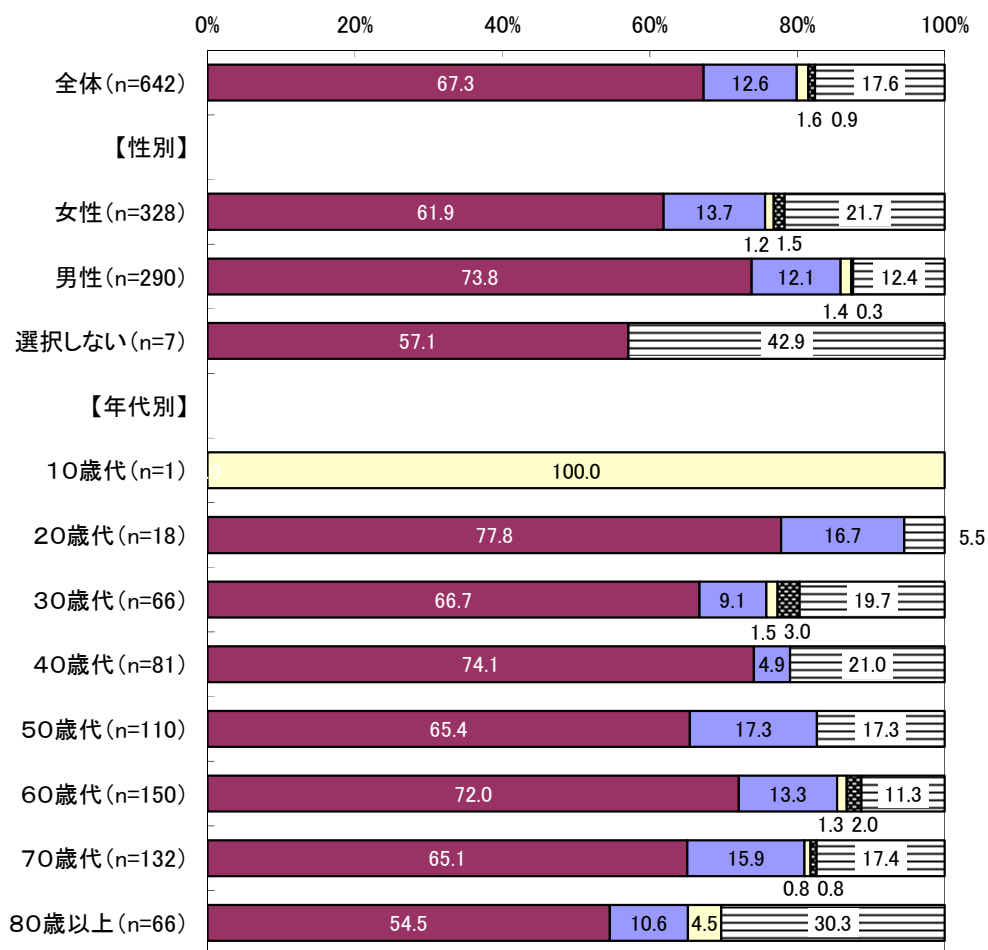
- 子どもの意志を尊重する
- 子どもの意志が強ければやむを得ない
- 家族・親せきの反対があれば認めない
- 絶対に認めない
- わからない



- 既婚の方に対して、子どもが結婚しようとする相手が同和地区出身者であるとわかった場合の対応を尋ねたところ、「子どもの意志を尊重する」(67.3%)が最も高く、全体の3分の2以上を占めた。
- 前回調査との比較では、「子どもの意志を尊重する」(前回 60.7%→今回 67.3%)が6.6%上昇した一方、「子どもの意思が強ければやむを得ない」(前回 15.8%→今回 12.6%)は3.2%低下した。

## 【 性別 ・ 年代別 】

- 子どもの意志を尊重する                      □ 子どもの意志が強ければやむを得ない
- 家族・親せきの反対があれば認めない   ■ 絶対に認めない
- わからない



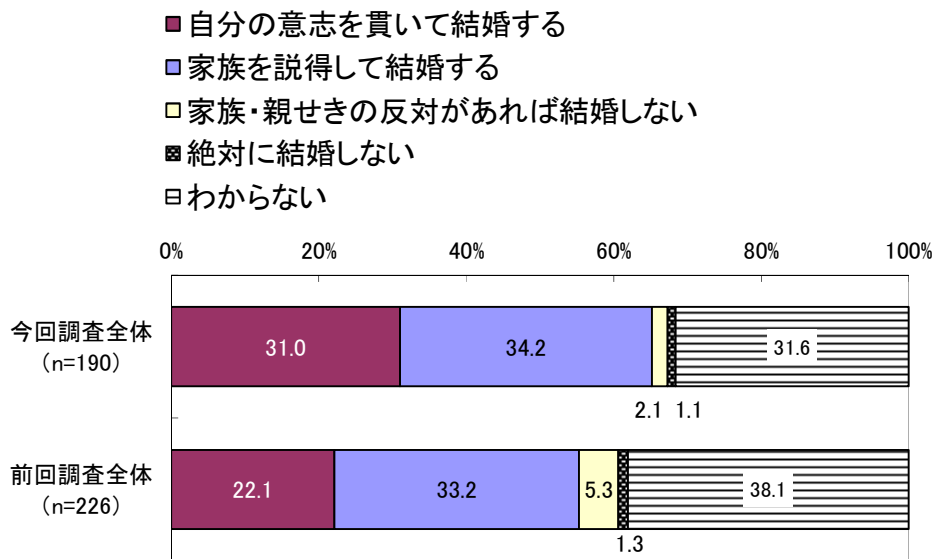
- 性別では、「子どもの意志を尊重する」は男性（73.8%）が女性（61.9%）を11.9%以上回った。
- 年代別では、「子どもの意志を尊重する」は20歳代（77.8%）、40歳代（74.1%）、60歳代（72.0%）で7割を超えた。

問 23 : 未婚の方のみお答えください。

仮に、あなたが、同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、家族や親せきから強い反対を受けた場合、あなたは、どうすると思いますか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

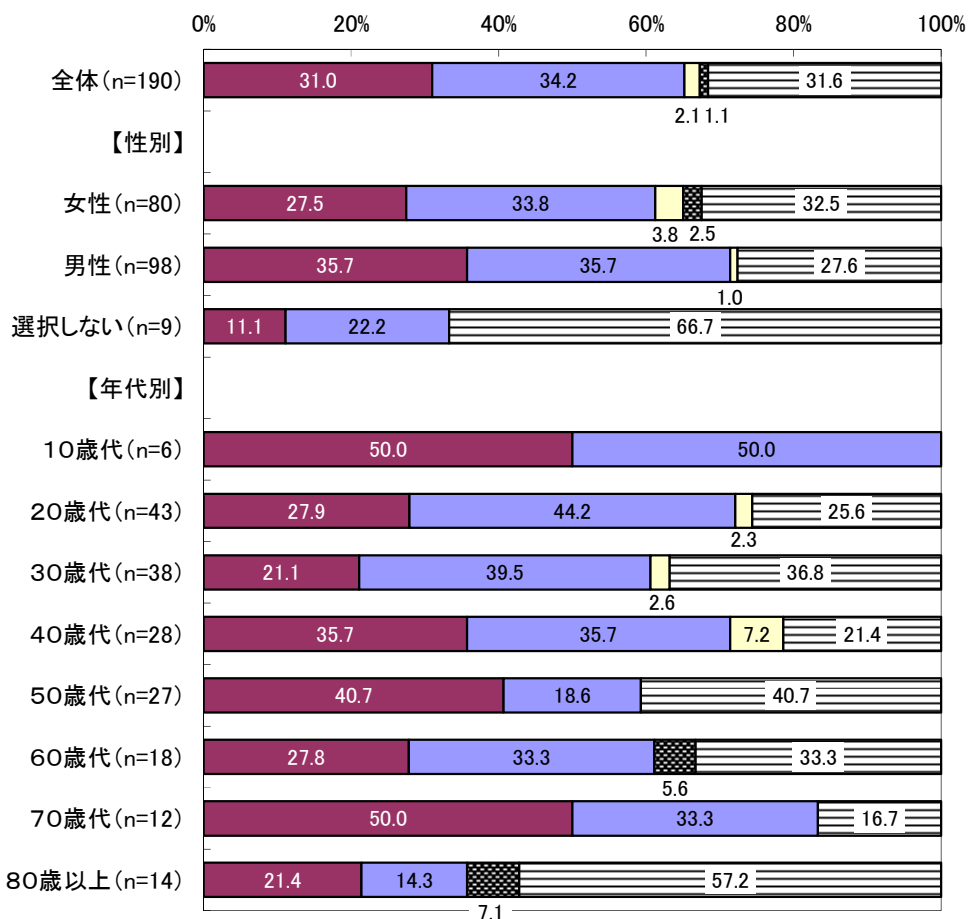
### 【 全 体 】



- 未婚の方に対して、同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、家族や親せきから強い反対を受けた場合、どうすると思うか尋ねたところ、全体では「家族を説得して結婚する」(34.2%)が最も高かった。
- 前回調査との比較では、「自分の意志を貫いて結婚する」(前回 22.1%→今回 31.0%)が 8.9 ㊦上昇した。

## 【 性別 ・ 年代別 】

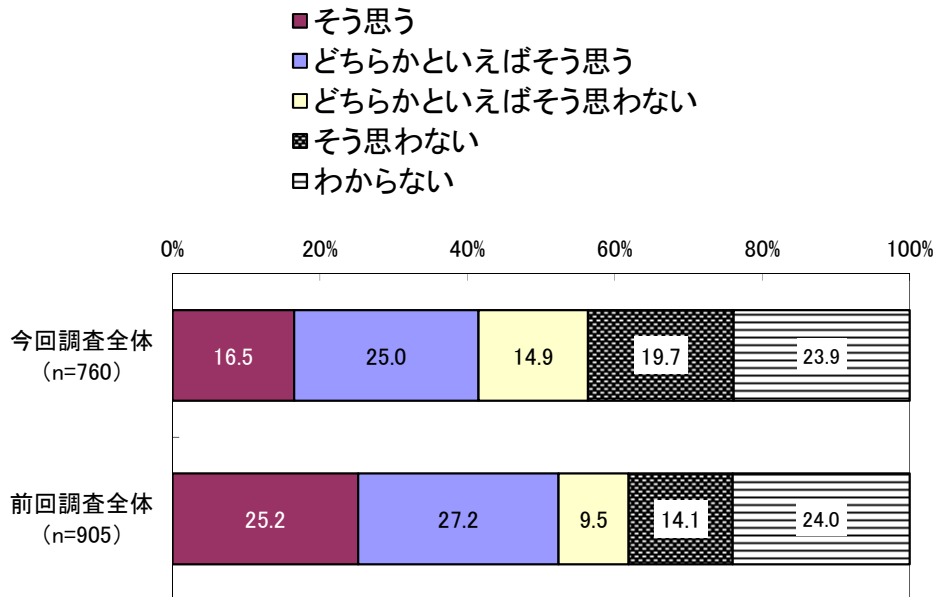
- 自分の意志を貫いて結婚する
- 家族を説得して結婚する
- 家族・親せきの反対があれば結婚しない
- 絶対に結婚しない
- わからない



- 性別では、「自分の意志を貫いて結婚する」は男性（35.7%）が女性（女性 27.5%）を 8.2 割上回った。
- 年代別では、「自分の意志を貫いて結婚する」は 10 歳代（50.0%）、70 歳代（50.0%）で 5 割に達した。

問 24：同和問題について「そっとしておけば部落差別は自然になくなる」という意見があります。この意見に対して、あなたはどのように思いますか。  
 ◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

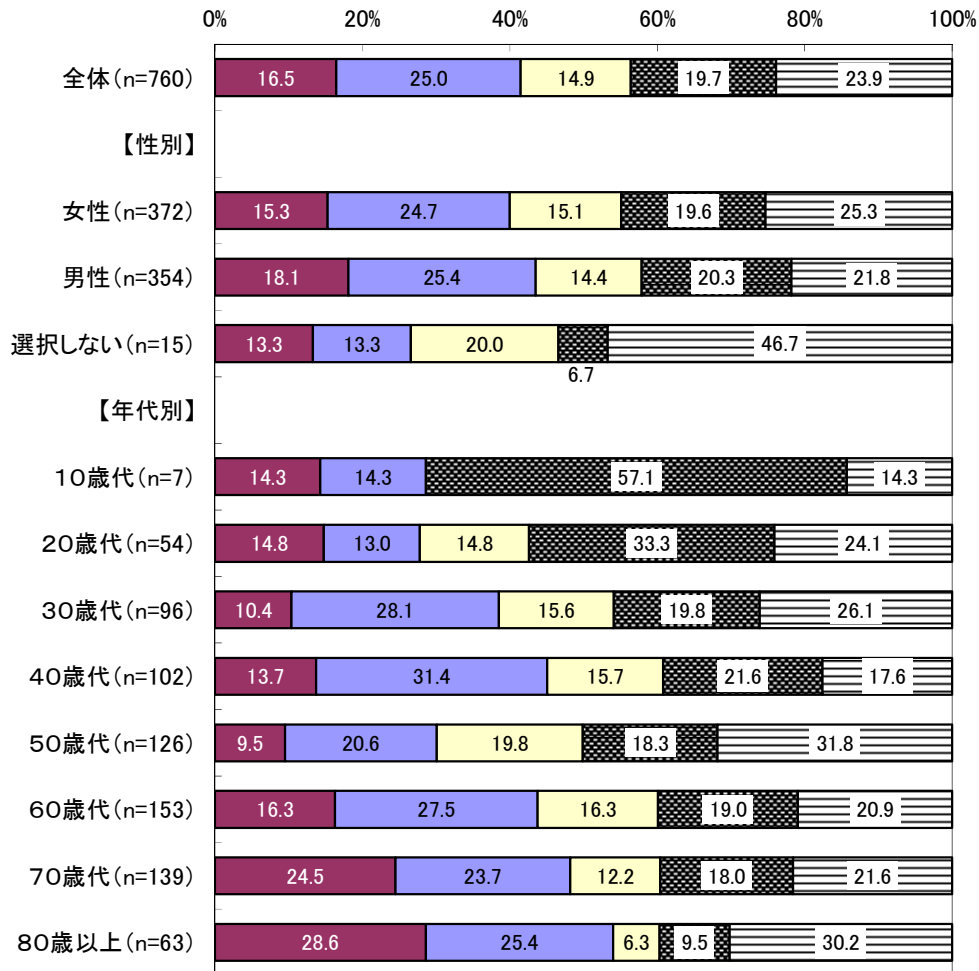
【 全 体 】



- 同和問題について「そっとしておけば部落差別は自然になくなる」という意見があることに対して、どう思うか尋ねたところ、「そう思う」が16.5%、「どちらかといえばそう思う」が25.0%で、この2つを合わせた回答(41.5%)が4割を超え、「どちらかといえばそう思わない」(14.9%)、「そう思わない」(19.7%)を合わせた回答(34.6%)を6.9%上昇した。
- 前回調査との比較では、「そう思う」(前回25.2%→今回16.5%)が8.7%減少した一方、「どちらかといえばそう思わない」(前回14.1%→今回19.7%)が5.6%上昇した。

## 【 性別 ・ 年代別 】

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

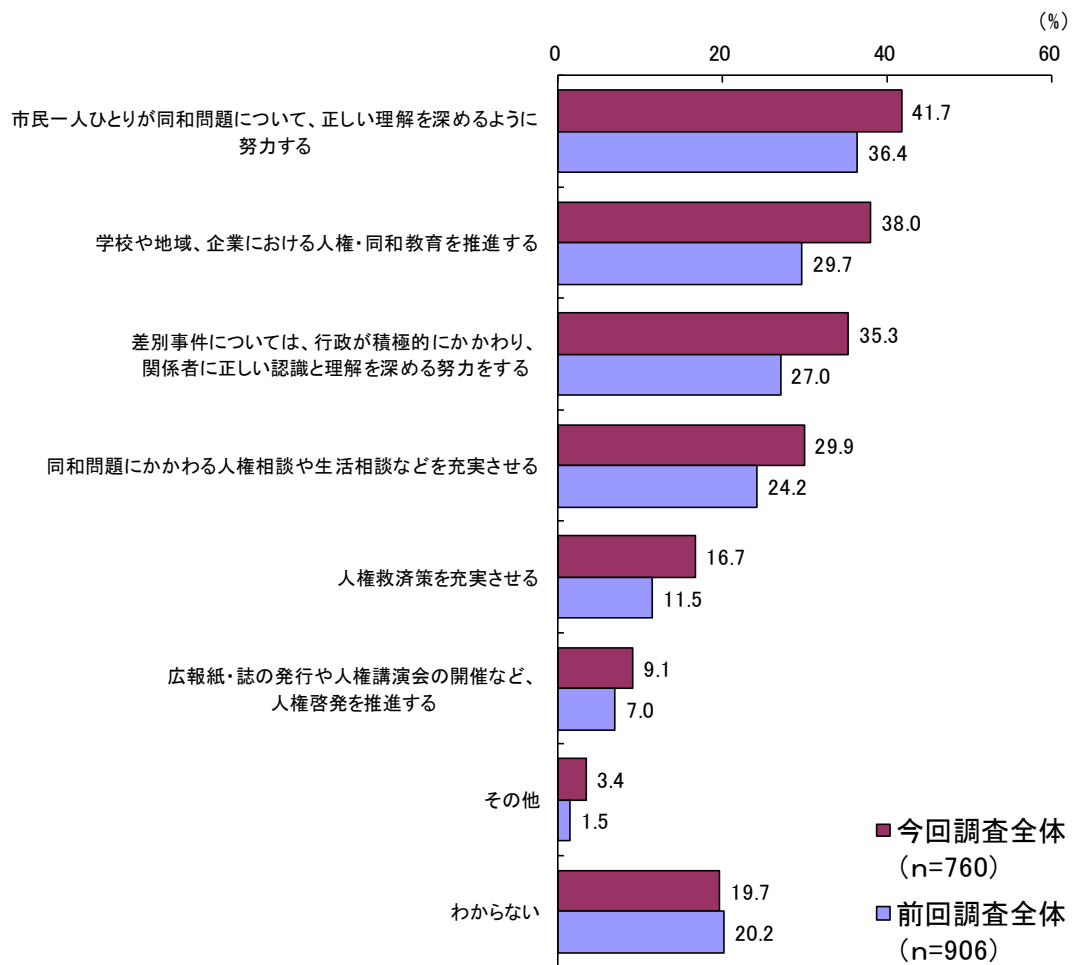


- 性別では、「そう思う」は男性（18.1%）が女性（15.3%）を2.8割上回った。また、「どちらかといえばそう思う」も男性（25.4%）が女性（24.7%）を0.7割上回った。
- 年代別では、「そう思う」は70歳代（24.5%）、80歳以上（28.6%）で2割を超えた。「そう思わない」は10歳代（57.1%）で5割を超えたほか、20歳代（33.3%）で3割を超えた。

問 25：あなたは、同和問題を解決するために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】



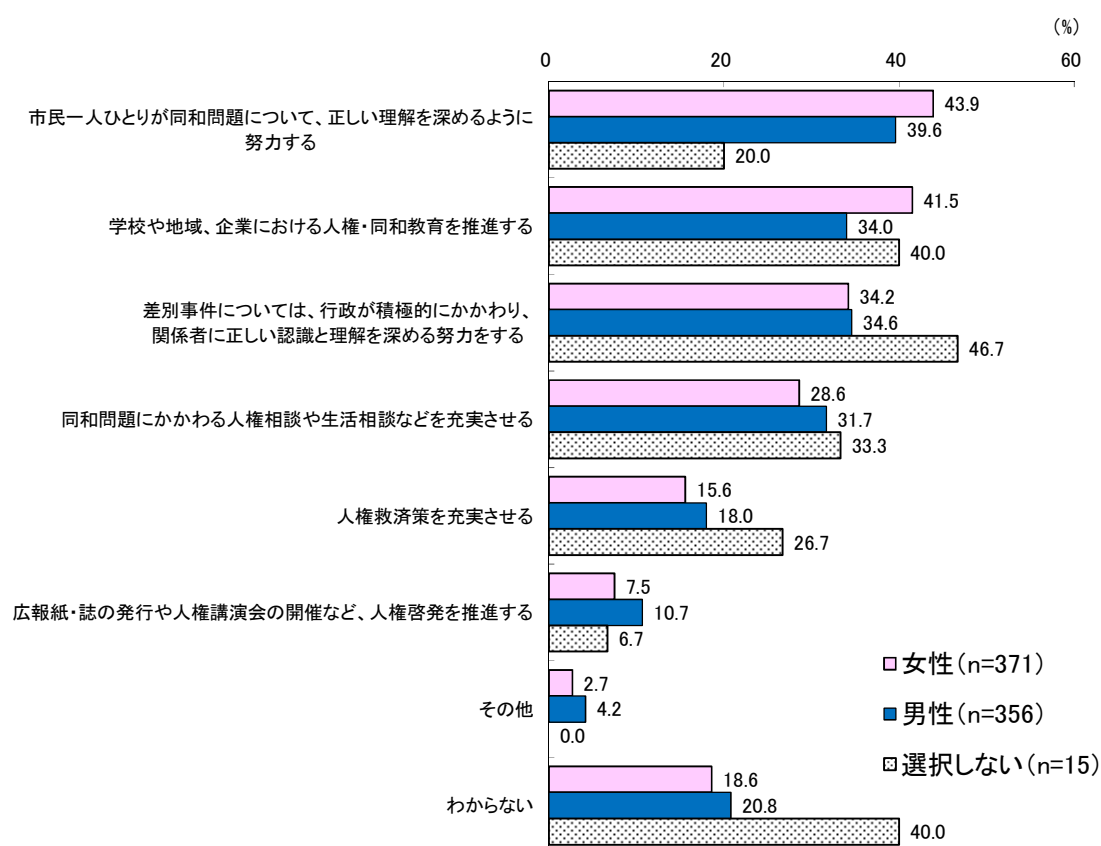
- 同和問題を解決するために必要なことを尋ねたところ、全体では「市民一人ひとりが同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」(41.7%)、「学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する」(38.0%)、「差別事件については、行政が積極的にかかわり、関係者に正しい認識と理解を深める努力をする」(35.3%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する」(前回 29.7%→今回 38.0%)が 8.3 割上昇し、「差別事件については、行政が積極的にかかわり、関係者に正しい認識と理解を深める努力をする」(27.0%→35.3%)も 8.3 割上昇した。



＜「その他」で記載があった主な意見＞

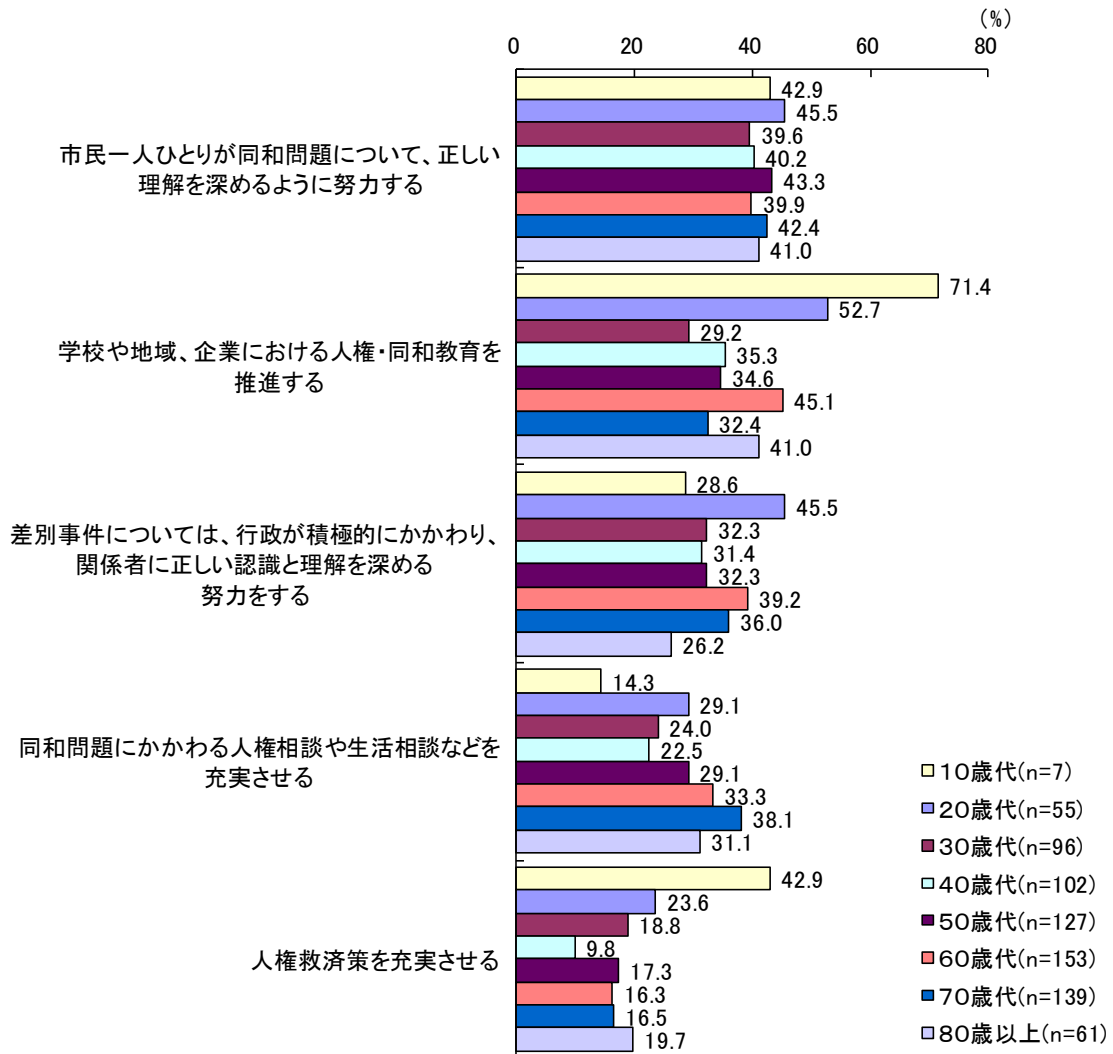
- ・小さな頃からの差別に対する教育
- ・人権教育を充実させる
- ・えせ同和行為なくす
- ・学校の歴史・社会科を充実させる
- ・メディアを使い、考え方を考える風潮を作る
- ・公にも話題にしなければ自然と忘れられていくと思う
- ・粘り強く理解が進むよう指導していく
- ・教養を深める
- ・集会・懇談会を行う
- ・差別者に対する社会的な制裁
- ・あまり行動をおこさず地域で見守る

## 【 性別 】



- 性別では、女性は「市民一人ひとりが同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」(43.9%)が最も高く、「学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する」(41.5%)、「差別事件については、行政が積極的にかかわり、関係者に正しい認識と理解を深める努力をする」(34.2%)が続いた。男性は「市民一人ひとりが同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」(39.6%)が最も高く、「差別事件については、行政が積極的にかかわり、関係者に正しい認識と理解を深める努力をする」(34.6%)、「学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する」(34.0%)が続いた。
- 「市民一人ひとりが同和問題について、正しい理解を深めるように努力する」では、女性(43.9%)が男性(39.6%)を4.3ポイント上回り、「学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する」は女性(41.5%)が男性(34.0%)を7.5ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

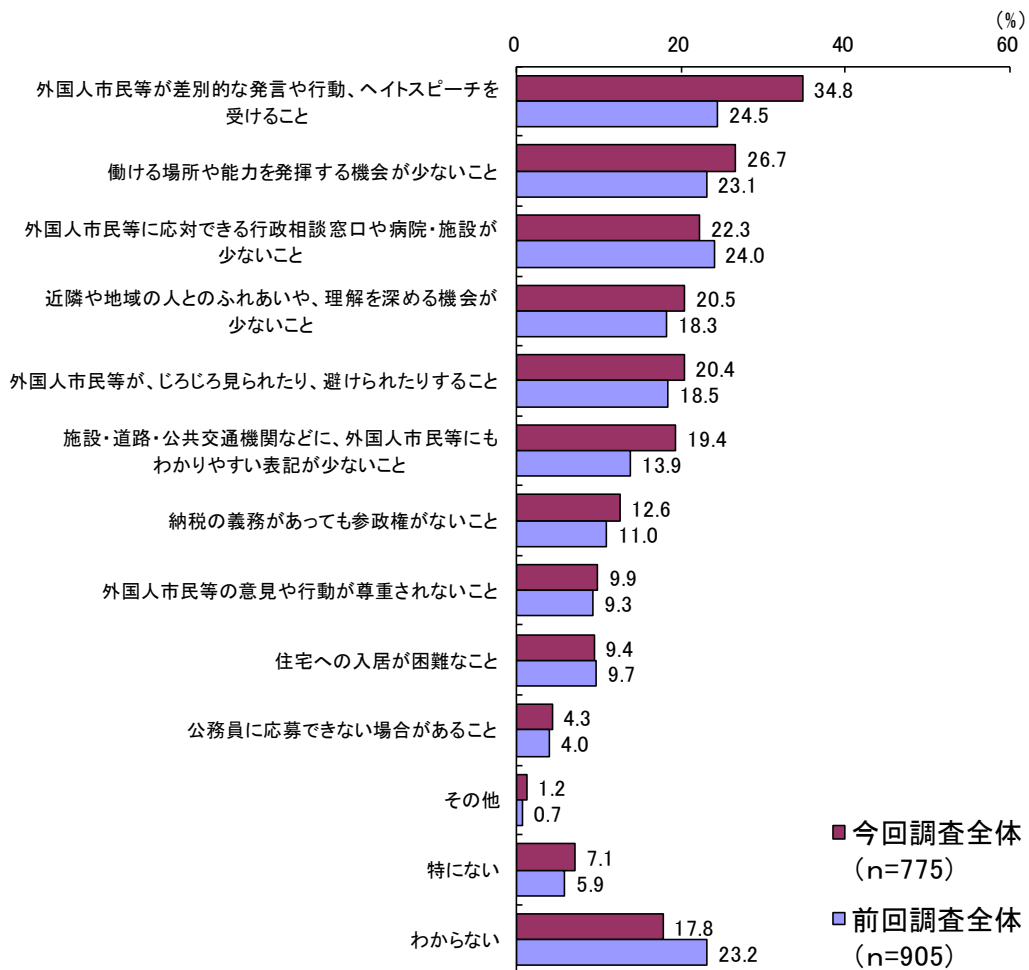
- 「学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する」は、10歳代（71.4%）で7割を超えたほか、20歳代（52.7%）で5割を超えた。「差別事件については、行政が積極的にかかわり、関係者に正しい認識と理解を深める努力をする」は、20歳代（45.5%）で4割を超えた。

## 7. 外国人市民等の人権に関する問題について

問 26：あなたが、「外国人市民等の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

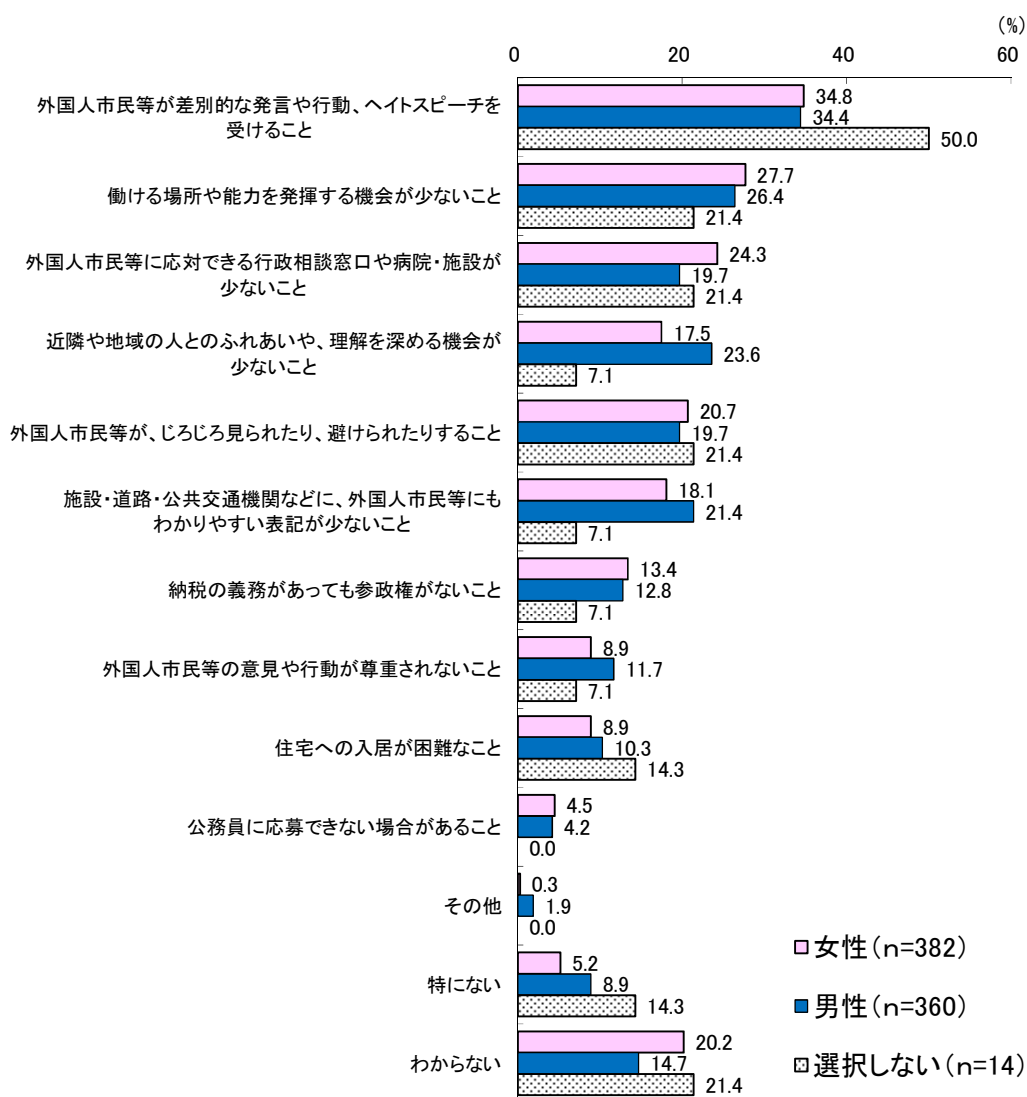


- 「外国人市民等の人権が特に守られていない」と思うのは、どのようなことか尋ねたところ、全体では「外国人市民等が差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること」(34.8%)が最も高く、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(26.7%)、「外国人市民等にに対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」(22.3%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「外国人市民等が差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること」(前回 24.5%→今回 34.8%)が 10.3 ㊦上昇した。

< 「その他」で記載があった主な意見 >

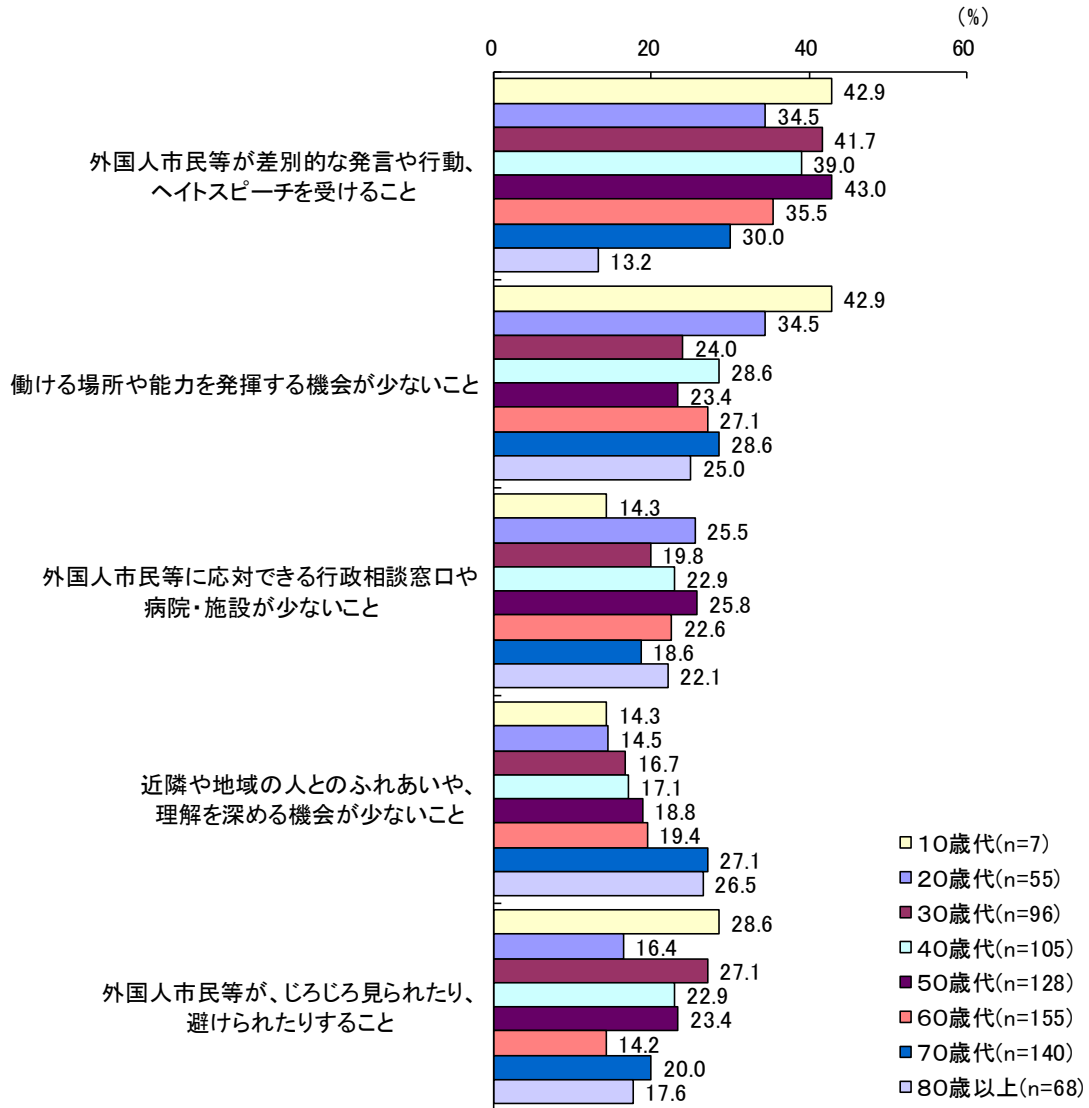
- ・ 労働力搾取
- ・ 教育機会
- ・ 外国籍の権利が保護されすぎている
- ・ 人権は守られるべき。選挙権については別に議論する
- ・ 社会保障についての理解、説明が不十分

## 【 性別 】



- 性別では、女性は「外国人市民等が差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること」(34.8%)が最も高く、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(27.7%)、「外国人市民等にに対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」(24.3%)が続いた。男性は「外国人市民等が差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること」(34.4%)が最も高く、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(26.4%)、「近隣や地域の人とのふれあいや、理解を深める機会が少ないこと」(23.6%)が続いた。
- 「外国人市民等にに対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」では、女性(24.3%)が男性(19.7%)を4.6割上回り、「近隣や地域の人とのふれあいや、理解を深める機会が少ないこと」では、男性(23.6%)が女性(17.5%)を6.1割上回った。

## 【 年 代 別 】



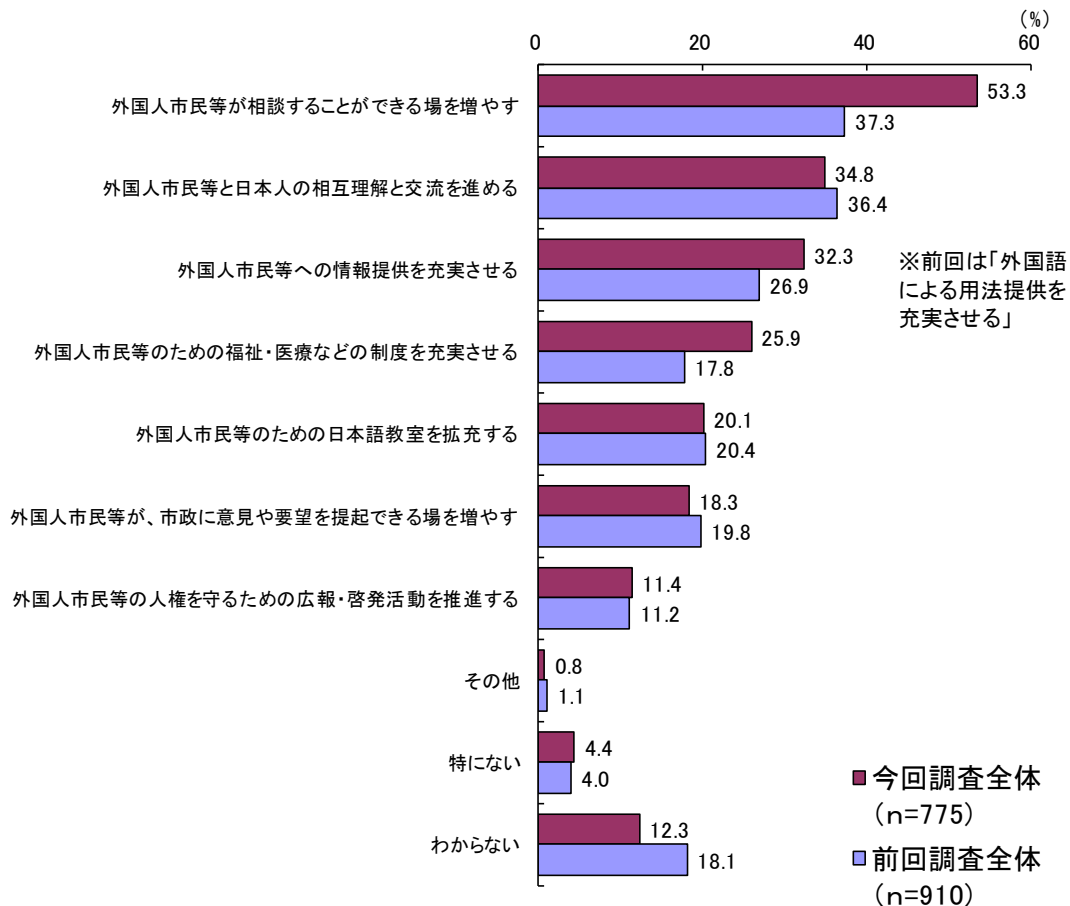
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「外国人市民等が差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること」は、10歳代(42.9%)、30歳代(41.7%)、50歳代(43.0%)で4割を超えた一方、80歳代(13.2%)では1割台にとどまった。「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」は10歳代(42.9%)で4割を超えたほか、20歳代(34.5%)で3割を超えた。

問 27：あなたは、外国人市民等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】



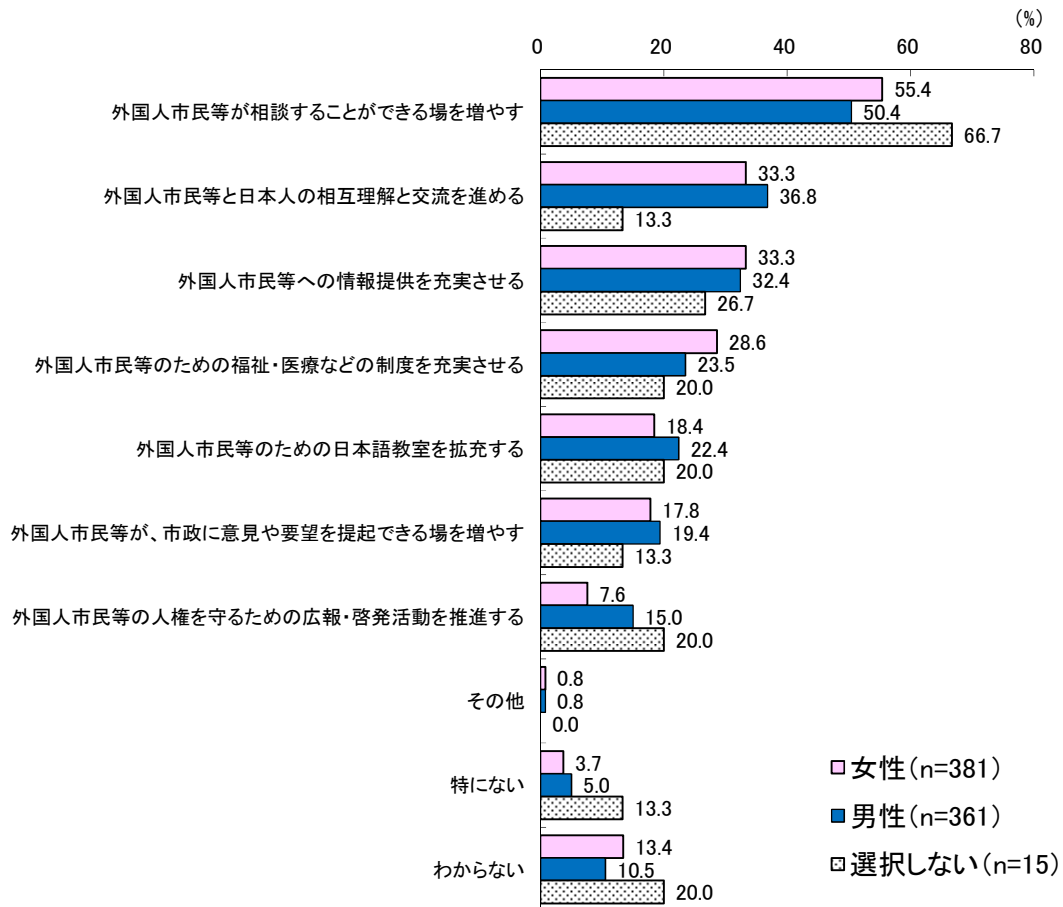
- 外国人市民等の人権を守るために必要なことを尋ねたところ、全体では「外国人市民等が相談することができる場を増やす」（53.3%）が最も高く、「外国人市民等と日本人の相互理解と交流を進める」（34.8%）、「外国人市民等への情報提供を充実させる」（32.3%）が続いた。
- 前回調査との比較では、「外国人市民等が相談することができる場を増やす」（前回 37.3%→今回 53.3%）が 16.0 ㊦上昇した。また、「外国人市民等への情報提供を充実させる」（前回 26.9%→今回 32.3%）が 5.4 ㊦、「外国人市民等のための福祉・医療などの制度を充実させる」（前回 17.8%→今回 25.9%）が 8.1 ㊦、それぞれ上昇した。



<「その他」で記載があった主な意見>

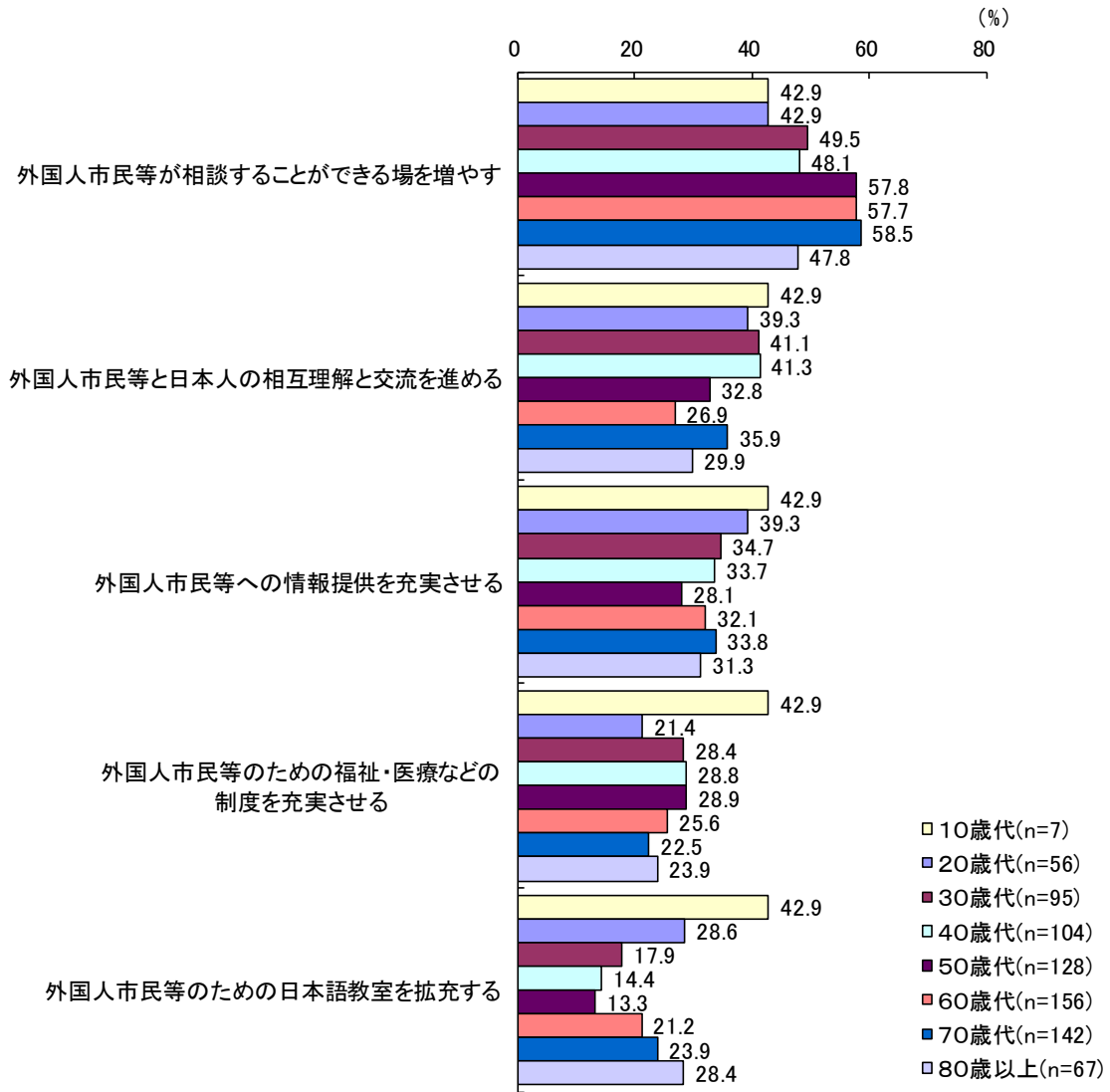
- ・ 日本での生活行動を教えていく場
- ・ 日本人の外国語教育
- ・ バスの案内表示を英語など主要な言語で表示し、国際人教育を行う

## 【 性別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「外国人市民等が相談することができる場を増やす」（女性 55.4%、男性 50.4%）が最も高く、「外国人市民等と日本人の相互理解と交流を進める」（女性 33.3%、男性 36.8%）、「外国人市民等への情報提供を充実させる」（女性 33.3%、男性 32.4%）が続いた。
- 「外国人市民等が相談することができる場を増やす」は、女性（55.4%）が男性（50.4%）を 5.0 割上回り、「外国人市民等と日本人の相互理解と交流を進める」は、男性（36.8%）が女性（33.3%）を 3.5 割上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「外国人市民等が相談することができる場を増やす」が50歳代（57.8%）、60歳代（57.7%）、70歳代（58.5%）で5割を超えた。「外国人市民等と日本人の相互理解と交流を進める」は、10歳代（42.9%）、30歳代（41.1%）、40歳代（41.3%）で4割を超えた。

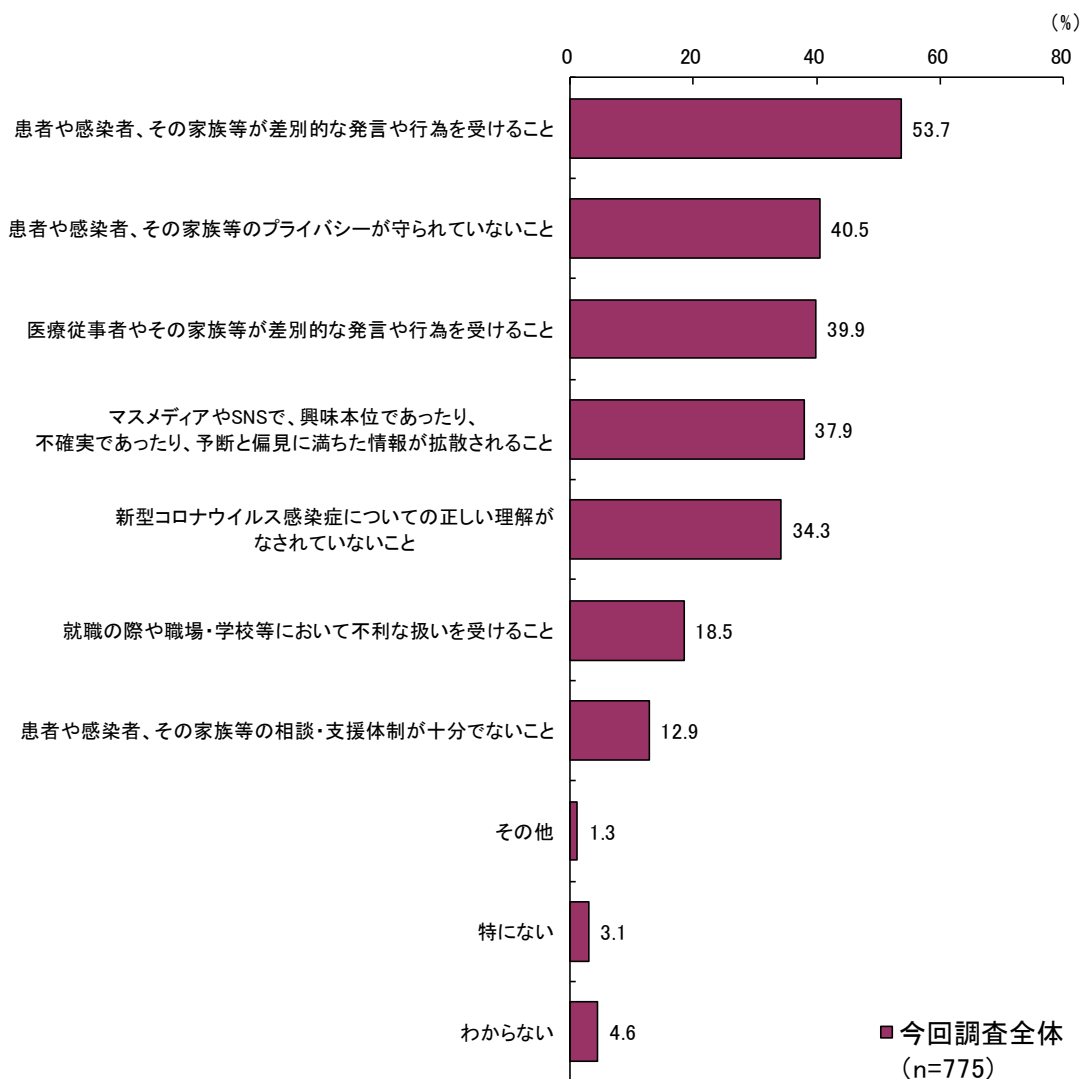
## 8. 新型コロナウイルス感染症をめぐる人権問題について

問 28：あなたが、「新型コロナウイルス感染症の患者等の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

※今回新設された設問のため  
前回との比較は無し

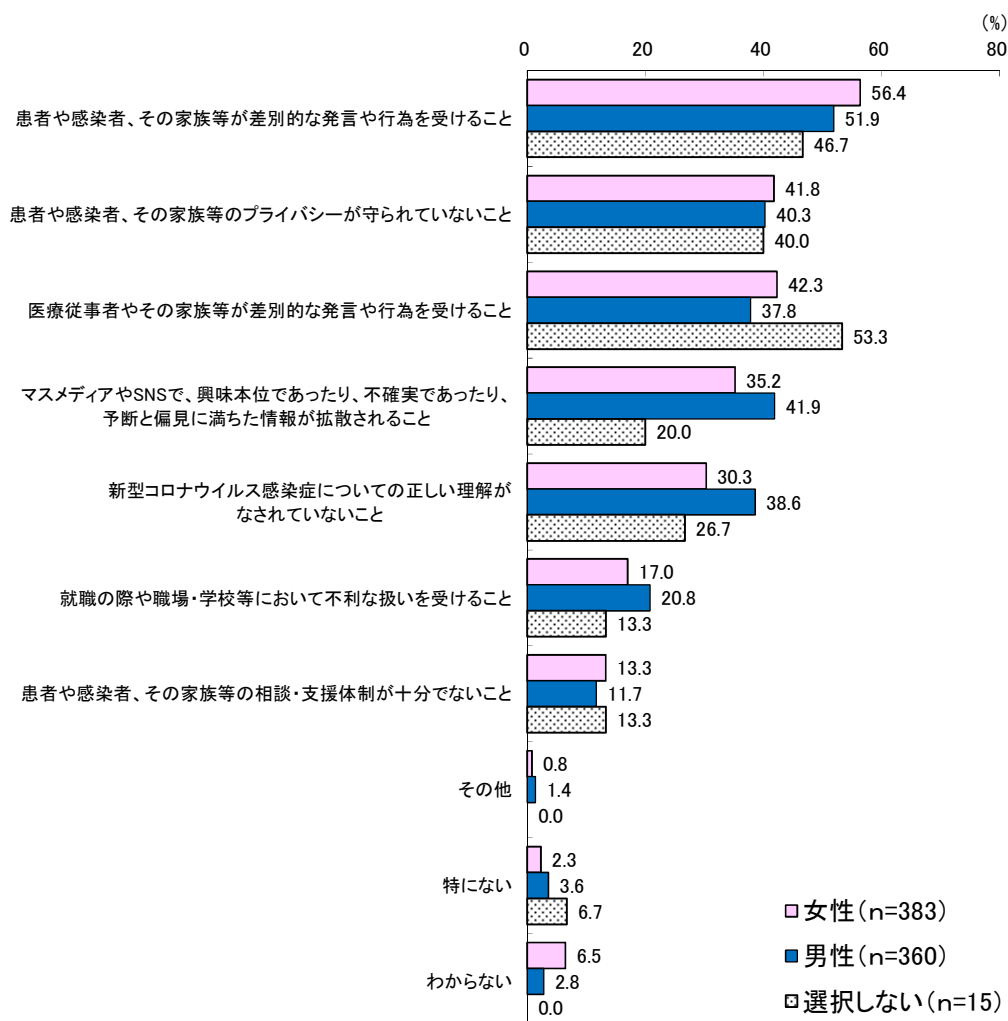


- 「新型コロナウイルス感染症の患者等の人権が特に守られていない」ということを尋ねたところ、全体では「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」(53.7%)が最も高く、「患者や感染者、その家族等のプライバシーが守られていないこと」(40.5%)、「医療従事者やその家族等が差別的な発言や行為を受けること」(39.9%)が続いた。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

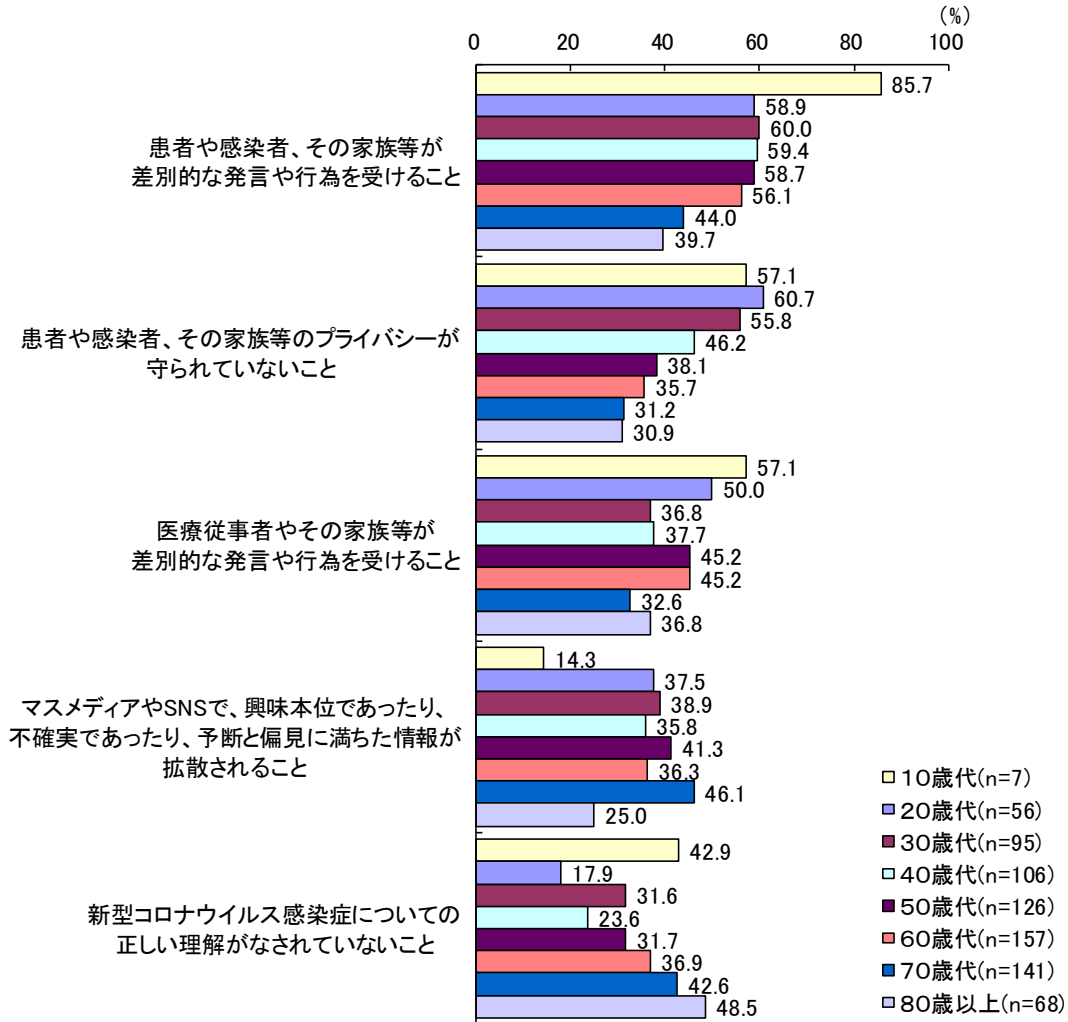
- ・現代は道徳観がなくなっている
- ・行政による指導がないこと
- ・SNSによる誹謗中傷
- ・職場から県外への往来を制限されること
- ・新型コロナウイルス感染症に関する正しい報道がなされていないこと
- ・テレビや一部の新聞で不安を煽るだけの不正確な情報が流されることで新型コロナウイルス感染症に対する正しい理解が広まっていけないこと
- ・情報を自分で得ようとしていない人に注意が行き届いていないこと
- ・医療従事者等への支援が足りないこと

## 【 性 別 】



- 性別では、女性は「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」(56.4%)が最も高く、「医療従事者やその家族等が差別的な発言や行為を受けること」(42.3%)、「患者や感染者、その家族等のプライバシーが守られていないこと」(41.8%)が続いた。男性は「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」(51.9%)が最も高く、「マスメディアやSNSで、興味本位であったり、不確実であったり、予断と偏見に満ちた情報が拡散されること」(41.9%)、「患者や感染者、その家族等のプライバシーが守られていないこと」(40.3%)が続いた。
- 「マスメディアやSNSで、興味本位であったり、不確実であったり、予断と偏見に満ちた情報が拡散されること」では、男性(41.9%)が女性(35.2%)を6.7割上回り、「新型コロナウイルス感染症についての正しい理解がなされていないこと」でも、男性(38.6%)が女性(30.3%)を8.3割上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

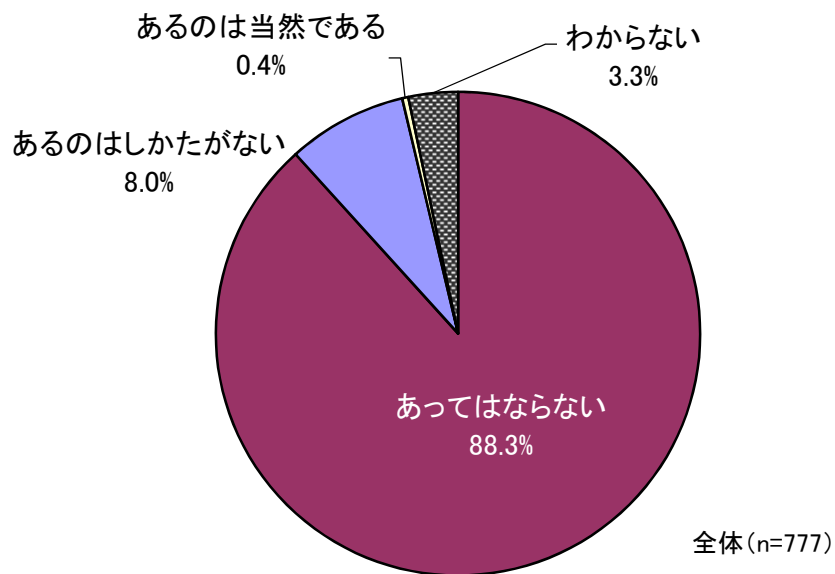
- 年代別では、「患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること」は10歳代（85.7%）で8割を超えた一方、80歳以上（39.7%）で4割を下回った。「患者や感染者、その家族等のプライバシーが守られていないこと」は20歳代（60.7%）で6割を超えたほか、10歳代（57.1%）、30歳代（55.8%）で5割を超えた。

問 29：新型コロナウイルス感染症の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、あなたのお考えに近いものはどれですか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【 全 体 】

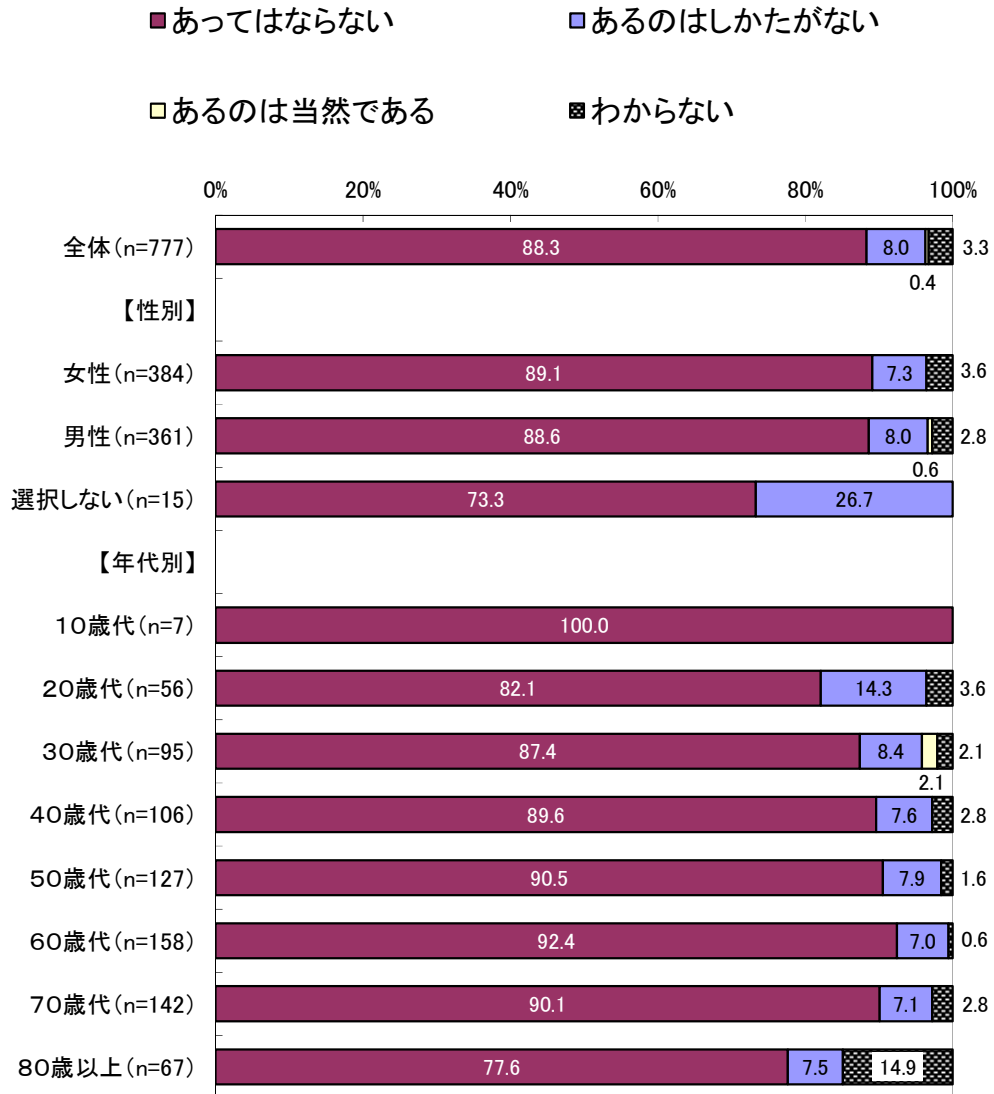
※今回新設された設問のため  
前回との比較は無し



- 新型コロナウイルス感染症の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、どのように考えるか尋ねたところ、全体では「あつてはならない」(88.3%)が最も高く、9割近くを占めた。



## 【 性別 ・ 年代別 】



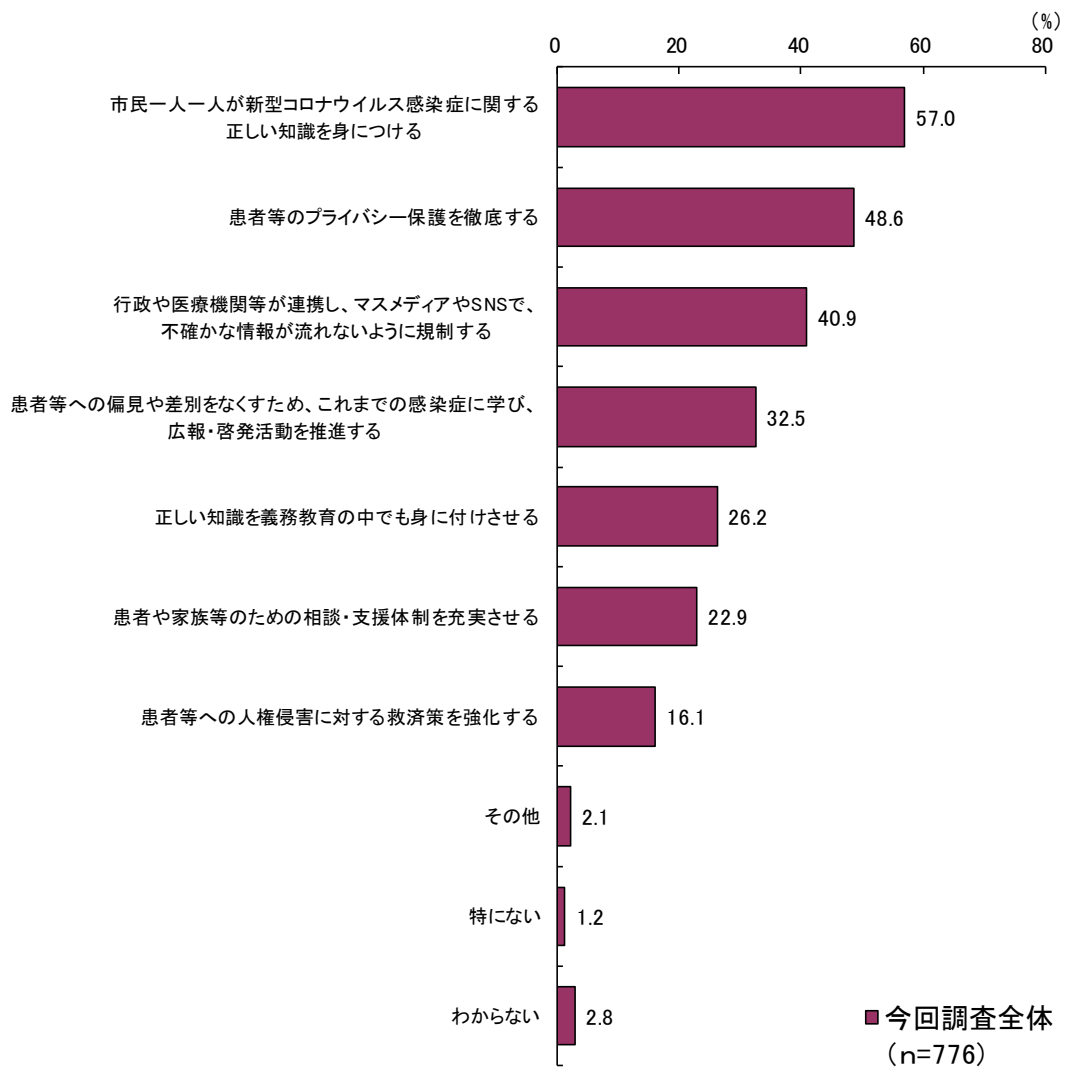
- 性別では、「あってはならない」（女性 89.1%、男性 88.6%）は男女とも9割近くを占めた。
- 年代別では、「あってはならない」は10歳代で100.0%だったほか、50歳代（90.5%）、60歳代（92.4%）、70歳代（90.1%）で9割を超えた。

問 30：あなたは、新型コロナウイルス感染症の患者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

【 全 体 】

※今回新設された設問のため  
前回との比較は無し

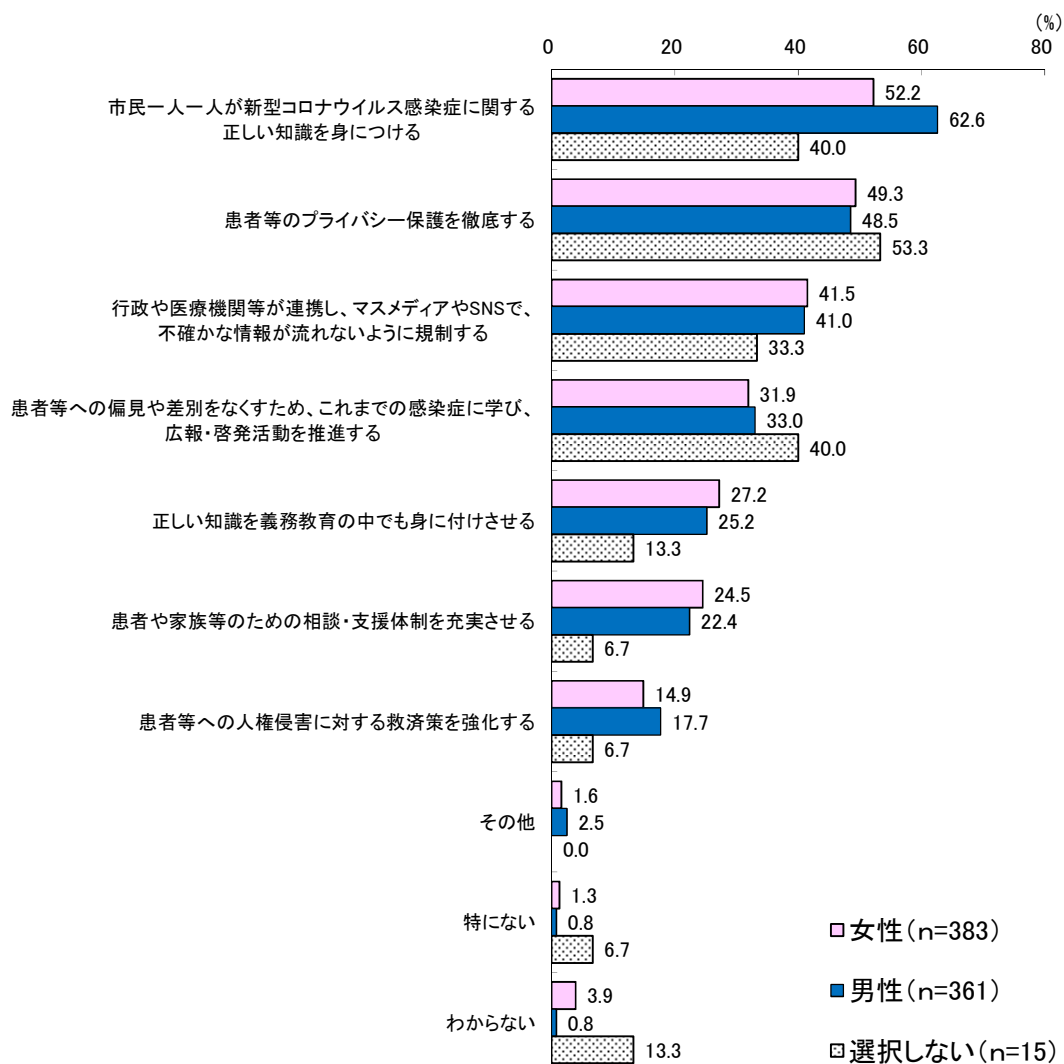


- 新型コロナウイルス感染症の患者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、全体では「市民一人一人が新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身につける」(57.0%)が最も高く、「患者等のプライバシー保護を徹底する」(48.6%)、「行政や医療機関等が連携し、マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制する」(40.9%)が続いた。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

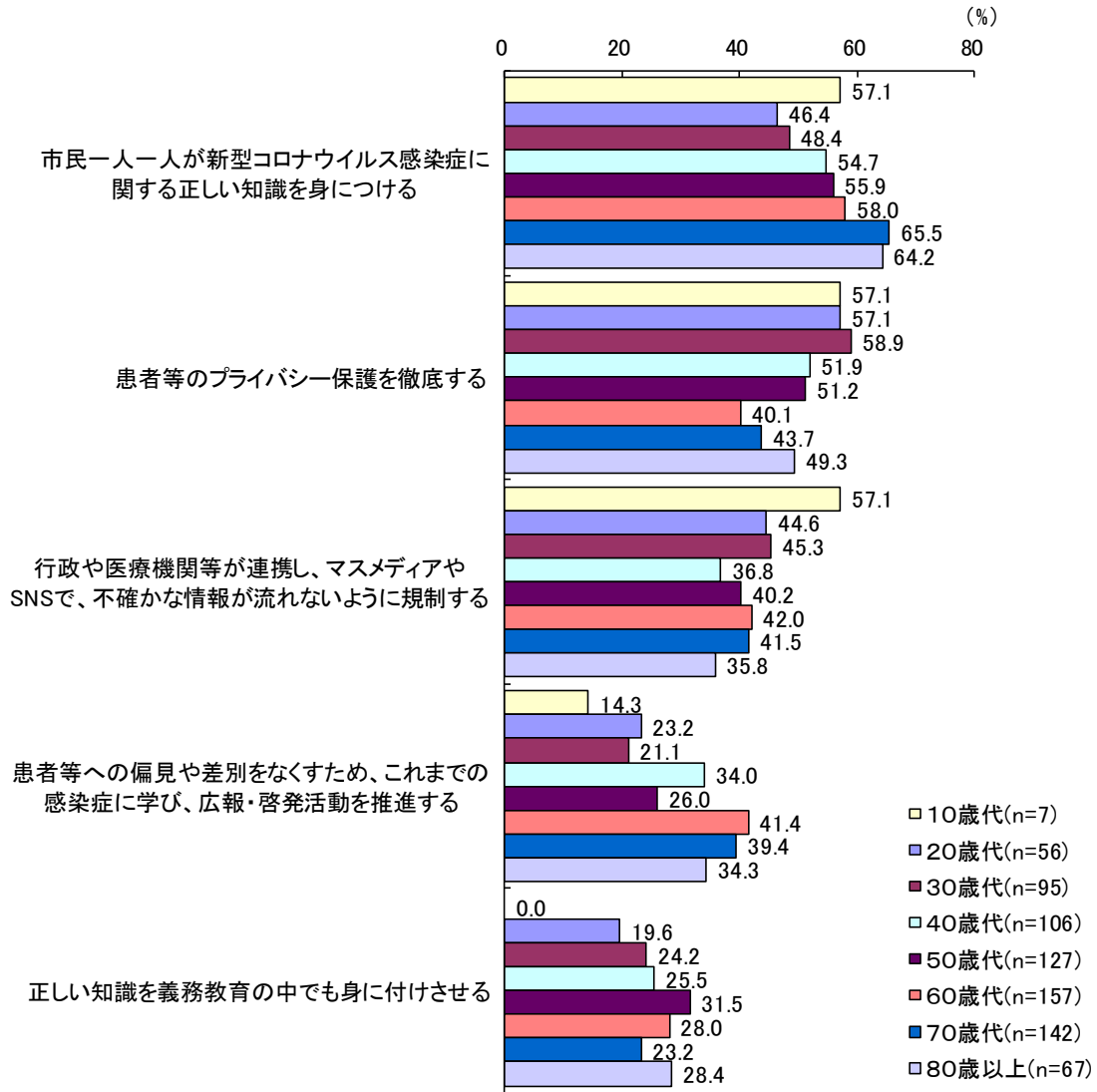
- ・地域での協力体制
- ・ある程度は情報を発信する
- ・感染症に関する知識
- ・人権侵害に対する罰則の強化
- ・患者のプライバシーは守られるべきだが、情報が少なすぎる
- ・大人に対し、広報誌やラジオ・TVなどで正しい知識を伝える
- ・オープンにすべき情報をオープンにする
- ・感染理由によっては公表も必要ではないか
- ・報道の取扱いを減らす
- ・患者が公表すること
- ・正しい報道

## 【 性 別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「市民一人一人が新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身につける」（女性 52.2%、男性 62.6%）が最も高く、「患者等のプライバシー保護を徹底する」（女性 49.3%、男性 48.5%）、「行政や医療機関等が連携し、マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制する」（女性 41.5%、男性 41.0%）が続いた。
- 「市民一人一人が新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身につける」では、男性（62.6%）が女性（52.2%）を10.4ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



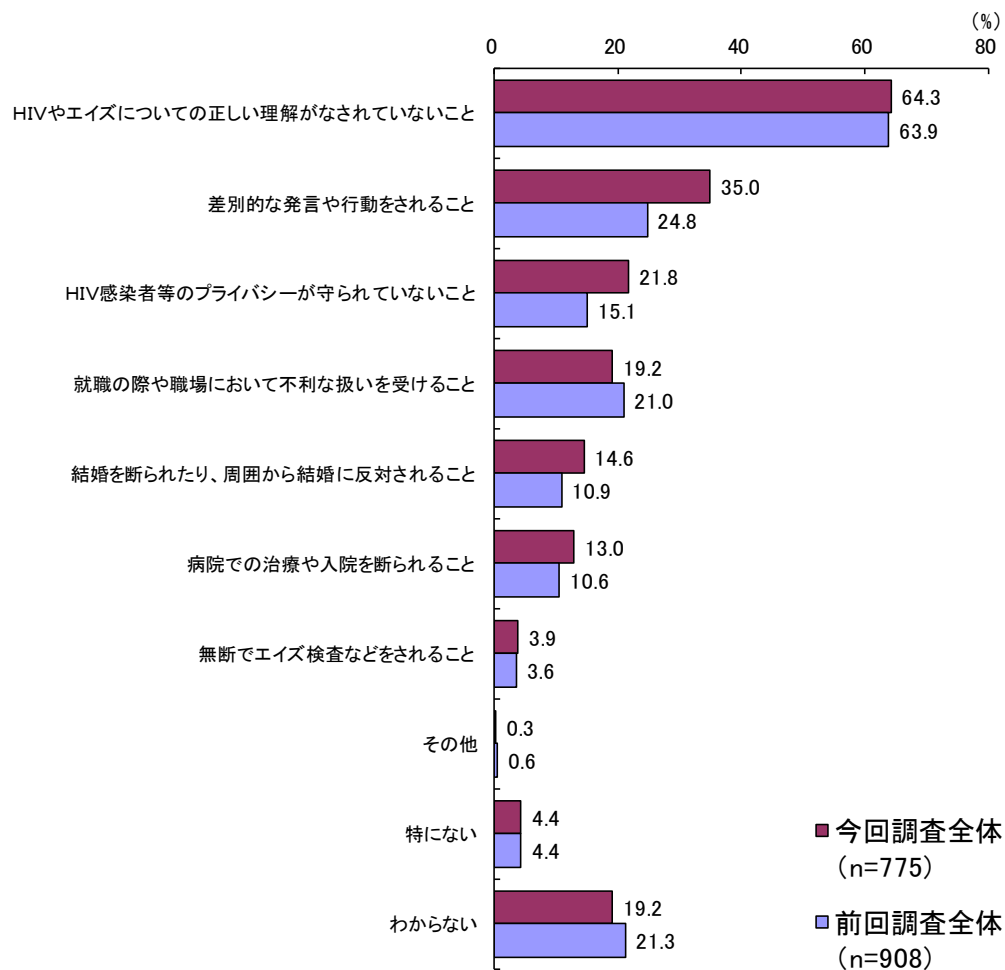
- 年代別では、「市民一人一人が新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身につける」は70歳代（65.5%）、80歳以上（64.2%）で6割を超えた。「行政や医療機関等が連携し、マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制する」は10歳代（57.1%）で5割を超えた。

## 9. HIV感染者等をめぐる人権問題について

問31：あなたが、「HIV感染者等の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

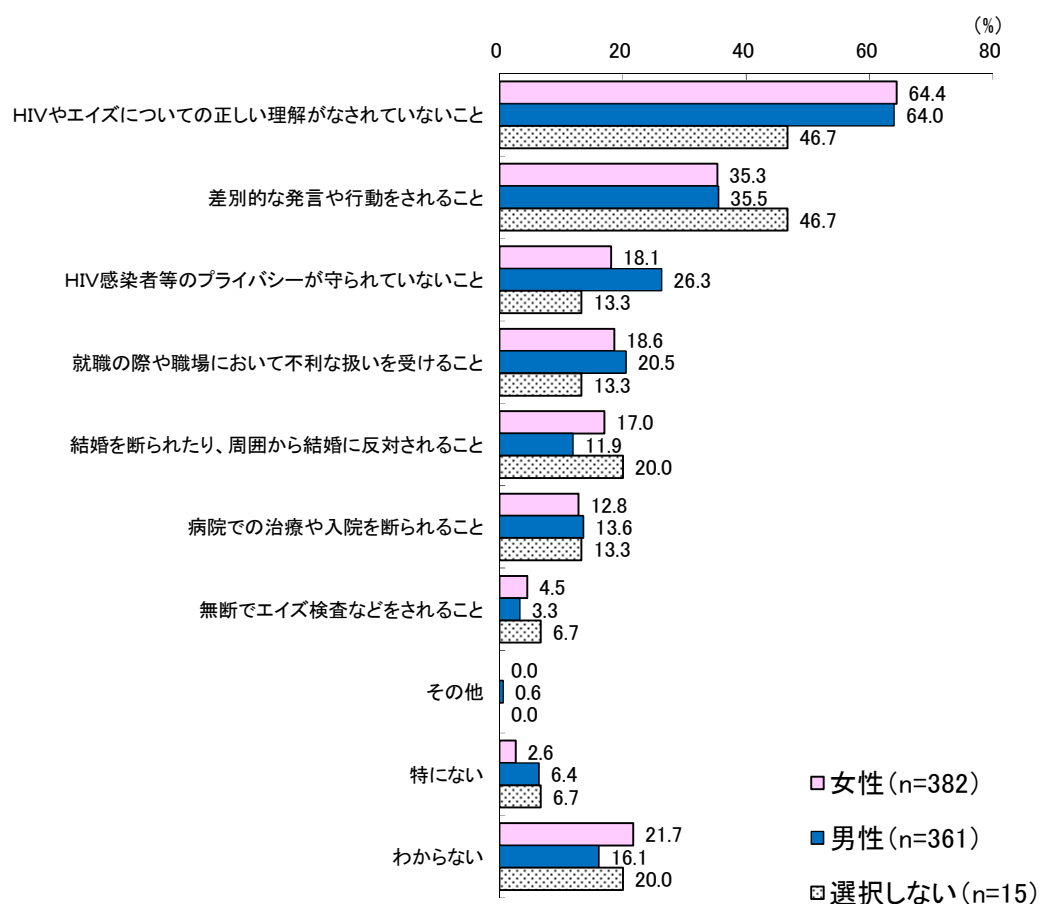


- 「HIV感染者等の人権が特に守られていない」と思うのは、どのようなことか尋ねたところ、全体では「HIVやエイズについての正しい理解がなされていないこと」(64.3%)が最も高く、「差別的な発言や行動をされること」(35.0%)、「HIV感染者等のプライバシーが守られていないこと」(21.8%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「差別的な発言や行動をされること」(前回24.8%→今回35.0%)が10.2ポイント上昇し、「HIV感染者等のプライバシーが守られていないこと」(前回15.1%→今回21.8%)が6.7ポイント上昇した。

<「その他」で記載があった主な意見>

記載なし

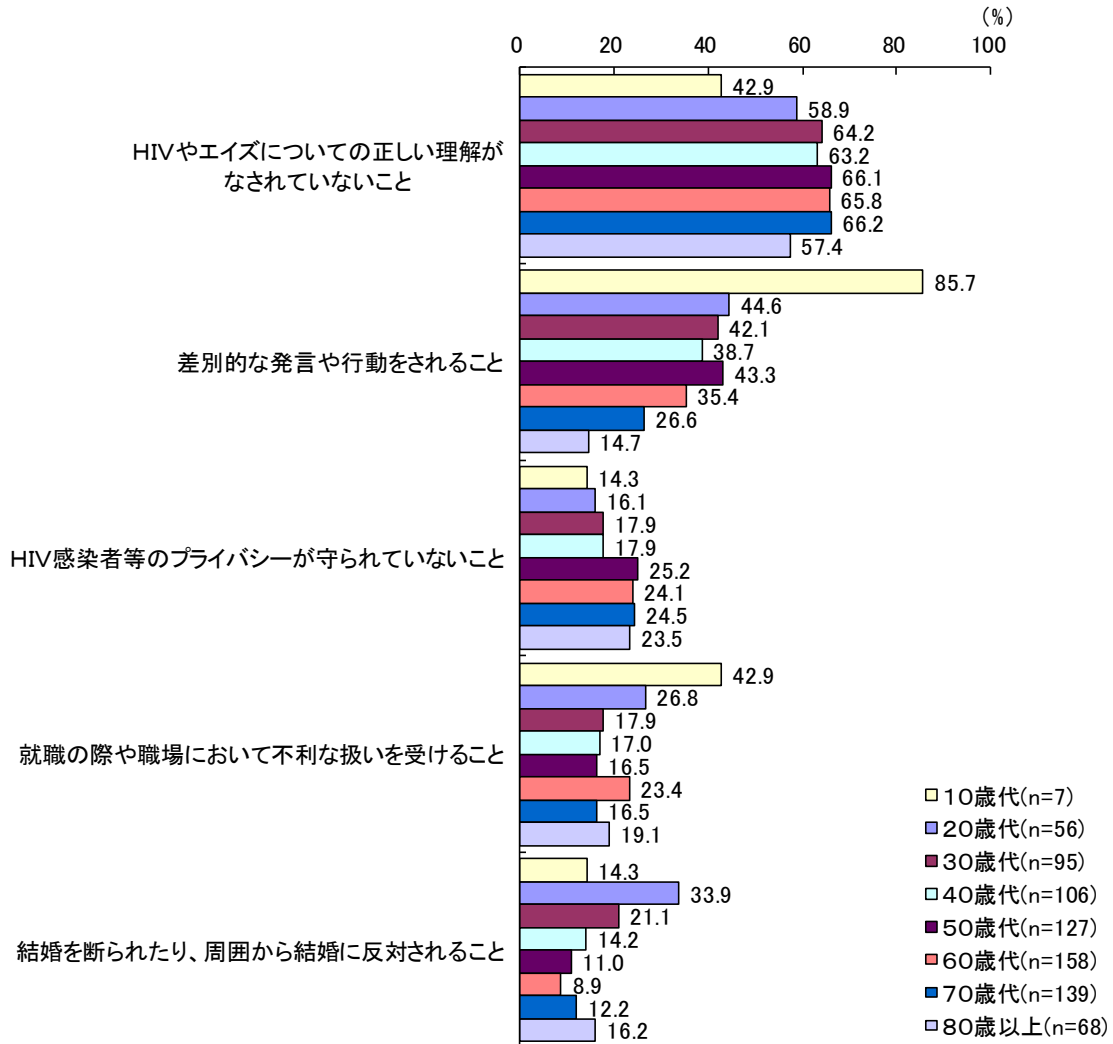
## 【 性別 】



- 性別では、女性は「H I Vやエイズについての正しい理解がなされていないこと」(64.4%) が最も高く 6 割を超えた。以下、「差別的な発言や行動をされること」(35.3%)、「就職の際や職場において不利な扱いを受けること」(18.6%) が続いた。男性も「H I Vやエイズについての正しい理解がなされていないこと」(64.0%) が最も高く 6 割を超えた。以下、「差別的な発言や行動をされること」(35.5%)、「H I V感染者等のプライバシーが守られていないこと」(26.3%) が続いた。
- 「H I V感染者等のプライバシーが守られていないこと」は、男性 (26.3%) が女性 (18.1%) を 8.2 割上回った。



## 【 年 代 別 】



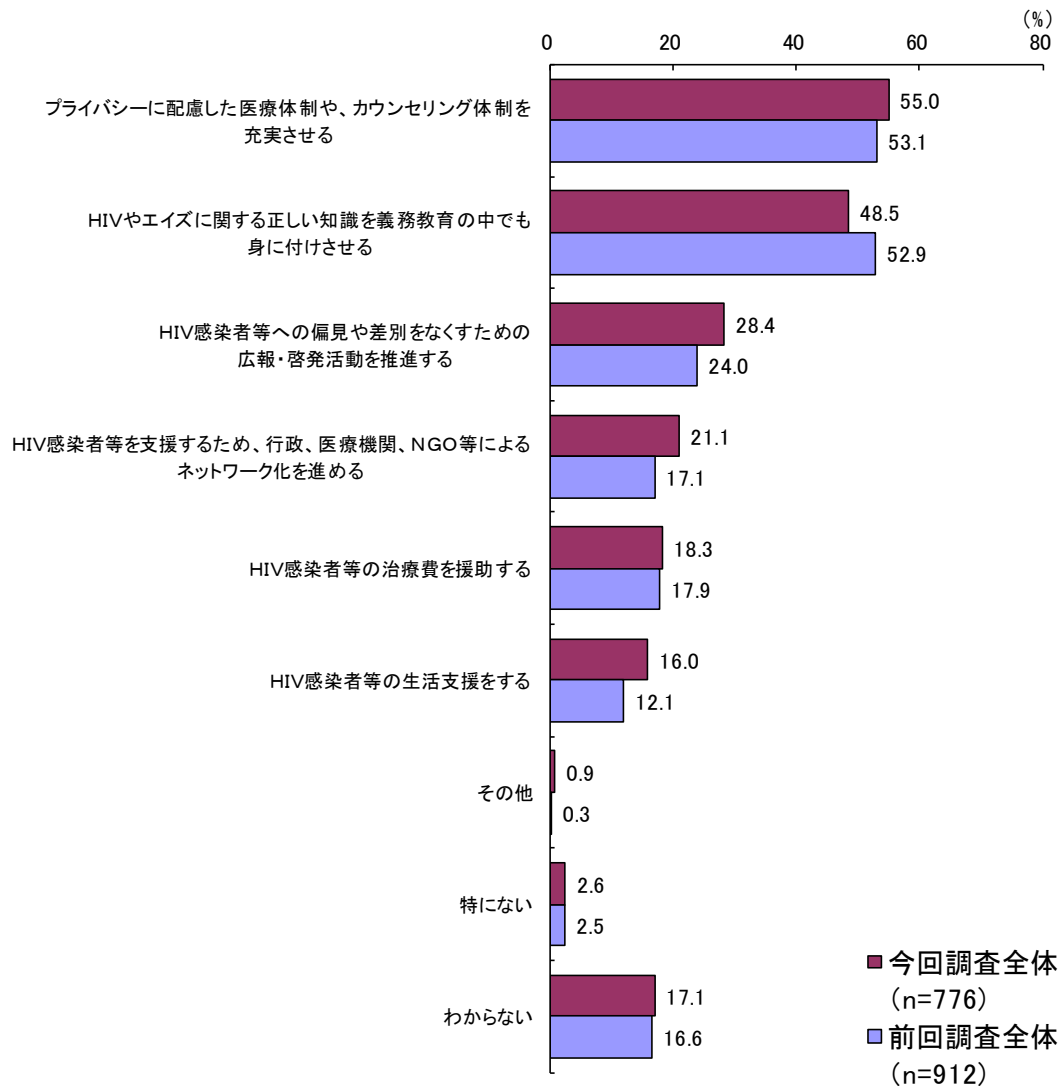
<全体の回答上位5項目に関して>

- 「差別的な発言や行動をされること」は10歳代（85.7%）で8割を超えた一方、80歳以上（14.7%）で1割台にとどまった。「就職の際や職場において不利な扱いを受けること」は10歳代（42.9%）で4割を超えた。

問 32：あなたは、H I V感染者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

【 全 体 】

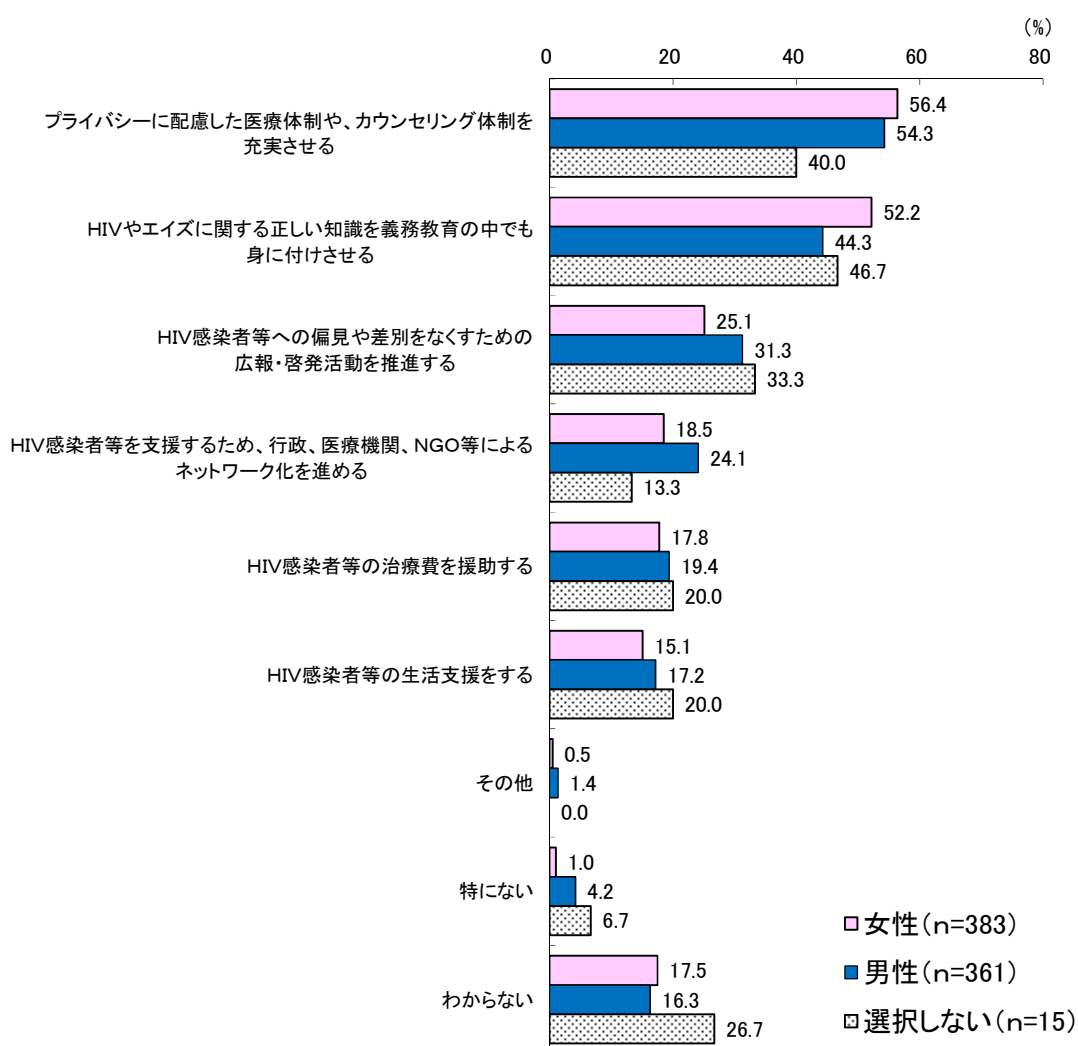


- H I V感染者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、全体では「プライバシーに配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる」(55.0%) が最も高く、「H I Vやエイズに関する正しい知識を義務教育の中でも身に付けさせる」(48.5%)、「H I V感染者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進する」(28.4%) が続いた。
- 前回調査と比較して特に大きな差は見られなかった。

<「その他」で記載があった主な意見>

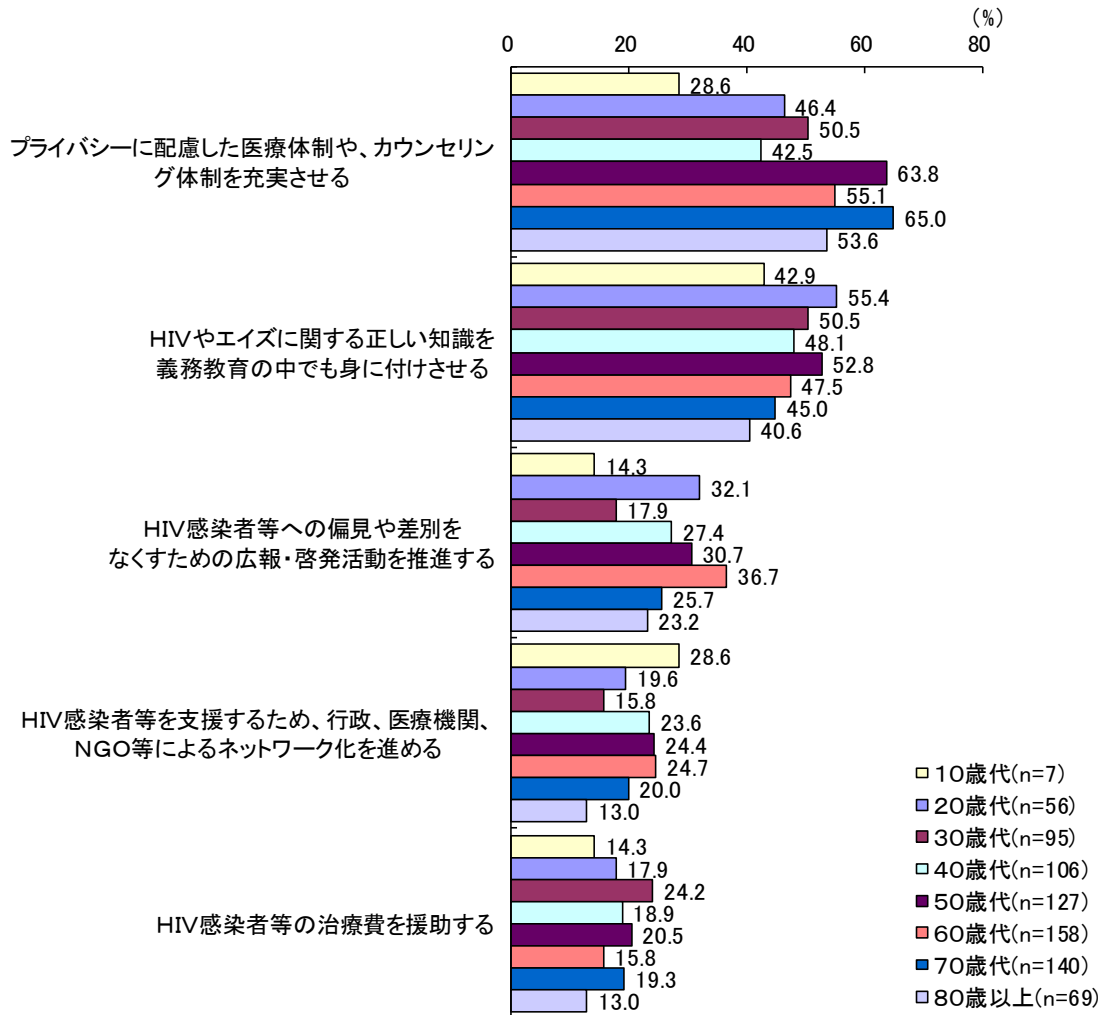
- ・選択肢の取り組みがすべて必要

## 【 性別 】



- 性別では、男女とも「プライバシーに配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる」（女性 56.4%、男性 54.3%）が最も高く、「HIVやエイズに関する正しい知識を義務教育の中でも身に付けさせる」（女性 52.2%、男性 44.3%）、「HIV感染者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進する」（女性 25.1%、男性 31.3%）が続いた。
- 「HIVやエイズに関する正しい知識を義務教育の中でも身に付けさせる」では、女性（52.2%）が男性（44.3%）を 7.9 ポイント上回り、「HIV感染者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進する」では、男性（31.3%）が女性（25.1%）を 6.2 ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「プライバシーに配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる」は、50歳代（63.8%）、70歳代（65.0%）で6割を超えた一方、10歳代（28.6%）で3割を下回った。「HIVやエイズに関する正しい知識を義務教育の中でも身に付けさせる」は、20歳代（55.4%）、30歳代（50.5%）、50歳代（52.8%）で5割を超えた。

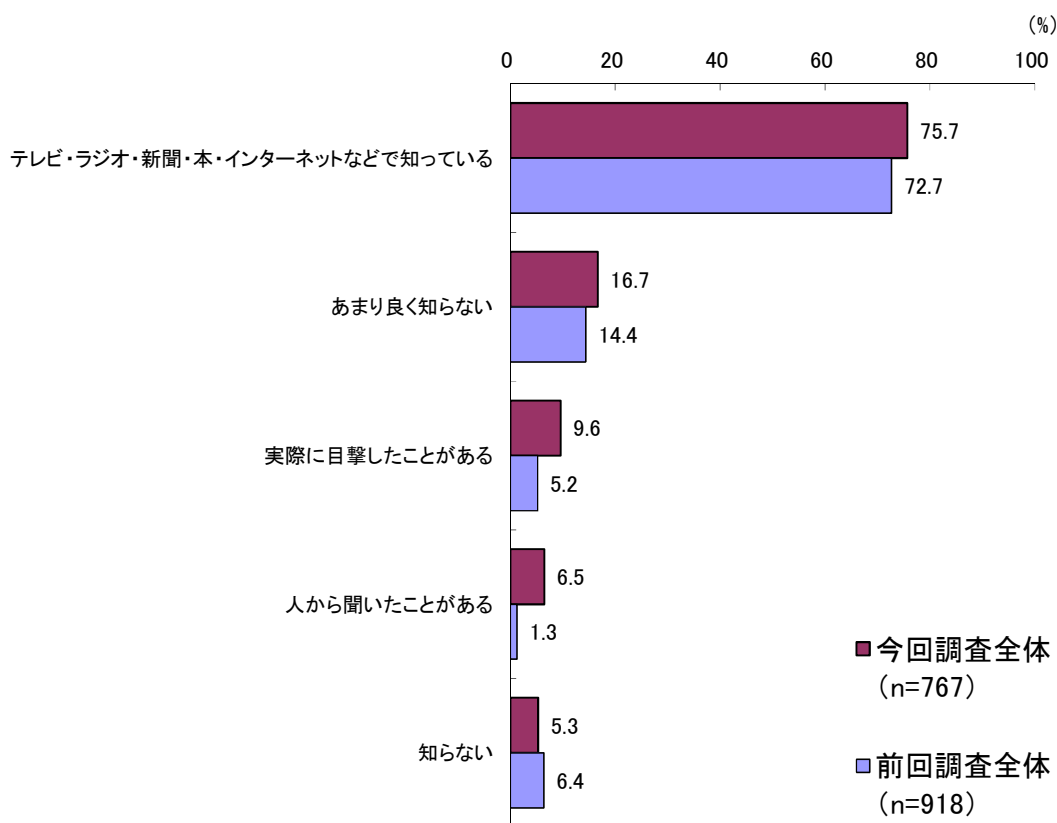
## 10. ホームレス（路上生活）状態にある人をめぐる人権問題について

問 33：あなたは、ホームレス（路上生活）状態にある人に対して、嫌がらせや暴力などの人権問題が発生していることを知っていますか。

◆あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

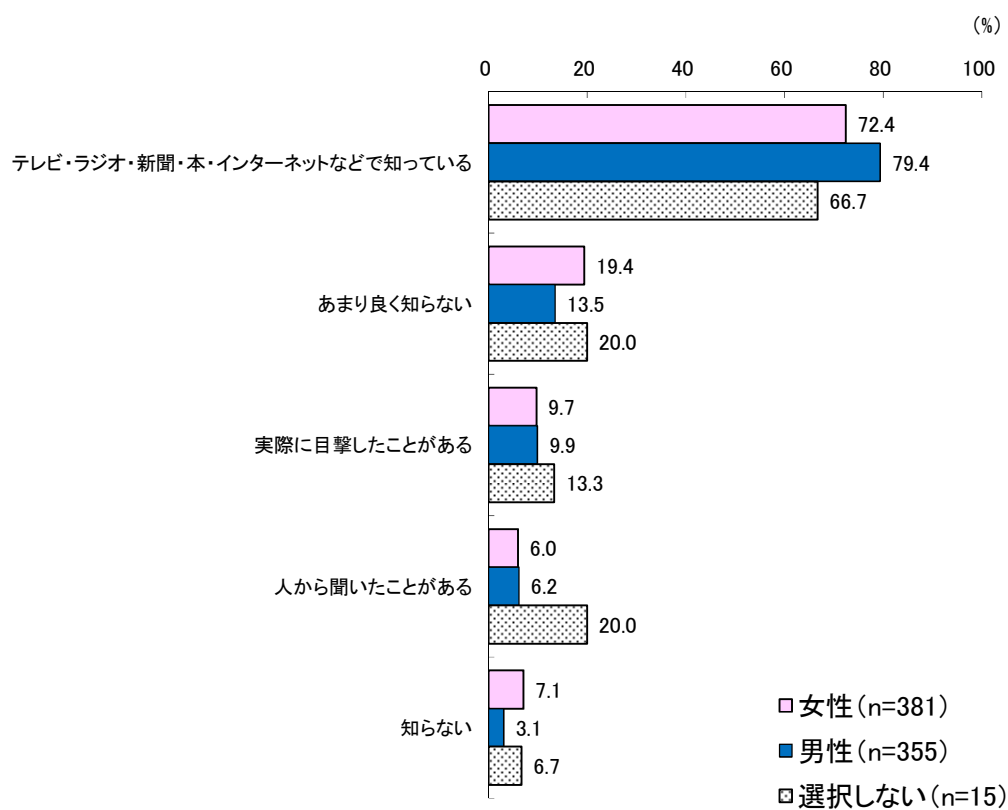
### 【 全 体 】

※前回は単数回答であるが、今回は複数回答も認めている



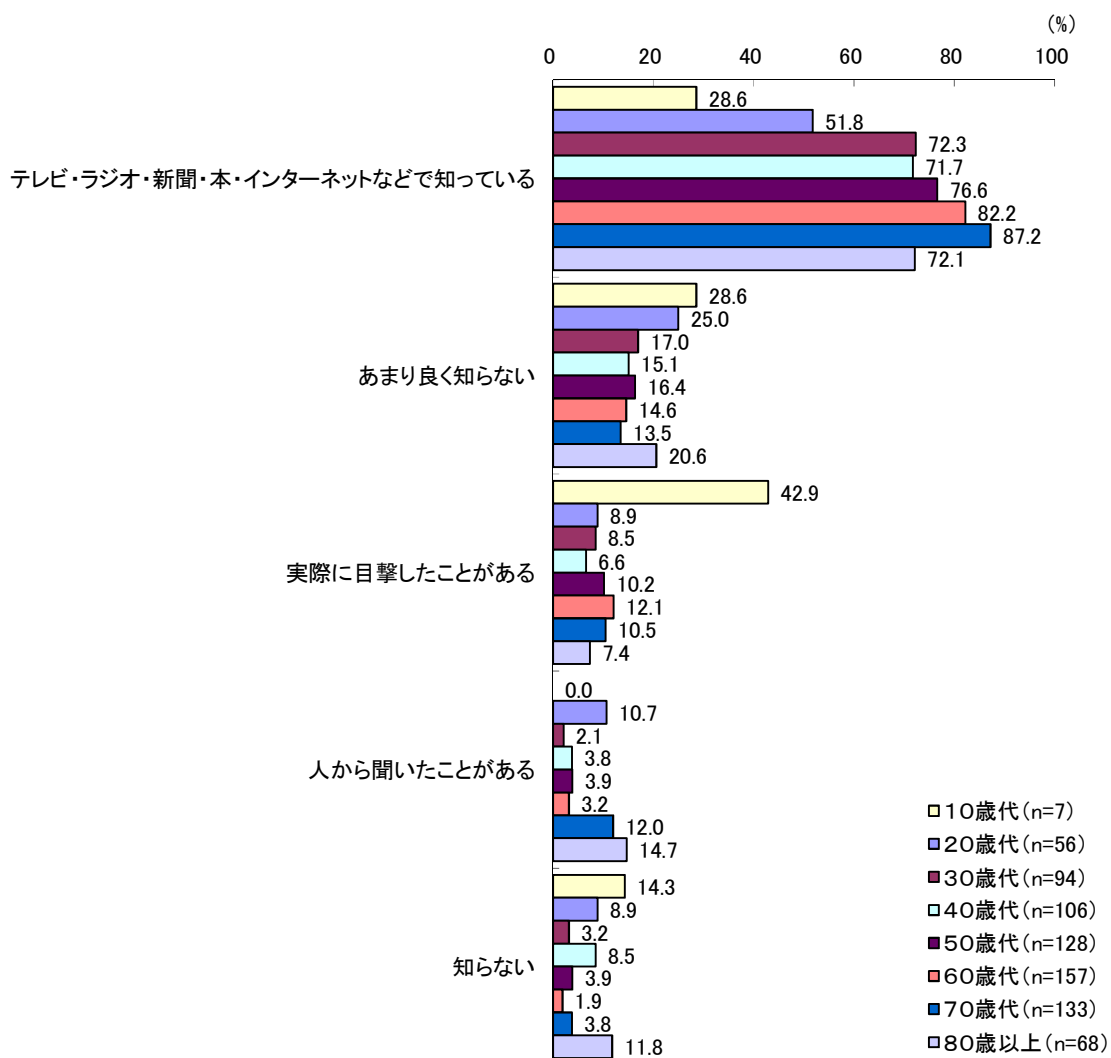
- ホームレス（路上生活）状態にある人に対して、嫌がらせや暴力などの人権問題が発生していることを知っているか尋ねたところ、全体では「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知っている」（75.7%）が最も高く、7割を超えた。
- 前回調査との比較では、「実際に目撃したことがある」（前回 5.2%→今回 9.6%）が 4.4 ㊦、「人から聞いたことがある」（前回 1.3%→今回 6.5%）が 5.2 ㊦、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知っている」（前回 72.7%→今回 75.7%）が 3.0 ㊦上昇した。

## 【 性別 】



- 性別では、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知っている」は男性（79.4%）が女性（72.4%）を7.0%上回った。

## 【 年 代 別 】



- 年代別では、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知っている」は60歳代（82.2%）、70歳代（87.2%）で8割を超えた。「実際に目撃したことがある」は10歳代（42.9%）で4割を超えた。

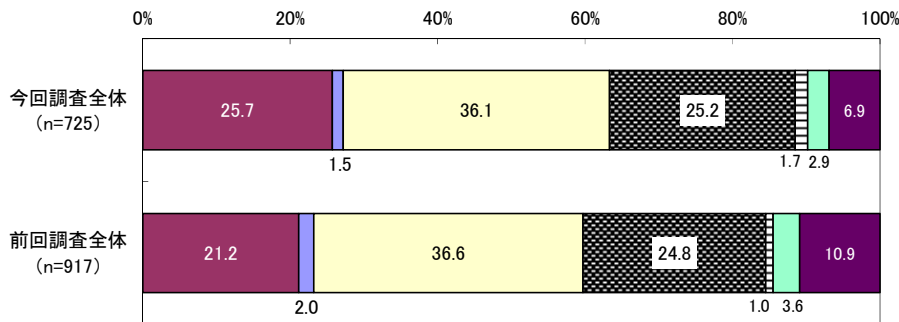


問 34：あなたは、ホームレス（路上生活）状態にある人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

### 【 全 体 】

- ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる
- ホームレス状態にある人の人権を守るための広報・啓発活動を行う
- ホームレス状態にある人が自立して生活できるよう支援する
- ホームレス状態にある人が社会復帰できるまでの生活を支援するための施設を充実させる
- その他
- 特にない
- わからない



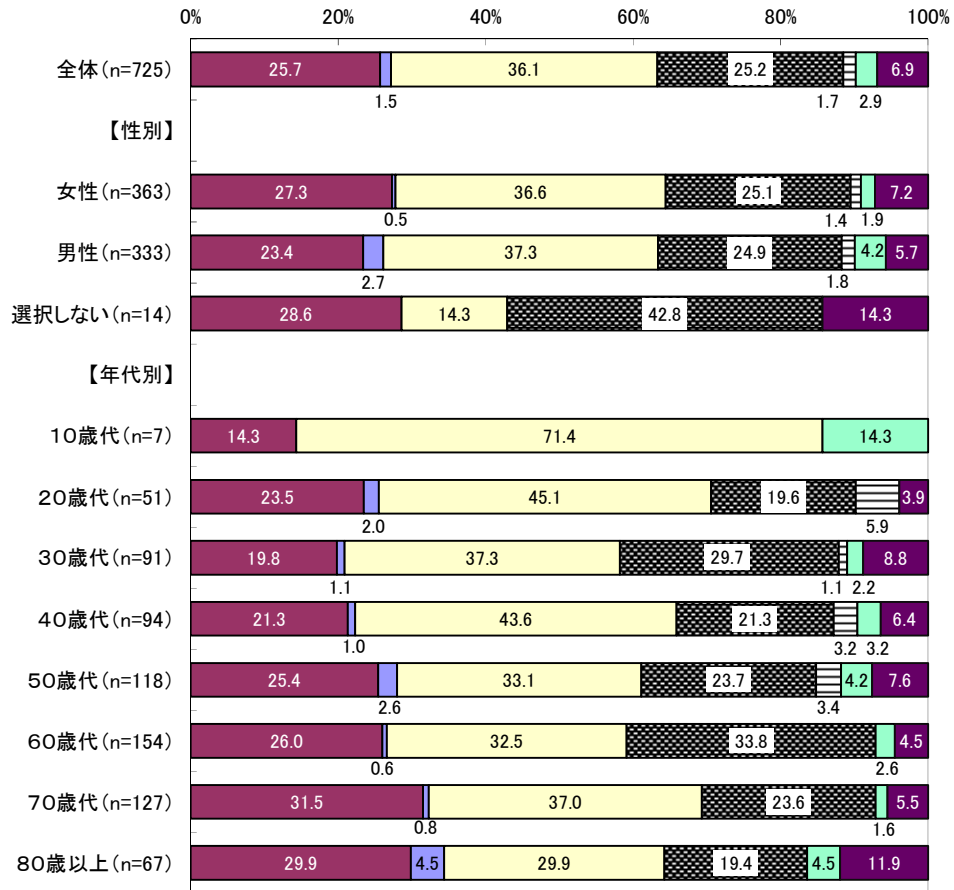
- ホームレス（路上生活）状態にある人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、全体では「ホームレス状態にある人が自立して生活できるよう支援する」（36.1%）が最も高く、「ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる」（25.7%）、「ホームレス状態にある人が社会復帰できるまでの生活を支援するための施設を充実させる」（25.2%）が続いた。
- 前回調査との比較では、「ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる」（前回 21.2%→今回 25.7%）が 4.5 割上昇した。

< 「その他」で記載があった主な意見 >

- ・ホームレスの背景から学習する
- ・心のサポート
- ・選択肢の取り組みがすべて必要
- ・現代社会自体に問題があるのではないか
- ・ホームレス状態にならないようにする
- ・ホームレス状態にあることが不幸かどうかは別問題であると思う。ホームレス状態であることに寛容な社会であることを願う

## 【 性別 ・ 年代別 】

- ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる
- ホームレス状態にある人の人権を守るための広報・啓発活動を行う
- ホームレス状態にある人が自立して生活できるよう支援する
- ホームレス状態にある人が社会復帰できるまでの生活を支援するための施設を充実させる
- その他
- 特になし
- わからない



- 性別では、「ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる」は女性（27.3%）が男性（23.4%）を3.9割上回った。
- 年代別では、「ホームレス状態にある人が自立して生活できるよう支援する」は10歳代（71.4%）で7割を超えた。「ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる」は70歳代（31.5%）、80歳以上（29.9%）で3割前後に達した。

## 11. 性的マイノリティ（LGBT等）をめぐる人権問題について

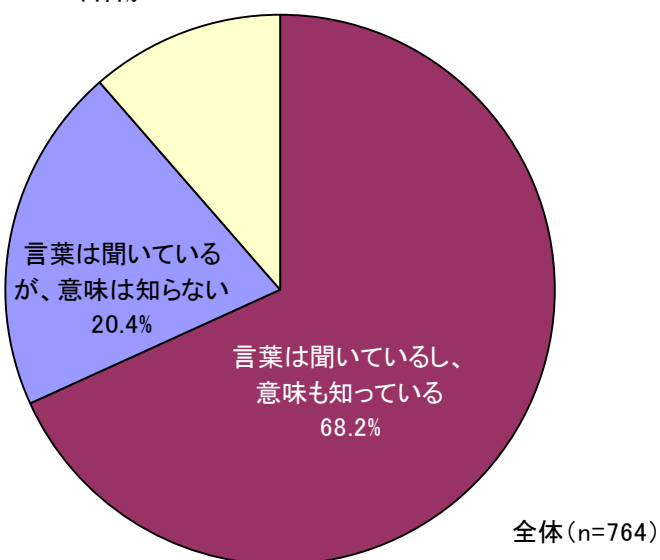
問 35：あなたは、性的少数者、性的マイノリティ、LGBTといういずれかの言葉を聞いたことがありますか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

### 【 全 体 】

言葉も聞いたことが  
ないし、意味も知らない  
11.4%

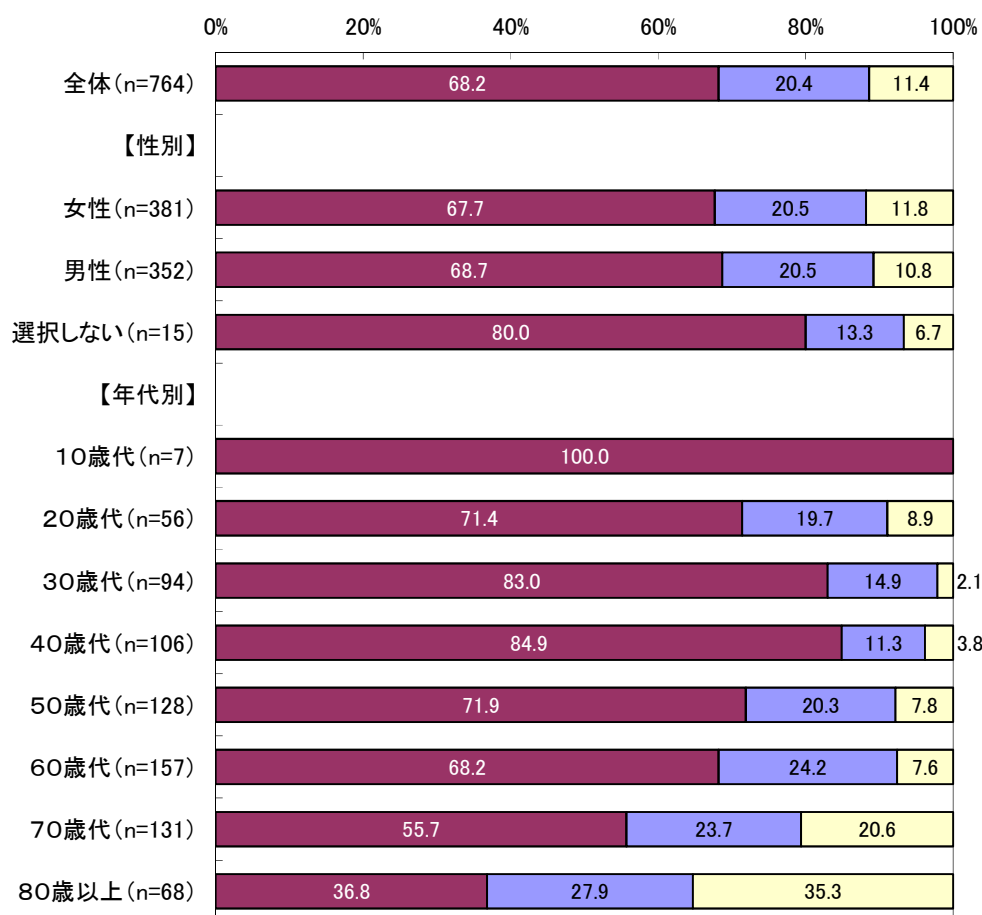
※今回新設された設問のため  
前回との比較は無し



- 性的少数者、性的マイノリティ、LGBTといういずれかの言葉を聞いたことがあるか尋ねたところ、全体では「言葉は知っているし、意味も知っている」が68.2%で最も高く、7割近くを占めた。「言葉は知っているが、意味は知らない」は20.4%、「言葉も聞いたことがないし、意味を知らない」は11.4%だった。

## 【 性別 ・ 年代別 】

- 言葉は聞いているし、意味も知っている
- 言葉は聞いているが、意味は知らない
- 言葉も聞いたことがないし、意味も知らない

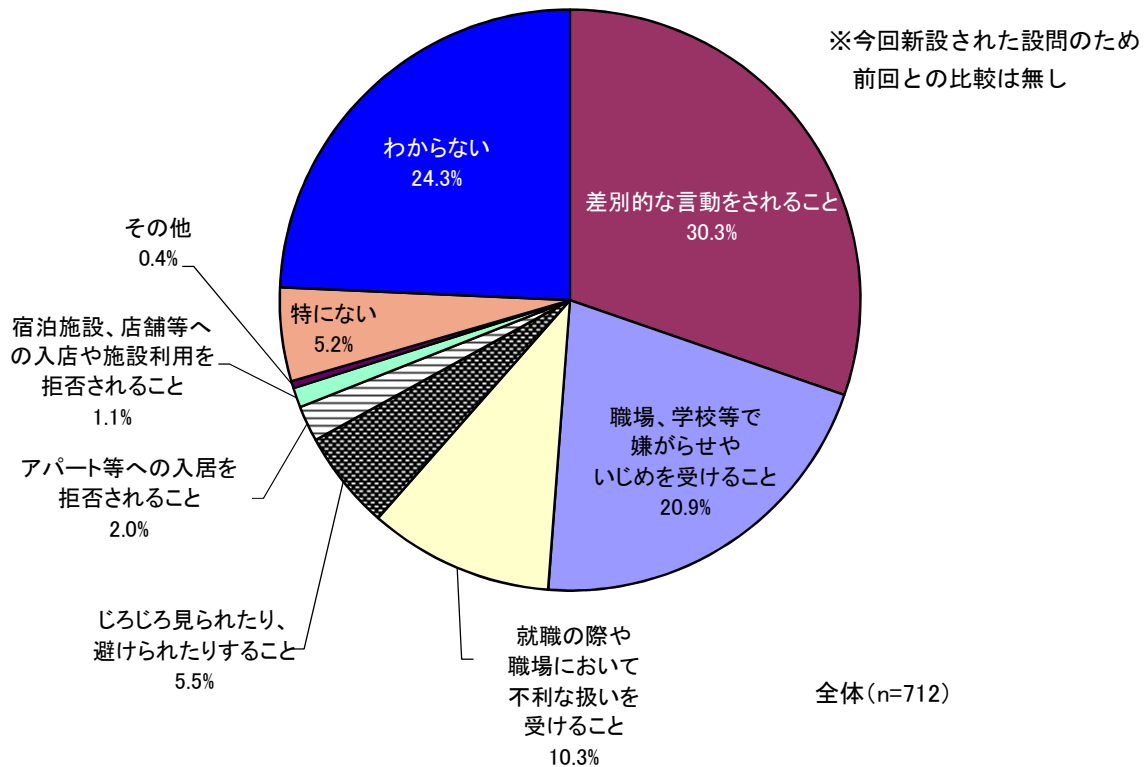


- 性別では、「言葉は聞いているし、意味も知っている」(女性 67.7%、男性 68.7%) は女性、男性とも 7 割近くを占めた。
- 年代別では、「言葉は聞いているし、意味も知っている」は 10 歳代で 100.0% だったほか、30 歳代 (83.0%)、40 歳代 (84.9%) で 8 割を超えた。「言葉も聞いたことがないし、意味を知らない」は、80 歳代 (35.3%) で 3 割を超えた。

問 36：あなたが、「性的マイノリティ（LGBT等）の人権が守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

### 【 全 体 】



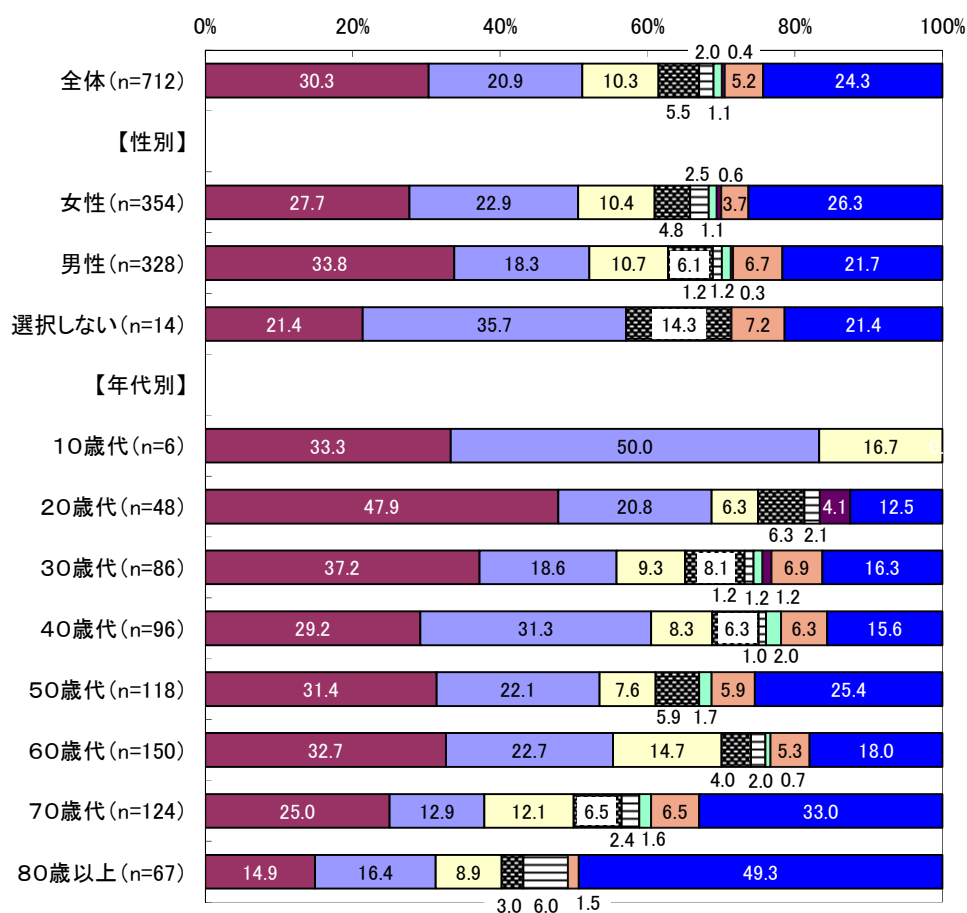
- 「性的マイノリティ（LGBT等）の人権が守られていない」と思うのは、どのようなことか尋ねたところ、全体では「差別的な言動をされること」（30.3%）が最も高く、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」（20.9%）、「就職の際や職場において不利な扱いを受けること」（10.3%）が続いた。

#### < 「その他」で記載があった主な意見 >

- ・ 公にできない社会
- ・ 同性婚が認められていないこと
- ・ インターネットなどで正しくない情報が流れること

## 【 性別 ・ 年代別 】

- 差別的な言動をされること
- 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
- 就職の際や職場において不利な扱いを受けること
- じろじろ見られたり、避けられたりすること
- アパート等への入居を拒否されること
- 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- その他
- 特にない
- わからない



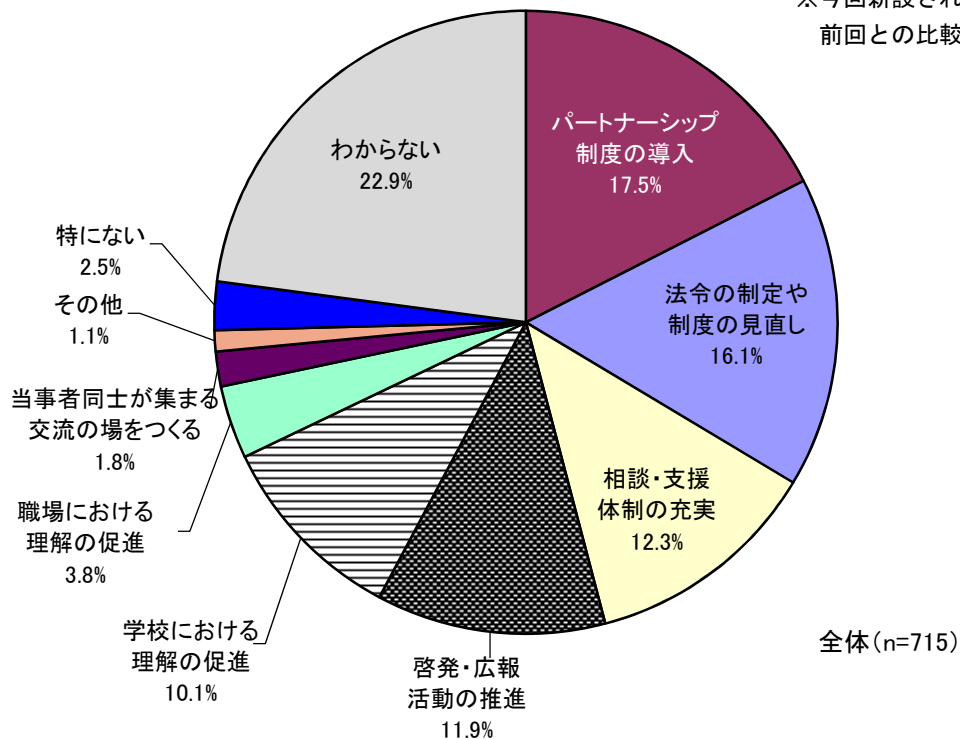
- 性別では、「差別的な言動をされること」は男性（33.8%）が女性（27.7%）を6.1%上回り、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」は女性（22.9%）が男性（18.3%）を4.6%上回った。
- 年代別では、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」は10歳代（50.0%）で5割に達し、40歳代（31.3%）で3割を超えた。「差別的な言動をされること」は20歳代（47.9%）で5割近くに達した。

問 37：あなたは、性的マイノリティ（LGBT等）の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

【 全 体 】

※今回新設された設問のため  
前回との比較は無し



- 性的マイノリティ（LGBT等）の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、「パートナーシップ制度の導入」（17.5%）が最も高く、「法令の制定や制度の見直し」（16.1%）、「相談・支援体制の充実」（12.3%）が続いた。一方、「わからない」との回答は22.9%と2割を超えた。

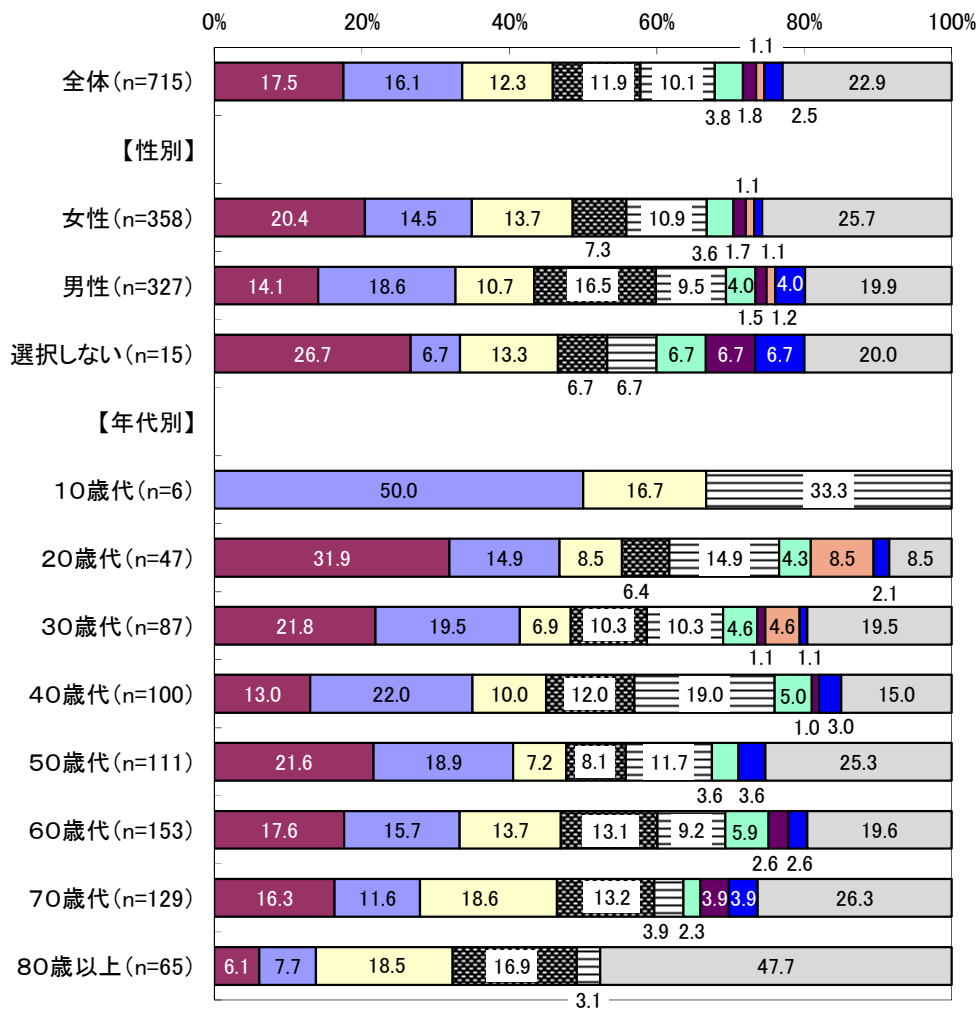
< 「その他」で記載があった主な意見 >

- ・ 国家レベルでの取り組み
- ・ 社会全体における理解の促進
- ・ 同性婚を認めること
- ・ 権利を主張しすぎるのは良くないと思う
- ・ その人自身が強くなること。そのための支援
- ・ 選択肢の取り組みがすべて必要
- ・ 周囲の理解



## 【 性 別 ・ 年 代 別 】

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| ■ パートナーシップ制度の導入     | □ 法令の制定や制度の見直し |
| □ 相談・支援体制の充実        | ■ 啓発・広報活動の推進   |
| □ 学校における理解の促進       | □ 職場における理解の促進  |
| ■ 当事者同士が集まる交流の場をつくる | ■ その他          |
| ■ 特にない              | □ わからない        |



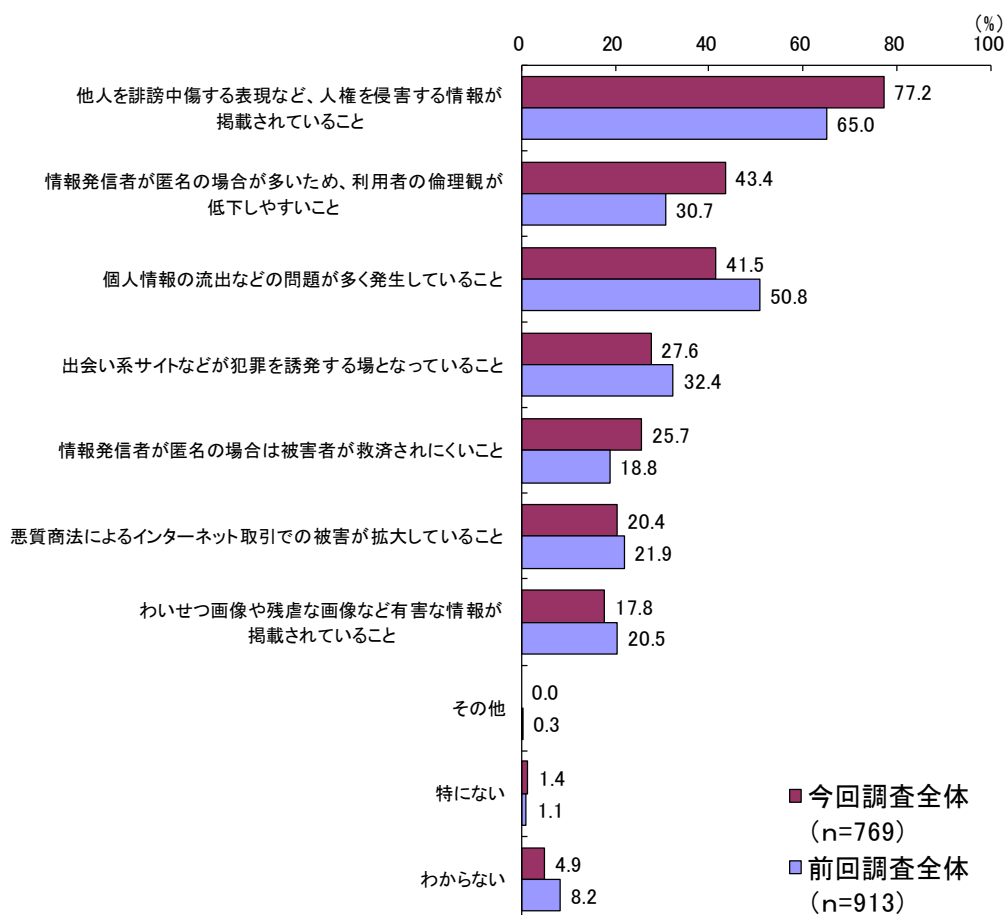
- 性別では、女性は「パートナーシップ制度の導入」(20.4%)の割合が高く、男性(14.1%)を6.3%上回った。男性は「啓発・広報活動の推進」(16.5%)が高く、女性(7.3%)を9.2%上回った。
- 年代別では、「法令の制定や制度の見直し」は、10歳代(50.0%)で5割に達した。「パートナーシップ制度の導入」は20歳代(31.9%)で3割を超えた。

## 12. インターネット上での人権問題について

問 38: あなたは、インターネット上の人権侵害として、特にどのようなことが心配されますか。

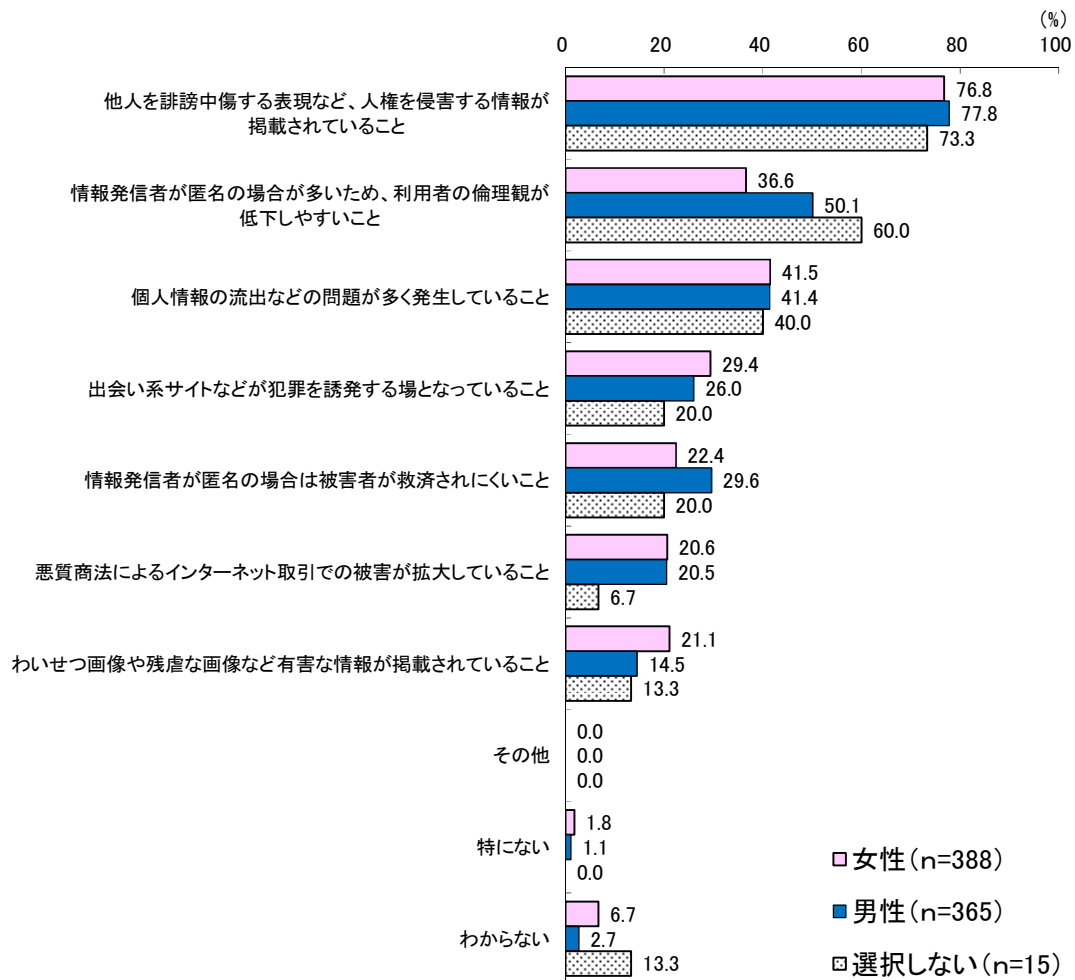
◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】



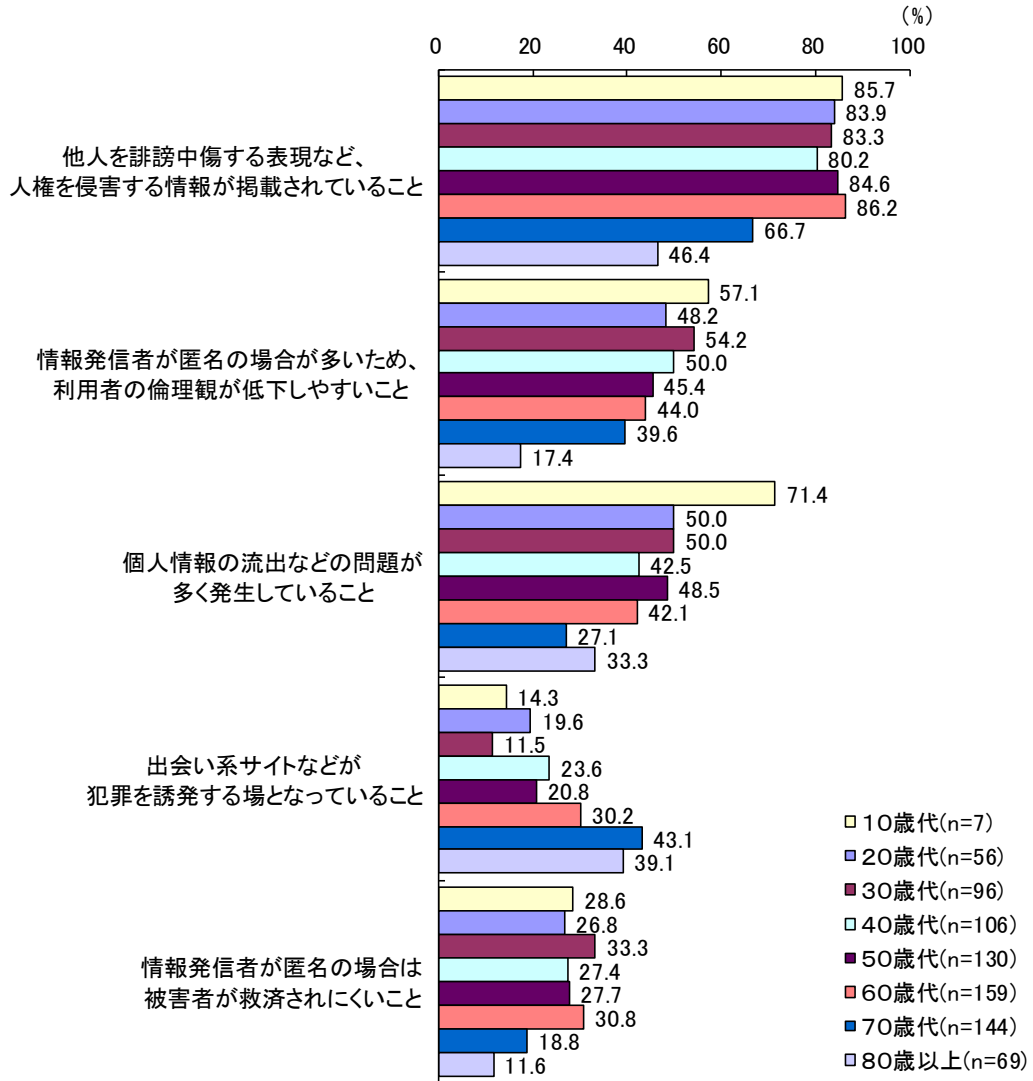
- インターネット上の人権侵害として、特にどのようなことを心配するか尋ねたところ、全体では「他人を誹謗中傷する表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」(77.2%)が最も高く、「情報発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと」(43.4%)、「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」(41.5%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「他人を誹謗中傷する表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」(前回 65.0%→今回 77.2%)が 12.2 ㊦、「情報発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと」(前回 30.7%→今回 43.4%)が 12.7 ㊦上昇した。一方、「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」(前回 50.8%→今回 41.5%)は 9.3 ㊦低下した。

## 【 性別 】



- 性別では、女性は「他人を誹謗中傷する表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」(76.8%)が最も高く、「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」(41.5%)、「情報発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと」(36.6%)が続いた。男性は「他人を誹謗中傷する表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」(77.8%)が最も高く、「情報発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと」(50.1%)、「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」(41.4%)が続いた。
- 「情報発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと」では、男性(50.1%)が女性(36.6%)を13.5ポイント上回った。

## 【 年 代 別 】



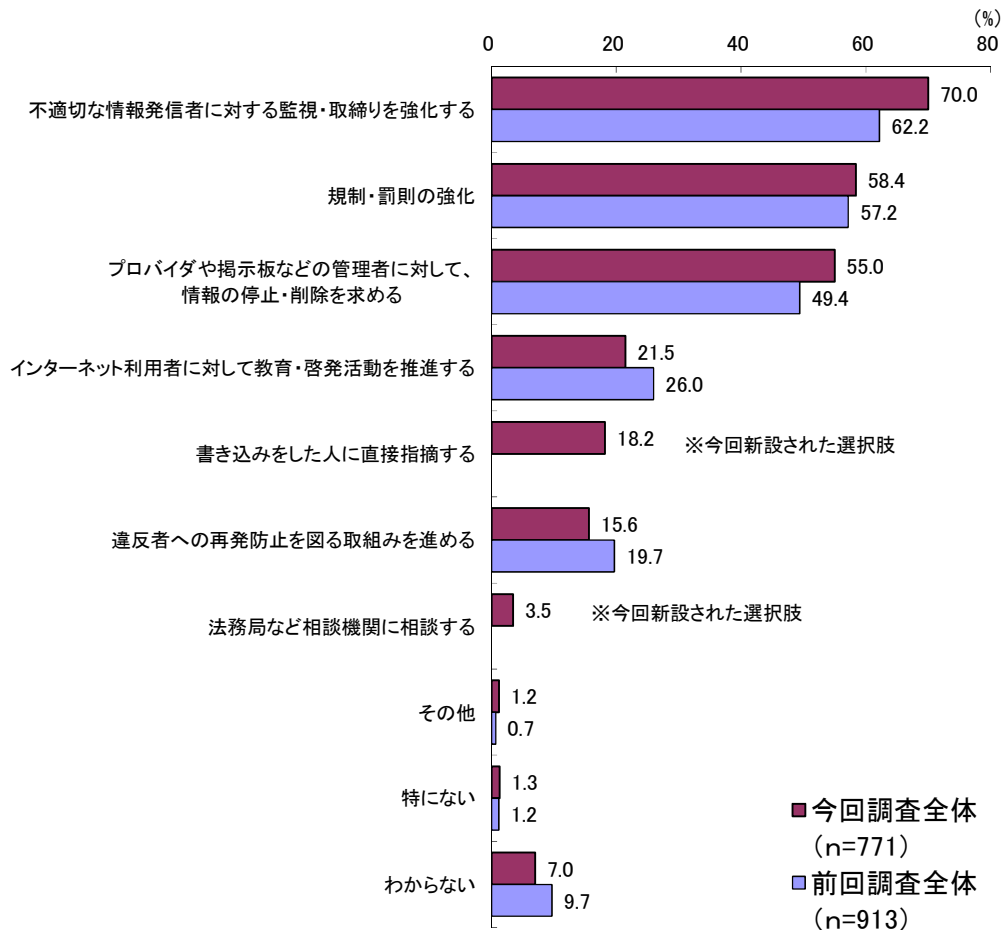
<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「他人を誹謗中傷する表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」は、10歳代（85.7%）、20歳代（83.9%）、30歳代（83.3%）、40歳代（80.2%）、50歳代（84.6%）、60歳代（86.2%）で8割を超えた。「個人情報の流出などの問題が多く発生していること」は、10歳代（71.4%）で7割を超えた一方、70歳代（27.1%）で3割を下回った。「出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること」は70歳代（43.1%）で4割を超えた一方、10歳代（14.3%）、20歳代（19.6%）、30歳代（11.5%）で1割台にとどまった。

問 39：あなたは、インターネット上の人権侵害をなくすために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

【 全 体 】

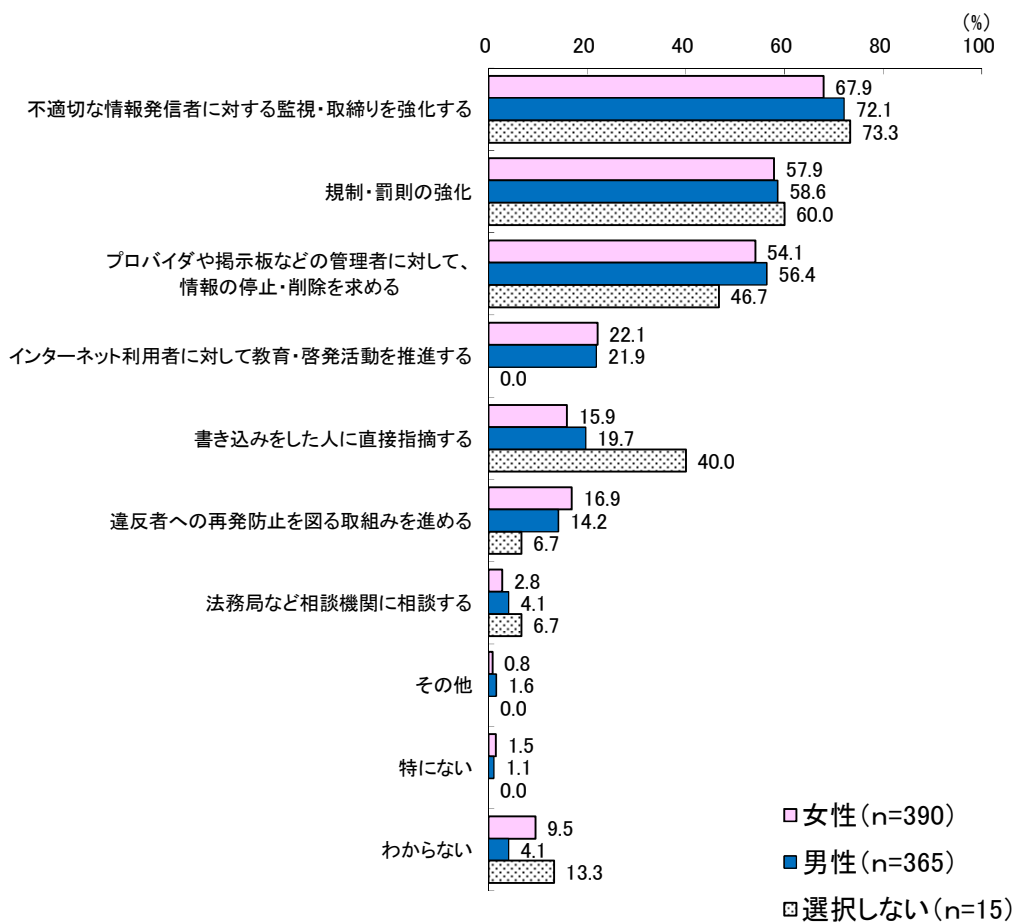


- インターネット上の人権侵害をなくすために、特にどのようなことが必要だと思うか尋ねたところ、全体では「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」(70.0%)が最も高く、「規制・罰則の強化」(58.4%)、「プロバイダや掲示板などの管理者に対して、情報の停止・削除を求める」(55.0%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」(前回 62.2%→今回 70.0%)は7.8 ㊦上昇した。

< 「その他」で記載があった主な意見 >

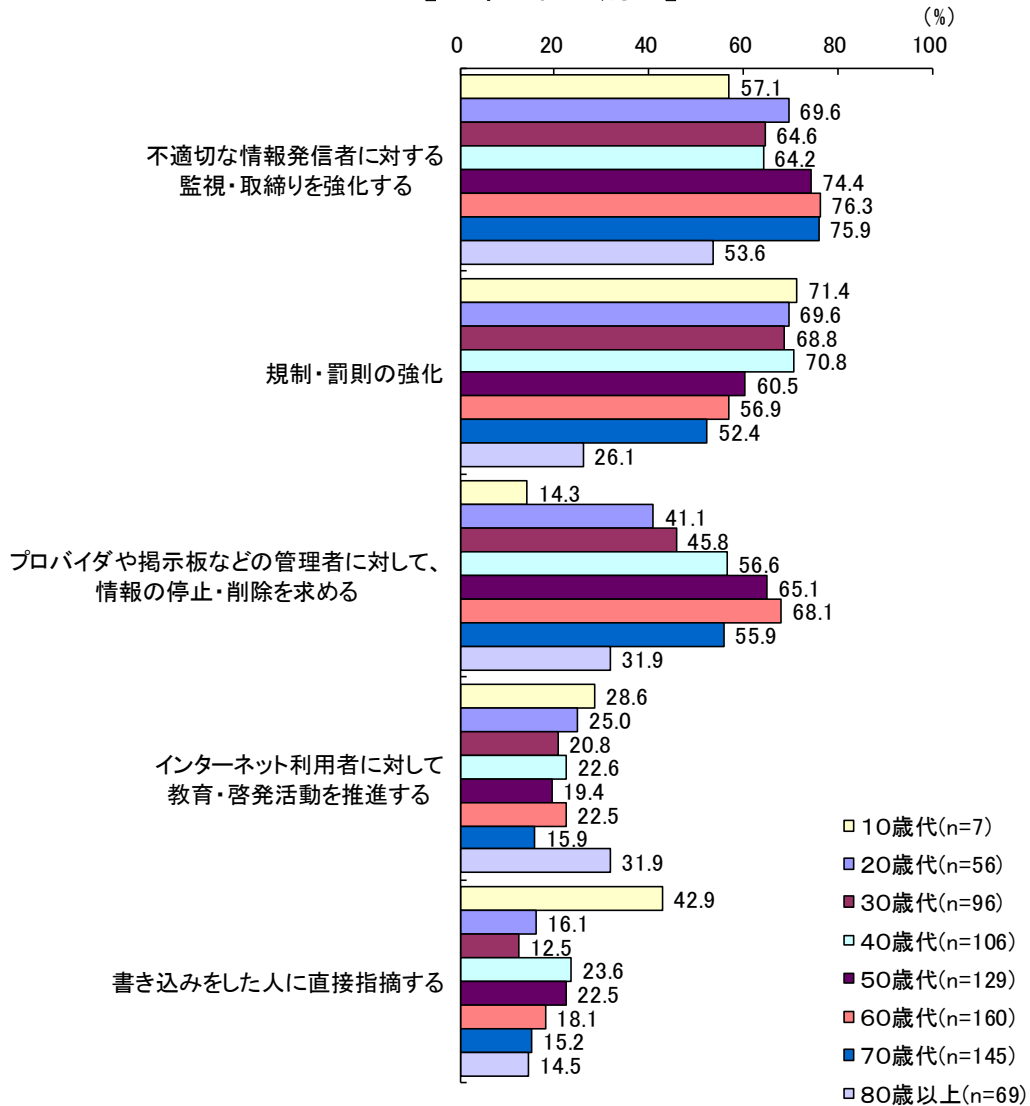
- ・ SNS の廃止
- ・ 匿名の書き込みの禁止
- ・ 一人一人が変わっていくしかない
- ・ 選択肢の取り組みがすべて必要
- ・ インターネットを利用しない
- ・ 「規制・罰則の強化」を強行する
- ・ WEB のバナー広告の規制

## 【 性別 】



- 性別では、男女で上位3項目は変わらず、「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」（女性 67.9%、男性 72.1%）が最も高く、「規制・罰則の強化」（女性 57.9%、男性 58.6%）、「プロバイダや掲示板などの管理者に対して、情報の停止・削除を求める」（女性 54.1%、男性 56.4%）が続いた。
- 女性と男性の間に特に大きな差は見られなかった。

【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

- 「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」は50歳代(74.4%)、60歳代(76.3%)、70歳代(75.9%)で7割を超えた。「規制・罰則の強化」は、10歳代(71.4%)、20歳代(69.6%)、30歳代(68.8%)、40歳代(70.8%)で7割前後に達した一方、80歳以上(26.1%)では2割台にとどまった。「プロバイダや掲示板などの管理者に対して、情報の停止・削除を求める」は、50歳代(65.1%)、60歳代(68.1%)で6割を超えた一方、10歳代(14.3%)では1割台にとどまった。

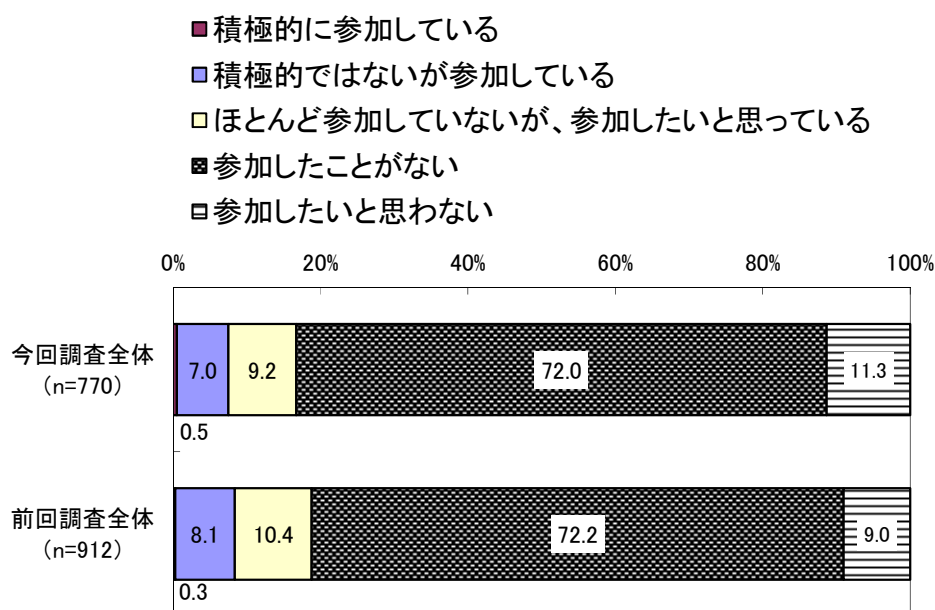


### 13. 人権を守るための活動について

問 40：あなたは、人権問題に関する講演会や研修会、イベントなどに参加したことがありますか。

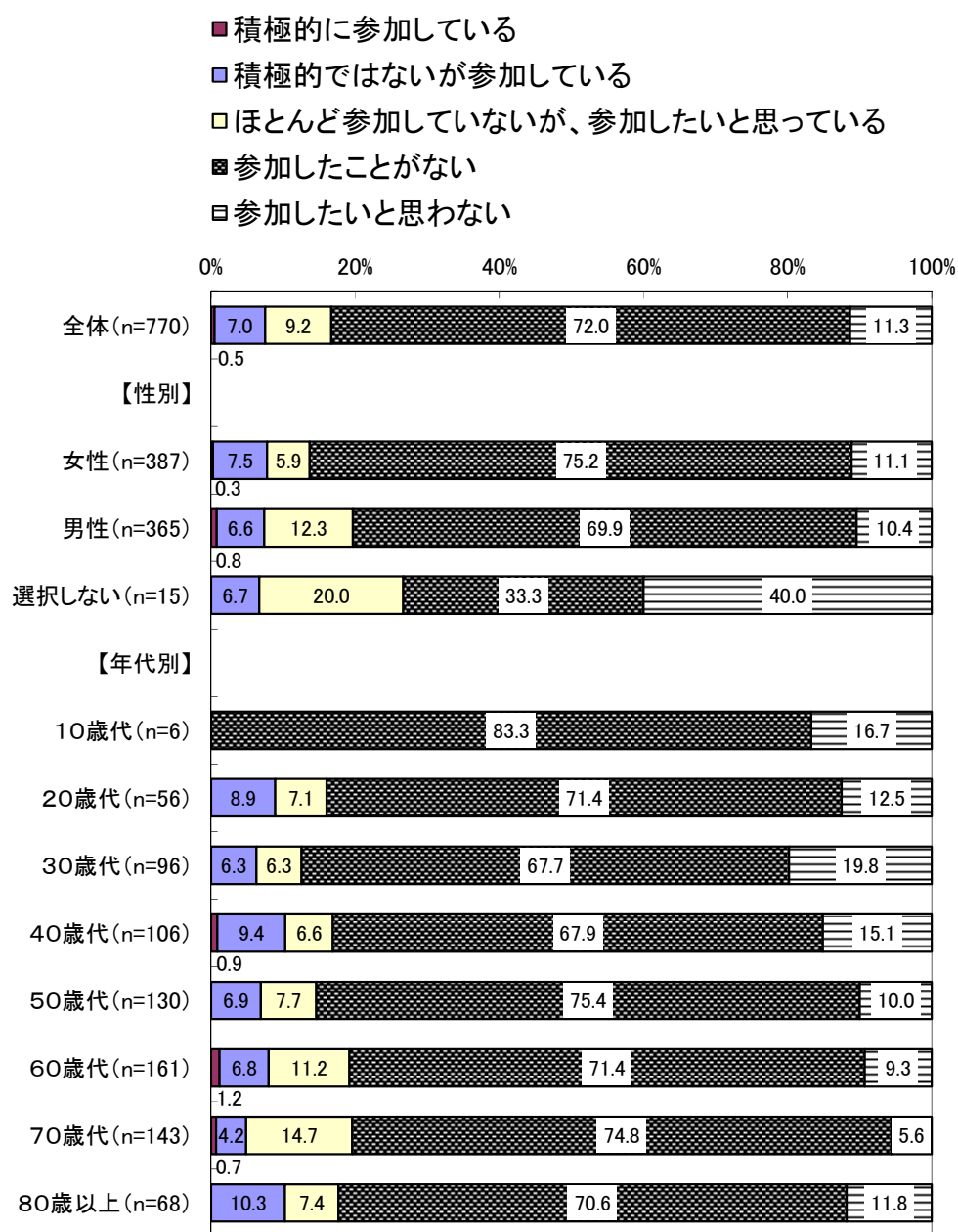
◆あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

#### 【 全 体 】



- 人権問題に関する講演会や研修会、イベントなどに参加したことがあるか尋ねたところ、「参加したことがない」(72.0%)が7割を超えた。一方、「積極的に参加している」(0.5%)、「積極的ではないが参加している」(7.0%)は二つを合せても1割に満たなかった。
- 前回調査と比較して特に大きな変化はみられなかった。

## 【 性別 ・ 年代別 】

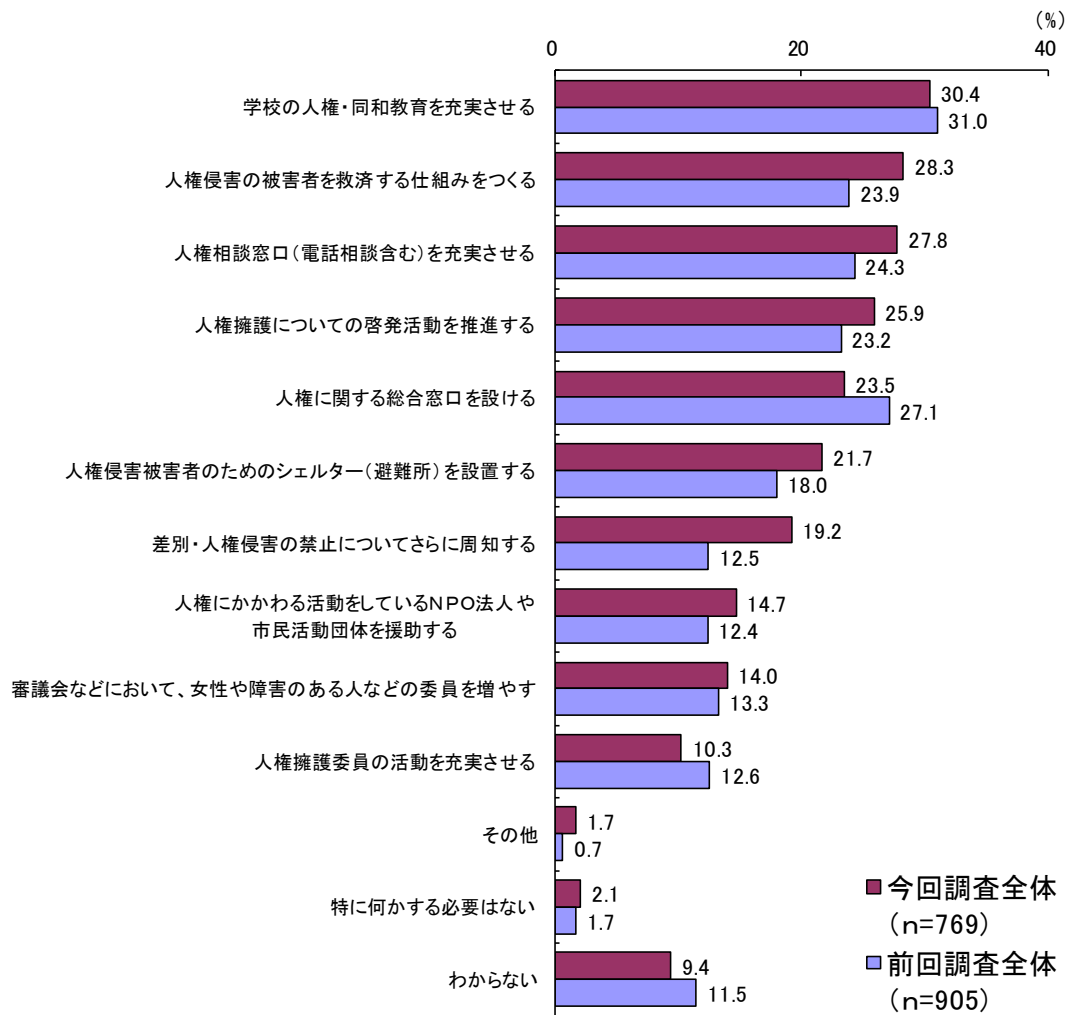


- 性別では、「参加したことがない」は女性（75.2%）が男性（69.9%）を5.3%点上回った。
- 年代別では、「参加したことがない」は各年代で6割を超え、10歳代（83.3%）では8割を超えた。

問 41：あなたは、長岡市がめざしている「互いに人権を認め、尊重しあう社会」を実現するためには、今後、特にどのような取組が必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

### 【 全 体 】

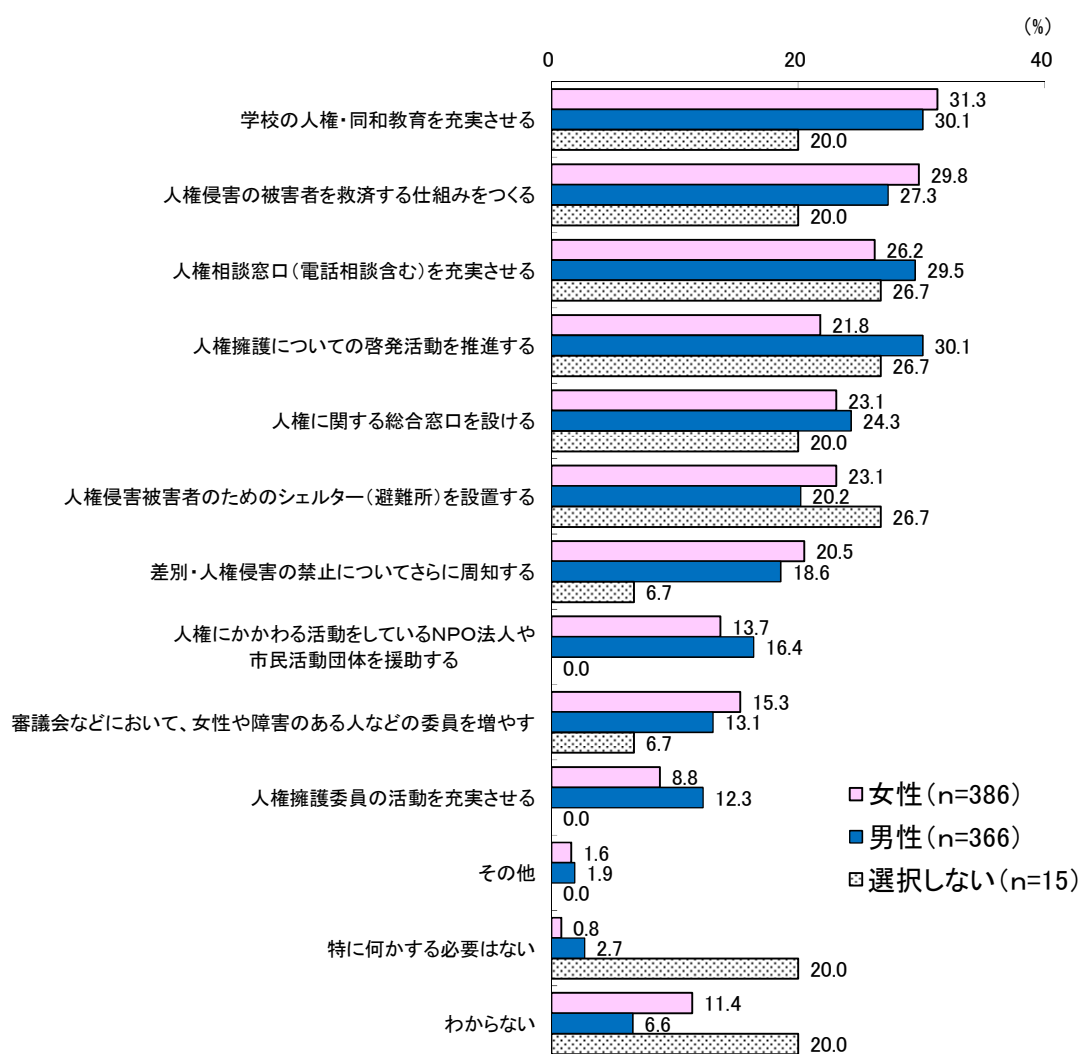


- 長岡市がめざしている「互いに人権を認め、尊重しあう社会」を実現するためには、今後、特にどのような取組が必要だと思うか尋ねたところ、全体では「学校の人権・同和教育を充実させる」(30.4%)が最も高く、「人権侵害の被害者を救済する仕組みをつくる」(28.3%)、「人権相談窓口(電話相談含む)を充実させる」(27.8%)が続いた。
- 前回調査との比較では、「人権侵害の被害者を救済する仕組みをつくる」(前回23.9%→今回28.3%)が4.4ポイント上昇した。

＜「その他」で記載があった主な意見＞

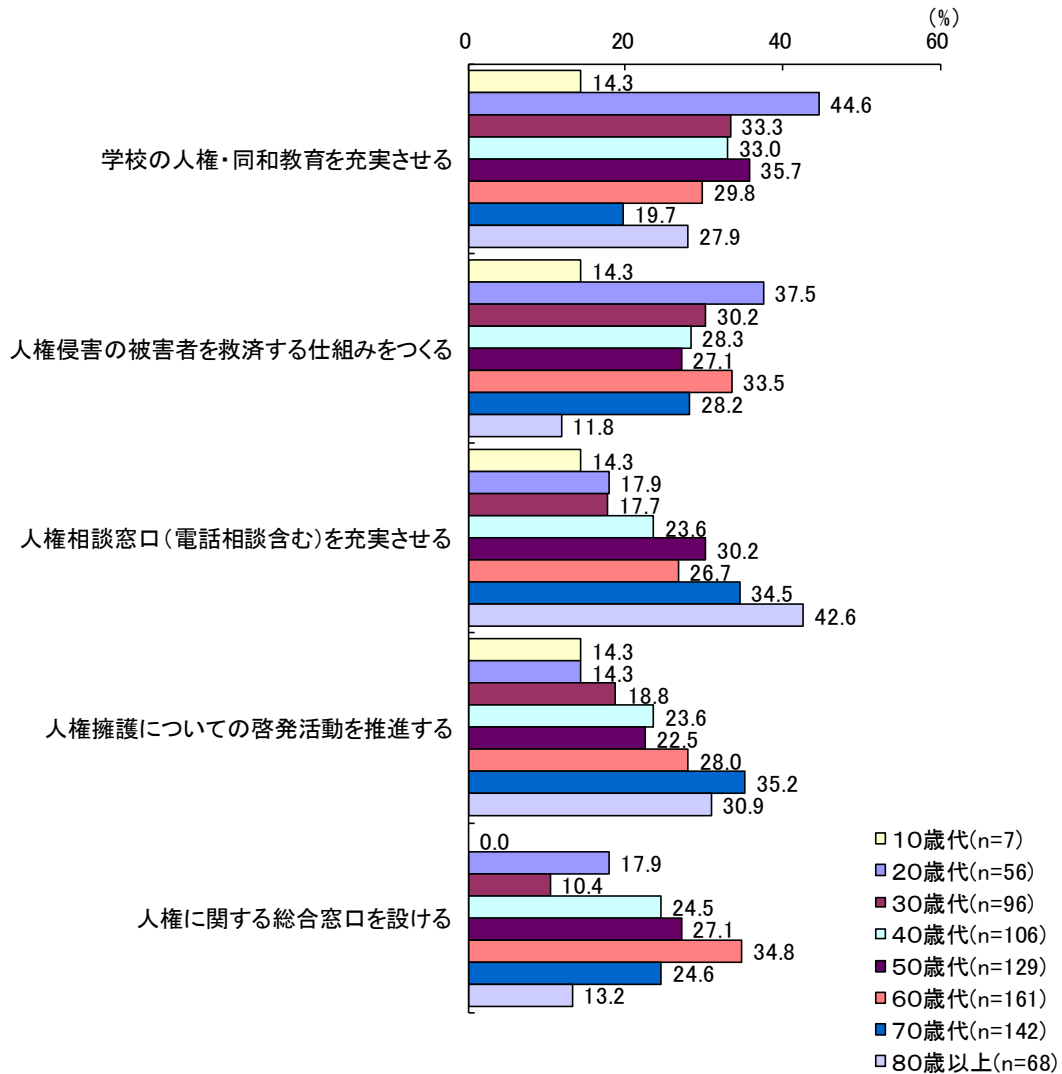
- ・問題のある家庭への働きかけ
- ・道徳教育の充実
- ・選択肢の取り組みがすべて必要
- ・加害者への制裁の強化
- ・いじめをなくす
- ・高齢者、単身者の擁護・救済の充実
- ・TV・ラジオ・雑誌などでの周知やイベント
- ・SNSやYouTubeの広告を使う
- ・学校でのいじめ問題をみんなで考える
- ・行政自身が「互いの人権を認め、尊重しあう社会」を実現する
- ・人権は誰が何によって保障されているのかを教える必要がある
- ・教員や福祉支援者など対人サービスに関わる人を中心に啓発する

## 【 性 別 】



- 性別では、女性は「学校の人権・同和教育を充実させる」(31.3%)が最も高く、「人権侵害の被害者を救済する仕組みをつくる」(29.8%)、「人権相談窓口(電話相談含む)を充実させる」(26.2%)が続いた。男性は「学校の人権・同和教育を充実させる」と「人権擁護についての啓発活動を推進する」(ともに30.1%)が最も高く、「人権侵害の被害者を救済する仕組みをつくる」(27.3%)が続いた。
- 「人権擁護についての啓発活動を推進する」では、男性(30.1%)が女性(21.8%)を8.3%上回った。

## 【 年 代 別 】



<全体の回答上位5項目に関して>

- 年代別では、「学校の人権・同和教育を充実させる」は20歳代(44.6%)で4割を超え、30歳代(33.3%)、40歳代(33.0%)、50歳代(35.7%)で3割を超えた。「人権侵害の被害者を救済する仕組みをつくる」は20歳代(37.5%)、30歳代(30.2%)、60歳代(33.5%)で3割を超えた。「人権相談窓口(電話相談含む)を充実させる」は80歳以上(42.6%)で4割を超えた一方、10歳代(14.3%)、20歳代(17.9%)、30歳代(17.7%)では1割台にとどまった。

## 14. 自由意見欄に寄せられた主な意見

最後に、人権問題について、普段から考えておられることや感じておられることなどがありましたら、下の欄にご自由にお書きください。

### 人権全般について(50件)

- 昔と比べると人権が尊重され、それ自体は素晴らしい事だが、わがままになり、個人主義に走りがちな風潮が散見される。節度を持った態度や我慢する心が欠けている様にも思う。自分本位の考え方が多くなり、協調精神が失われていると強く感じている。
- 「自分がされて嫌な事を他の人に言ったり、したりしてはいけない」と母から言われていた。このことにつきる。
- 行政が先導して、市内にある人権問題について市民に啓発し、一人ひとりの問題意識を高めるようにしてほしい。
- 人権と言うと少し難しい。人が人として自分らしく生活できれば良いのではないか。
- マスコミ等が騒ぎすぎるのではないか。
- 人権問題はとても難しい問題だと思う。人権を侵していると気づいていない人もいる。一人ひとりが人権問題に意識して取り組める環境づくりが大切なのかもしれない。人権問題の堅いイメージをかみ砕いた啓発方法を考えていかなければいけないと思う。自身も親なので、まず自分に問い直し、子どもたちにもわかりやすく伝えていこうと思っている。
- 政党あつての国家や国家あつての国民のような考え方ではなく、国民あつての国家だと思う。
- 職場内の人権に関する相談ができるのは、近くの仲間か信頼できる上司しかいない。転職しても人権を大切にしない会社がある。
- 人種、性に対する考え方など年齢的に色々な考え方がある社会が望ましいと考える。
- 対立が生まれることも事実。その対立があつて初めて違いを考え始めることが多いと思う。その積み重ねにおいて人権の考え方が身についていく社会が理想と考えている。制度等でしぼることほどナンセンスに思う。
- 人権問題は特に生まれ育った環境が重要と考える。両親の愛情・学校教育・地域の思いやり。
- 全てにおいて加害者の人権は守られるが、被害者の人権は守られている気がしない。小さな頃からの教育が必要なのではないだろうか。

- 自分とは違う者に対して異質と見なし、小学生でも大人でも世代は関係なく批判することが多いと感じる。「そういう人もいるんだな」「相手から見たら自分の方が異質に見えるのかな」とか、捉え方や受け取り方の意識が変わったらそういう問題はどうなっていくのかなと思った。親や大人の姿や言葉を見聞きしている子どもたちの間でいじめがおきるのも、身近で見聞きしたことによる影響なのではないかと感じる。
- 人権に対する意識というのは、社会全体の意識・風土の問題だと思う。少数意見が通りにくい世界になっている。遠回りでも教育・広報・規制等大多数の意識を変革して行かないと、実効性は上がらないのではないかと考える。
- 子どもよりも大人の意識を変える取り組みが必要だと感じる。子どもは先生の考え方に左右されるので、先生を教育する大学や研修においても、周知が必要だと考える。
- すべて教育から始まる。学校教育。家庭教育。職場での教育。教育者の教育。
- 人権は守られるべきであり、一人ひとりが考えていくべきことではあるが、権利を主張しすぎ、強要することは良くないと思う。一人ひとりが人権を理解し、お互いを尊重しあえる社会になってほしいと思う。
- 幼い頃からの教育や交流が必要。
- 人権問題における一番の問題は、個々の価値観の違いによるものだと思う。すべての人が寛容な価値観をもつことは不可能だが、教育や情報の発信等によるアップデートは可能だと思う。正しい情報を正しく伝え、それを正しく受け止める。発信者・それを管理する機関や仕組み・市民の三者の勉強が大切だと思っている。市はそれらを統括して正しい情報発信につとめてほしい。
- アンケートに答えて書きこむことは簡単にできることだが、実際に人権問題に直面している人は精神的、肉体的にもダメージを受けてつらい日々を送っていると思う。そういう問題がゼロになる日を願う。みんなが平等であるべきだと思う。この世に生まれてきたのだから、みんなが幸せに生きられる世の中になるべきだと思う。
- 失敗した人を「もう二度と成功しない」と扱うレッテル貼りなど、日本は「不寛容」であると感じる。私自身は、日本生まれの日本人だが、日本に税を収める意義を見出せなくなりつつある。他人の失敗を責めるのはやむをえない時もあるが、行き過ぎた攻撃が散見される。まずは、初歩の理論からと考える。
- 人権は決められたルールを守っている人が得る権利だと思う。ルールを守らずに人権、人権と言う人も多いと思う。相談員や窓口で対応する人数を増やさないと何事も解決しないと思う。そのために募集や、活動したいと思う人への研修をして増員してほしい。自ら発言できない子どもへの相談窓口や相談の場を設けてほしい。



- 人権という言葉が悪用している人もいると思う。なにかにつけて人権と言われると、生きにくさを感じる事もある。本来の人権とは？誰のための人権？どこまで人権？悪人の人権って？人権って難しい。
- 日本の民主主義は行き過ぎている面が多い。義務と責任を軽視して権利の要求が多い。自分は主張するが人の権利は無視する。マスコミも批判ばかりで真実を伝えない。人の失敗は追求するが自分たちのことは何もしない。批判が多すぎる。
- どの差別にも当てはまるが、一部の過激な人たちがあまり差別と思わないことでも「私たちはこんな差別を受けている。これは社会が悪い！」とさわぐことで、周りから冷ややかな目で見られることがあるし、その属性（女性、外国人、LGBT）に着目して距離を置かれる場合がある。本当に悪いのは、差別をしている本人であるのに、それを社会や環境のせいにするのは違うと思う。それを拡散するマスメディアも違うと思う。つまり、一部の人が騒げば騒ぐほど、それと同じ境遇の人たちの立場が悪くなる。感情に訴えかけるのではなく、法律や論理の立場で「ここがおかしい」と冷静に訴えかけることが必要だと感じる。
- 職場における女性差別、経営者のパワハラ、学校でのいじめが結果として、メンタルヘルスや高齢者の引きこもりの問題につながっている。差別問題は単一の問題ではない。教育、職場を中心に、一人ひとりの意識を変える努力をしなければならないと思う。
- こどもの頃は学校でいじめはいけないと教わるが、そこで人権の学びの出来ていない人は、大人になって職場や社会で好きなように発言し、人を傷つけ、人権問題につながっていくのではと思う。考え方は人それぞれなのは仕方ないが、それを言葉にしてしまったり、行動するのはいけない事だという教育ができるといい。
- 全市民の人権が守られ過ぎしやすい社会になることを願っている。人権を侵害された場合、どこに相談していいのかが全く分からない。もっと周知されるべきだと思う。どのような場合が人権侵害に当たるのかもわからない。具体的な例などがあるとありがたい。
- 社会の「当たり前」が実は差別的事象であることが多い。日常生活における「当たり前の風景」の中に、差別的事象や人権侵害にあたる事象がいかにも多く含まれているかを見抜く目を養うことが大切だと感じている。自分も常にそのような視点を磨き続けたいと思っている。
- 人の悪口を言わない事が一番いいと思う。
- 人が人である以上問題は解決しないと思う。問題に対して、対策する事も差別では？とさえ思っていた。余計な事を考えずみんなが暮らせるのが理想的だと思う。
- 人権を主張しすぎることこそが最大の問題である。
- 今は自分の権利を主張する人が多い。よって誹謗中傷される。言っていることと悪いことがあり、何事も限度を知ることだと思う。

- 「人権」と聞いて、正直よくわからなかったが、自分なりに答えた。質問内容を見ると、普段あまり意識していなかったが、とても生活に密着していることがわかった。自分はそのつもりがなくても人を差別したり、そのような言葉や態度をしているかもしれないと思ったら、自分の行動も気をつけなければいけないと思った。
- 新聞やネットで人権に関わる問題提起がなされるものの、自身の体験として人権が侵害されていると感じることがない。同和問題、H I V、ハンセン病、L G B T差別を聞くことはあっても身近に関わることはなく、鈍感なだけかもしれないが恵まれた環境にいる。そのようなことから、今回の意識調査はとても回答しにくかった。
- 人それぞれの違いの中で共生することは難しいことだが、安心して楽しく過ごせる日を送れるようにと思っている。
- 人と人がお互い個性を認め合い、思いやりを持って接し合える社会になる事を願っている。学校や社会に任せきりにするのではなく、まずは家庭がおだやかである事が一番大切だと思う。
- ある程度、人権は守られていると思う。
- ごく一部の人が問題化している様な気がする。回りの人がもっと注意する必要があると思う。
- 「謙虚さを忘れない人間性」が持てるよう、愛情深く子どもの心を育むことが大切だと思う。皆が心のどこかに謙虚さを持っていたら人権問題に向き合えるのではと感じる。
- 一人ひとりが相手の身になり、思いやりの心を持って接する事が大切だといつも感じている。
- 差別への是正措置が行き過ぎる。目的の誤りによって、「逆差別」にならないように注意したい。また、行政についても注意してもらいたい。
- 当事者にならないと考えづらいこと。そのため、学校教育等で当り前のこととして身に付くような展開が好ましい。
- 全世界の誰にも、平等で差別のない生活ができるような世の中になって欲しい。
- 人間は違いがあるものの、すべての人々が平等であり、尊敬していくべきだと思う。大人になってからはなかなか考え方が変わりにくいと思うので、小さい時からの教えが大事なのではないだろうか。
- 人権問題には様々な内容があることを知った。特に同和問題やホームレス、L G B T問題など自分の住んでいる地域社会の中では、あまり身近に感じることなく生きてきた気がする。自分の身に置きかえて考える事も少なかった。
- 芸能人等の不貞行為や緊急事態宣言中に深夜まで遊んでいることが報道されると、異常なほどに叩かれるのはなぜか。知る権利があるとしても、週刊誌報道はやりすぎなのではないのか。芸能人に人権はないのか。社会復帰できないほど追い込んで、他人の人生を狂わせていいのか。

- 新しい世代や新しい分野の人権問題に対して、グローバルスタンダードに遅れを取らない社会を目指して欲しい。
- 幼いころから教育を行うことで関心を持ってもらうことが大事だと思う。人権問題はケースバイケースのものが多いと思ってる。情報の集め方や考え方をしっかりと教えていくべきだと思う。私の家族はテレビや新聞の情報を真に受けて、自分で何も調べずに結論を出すことが多く、心配になることが多々ある。世代という考え方もあるが、それまでに受けた教育の方が影響しているように感じている。
- 私は 21 歳の大学生だが、今までの人生で人権侵害を受けたことや、人権が侵害されていることを目撃したことはない。おそらく、そういった問題は昔の方が多かったのではないかと考えている。もし、今も無くならない問題があるならば、家庭内での人権教育の充実を図る方法や取り組みを検討すべきだと思う。

#### 女性の人権について(8件)

- 女性の意見がくみ取られるように、決定権を持つ組織に女性の意見が反映されるような仕組みを考えてほしい。それは逆差別になるという人もいるが、男女同等になるためにはある期間までは仕方がないことだと思う。
- 都会と違い地方では、人権問題は軽視されていると思う。特に女性に対する考えは顕著に感じられる。年齢が上がるほど女性を下にみて、「女のくせに」などと言うことをよく耳にする。いくら女性が訴えてもそういう人がいたら女性の社会貢献は進まないと思う。女性は家事・育事をして当たり前、そして社会に出て仕事をするのも当たり前になってきた。弱者にとって住みやすい長岡市になってほしい。
- 女性が新しい仕事をする際、市から助言などないのだろうか。女性セミナー等は 10 支所で開催する等、集まりやすい環境がほしい。母子予算も減らされている。地方で子どもを産むと検診会場も遠く、他地域まで行かなければならない。女性にいろんな負担が多いのではないのか。旧長岡市だけ優遇されている感じがある。
- 市役所、市議会の女性比率がきわめて低い。日本の地方都市として当然なのかもしれないが、全く改善のきざしが無い。
- 性被害の問題について、子どもたちを加害者にも被害者にもしないために、幼児期からの早期性教育が必要だと考える。性被害にあった年齢が低いと、自分がされたことの意味をわからずに被害が表に出にくく、加害者が野放しになり、他にも被害者が増えたり被害が深刻化したりする。そうならないために、幼児期から、「他人の水着で隠れる部分を勝手に触ってはいけないこと」を教えた方がよい。被害にあったら相談しやすい雰囲気づくりと、周囲の大人に対して、性被害

の相談を受けた時に二次被害にならないような話の聞き方を啓発してもらいたいと思う。

- 「子育て世帯に優しい職場」と言われている職場でも、「子どもの熱や子育てを理由に休んだり、夜勤に入らないのは甘えだ」と言う人は多い。「こういう業務大変だよな。パートならやらなくていいよ、パートならな」と、正社員からパートに自らなる様にすすめることをにおわす発言も多くある。
- 女性に関する人権問題が取り上げられてるが、男性に関する人権問題も取り上げてほしい。男女平等になり、女性が上司になったり、男性が育児休業をとったりする時代なのにそれがない。男性も解雇や配置転換などがあり、職場でセクシュアル・ハラスメントも受ける。人権問題は女性のみでなく男性も同じように苦しんでいる。
- 「女性の人権」という言葉に違和感がある。女性だけが差別され不当な扱いを受けていると感じるため。パワハラなどは男性に多いのではないか。性別を問わず人権問題はあるのではないかと思う。人権に関わる問題はいろいろあるかと思うが、最近の傾向で、何かあると「女性蔑視だ」「人権侵害だ」などというのも問題があると思う。

#### 子どもの人権、学校でのいじめの問題について(5件)

- 長岡の教育関係者は皆がんばっていらっしゃると思う。ただ、いじめという理不尽な障害で、その人の自由な人生を阻害しないよう、努めていただきたいと思う。引き続き長岡の学校が、いじめとは無縁な居心地のよい楽しい場所であるよう願っている。
- 人権問題やいじめなどはなくなると思う。なくす対策よりも被害者の逃げ場所が必要だと思う。いじめに関していうと、いじめられている子は親にも先生にも相談できずにいる子はたくさんいる。子ども相談所や電話相談の番号など、子どもたちに常に周知し、利用できるようにすることが大切だと思う。
- 高校生のときにいじめにあったことがある。父が先生方と話し合ってくれ、先生方も対応してくださり、無事卒業することができた。きっかけはLINEはずしからであったが、終わってよかった。
- 家庭内で飛び交う大人の軽はずみな人権侵害発言を、聞いた子どもが誤学習している場合がある気がする。また、YouTubeやSNS上の過激な発言をまねして他人を深く傷つけても、悪いこととは気付けない子どもが増えているような気がする。
- 子どもが親や同居者に虐待されて命を落としたり、学校での教師の暴言、体罰、クラスメイトや友人による誹謗中傷などで悩み、自ら死を選んでしまうことに心が痛む。私が子どもの頃と比較すると、現在は物は豊富になったが人の心が置き去りにされているように思う。人間としての在り方の教育も必要だと思う。

### 高齢者の人権について(3件)

- これから高齢者の一人暮らしが増えていく一方だと思うが、市では一人ひとりのケアはできないと思う。リモートやITをもっと拡充することで一人ひとりをケアできると思う。市が民間へ委託する際には、不手際が必ず起こるので、やはり運営は市自体が行うべき。「高齢者サポート課」は、必要になる。高齢者の人口が最も多いはずだから。
- 高齢者を年齢でひとくくりにし、能力の劣る者として保護の名目で社会的に抹殺しているように感じる。銀行によっては、6,000円程度でも口座振込ができない。投資に関して、子の同意が必要だったり、投資信託など年齢制限がある場合がある。
- 買い物に行けない高齢者のいる世帯などには、スーパーマーケットや食料品店、日用雑貨店などが移動販売をしてはどうか。車に乗れない人たちは助かると思う。

### 障害のある人の人権について(3件)

- 障害のある人への理解がまだまだ足りない。支援もまだまだ足りない。特に見た目ではわかりづらい知的・精神・発達障害がある人の人権問題はまだまだ不十分である。関わる施設職員・施設・相談窓口の障害への理解が不十分だと思う。
- 知的障害がある人たちの人権が置きざりにされているのを常を感じる。
- 短時間でも働ける場がほしい。障害者枠は、労働時間が長すぎて身体へ負担がかかり、結局勤めることが難しい。

### 同和問題について(4件)

- 私の日常では同和問題について触れる機会がない。
- 新潟県内の同和地区の存在はあまり聞いた事が無かった。仕事で大阪市へ赴任したときに同和教育を受けて部落問題を知ったが、県内では同和問題に関する事件もなく、関心も薄いと思うので、問題視する必要は無いのではないかと思う。長岡市に移り住んで29年経ったが、同和問題に関する話題に出会ったことがない。
- 同和問題は新潟県にもあるだろうか。他県に在住のころはいつも人権について考えていた。在日朝鮮人の方々や被差別部落が地区にある学校に通う学生たちへの差別など、見たり、聞いたりしたことは数えきれない。
- 同和問題は今更なのではと感じる。

### 外国人市民の人権について(3件)

- いじめや差別はしたくないと思っているが、となりに外国人が引っ越してきたら身構えてしまうだろう。
- 特定の外国人の人権は守られるのに、日本人の人権は守られている気がしない。
- 日本に住む選択をしているのに、日本のシステムを変えようとする雰囲気を感じてしまい、わがままな印象を受ける。日本で住むというのに不都合を感じるのであれば、自分の国に住むという選択をすればよいと思う。

### 新型コロナウイルス感染症をめぐる人権問題について(1件)

- 新型コロナウイルスワクチンの接種が始まっているが、接種を希望しない人が差別を受けないよう、広報・啓発活動を推進していただきたい。

### 性的マイノリティ(LGBT等)をめぐる人権問題について(3件)

- TV等でLGBTQを取り上げた番組を目にしたとき、「どういう意味なの?」「ゲイってどういうこと?」といった子どもの疑問に答えられないことがあった。説明が難しい。子どもたちに教育するよりまず親世代、祖父母世代への知識定着が必要ではないかと感じている。日本は特に海外に比べてLGBTQに対する関心が乏しいと思う。
- 性的マイノリティへの理解においては、特に日本は遅れをとっていると思う。まず義務教育で指導していくべきだと思う。また、性教育をしっかりと行ってほしい。
- トランスジェンダーの人が女子トイレや女子更衣室を使うことに強い違和感をもっている。オリンピックにおいて、男性の体で生まれた人が女子競技に参加するのと、女性の体で生まれた人が男子競技に参加するのでは成績が変わる。また、男性としてある程度出世したあとでトランスジェンダーであることを公表し、そのことでビジネスウーマンオブザイヤーを受賞するなど怒りすら感じる。女性が女性として生きていく難しさと、性別違和を持って生きていく難しさはちがう。

### インターネット上での人権問題について(3件)

- 母が何回もインターネットやSNSで悪口を言われたが、弁護士に相談しても法律が無く泣き寝入り。グーグルやツイッターはアメリカの法律が適用されるため、アメリカの裁判所まで文書を出さなくてはならず、特にグーグルは全く対応してくれない。日本の法整備を望む。

- インターネット上の人権侵害で亡くなる人がいることが非常に辛い。書き込む人が一番いけないのだが、取締りがもっと迅速に行われていたら、罰則が厳しかったら、行為をあらためる人も増えるのかなと思う。気軽に書き込める時代だからこそ、小さいころから思いやりやSNSなどの使い方を学ぶことを徹底する世の中にしたい。
- 匿名によるインターネット上の人権侵害は、何気なくやったことで人を傷つける。若いうちからゲーム感覚でやってしまう。教育と取締りを平行してやってほしい。

#### 人権を守るための活動について(9件)

- 長岡市がめざしている「互いの人権を認め、尊重しあう社会」を実現させるという考えは大変すばらしいことだと思う。しかし、その実現には多くの障害もあり困難なことでもあると思う。学校や職場、社会、SNS上などでのさまざまな人権侵害の問題をなくすために、規則・罰則を強化することで少なくはなるかもしれないが、ゼロにはならない。間違った正義感や他人を非難することで得られる優越感から発せられる言葉が、時として人を傷つけるのではないか。一方で、社会全体が相手を思いやり、やさしい気持ちを持って接することができる「心のゆとり」と「余裕」に満ちていれば、人権侵害の問題は発生しないのではないか。これは直接人権の問題と関係ないかも知れないが、1985年にあった、イラン・イラク戦争時のトルコ政府による邦人救出のエピソード（1890年エルドゥール号難破時の和歌山県串本町民の対応に対する100年後の恩返し）や、最近では日本と台湾との支え合いなど、時と場所を越えた互いを思いやるエピソードを聞いて、心がほっこりさせられる。人権に関わる問題でも、相手を思いやる気持ちからおきたエピソードを是非発信してもらいたい。善意に満ちた行動や発言などを表彰したりして推奨していただきたい。そうすることが規制・罰則の強化よりも効果的な対策になるのではないか。
- 教育として押しつけるのではなく、子どものころから人権について話し合う機会を作ってほしいと思う。
- 力になれる事があれば協力したいと考えている。
- 人権問題に関する講演会には何度か参加させてもらったが、正直に言って分かりにくく、興味を引くものではなかった。人権問題はただでさえデリケートで難しいものだと思うので、もう少し参加者が理解しやすく興味をもってもらえるような内容にしてほしいと思う。
- 今回の調査で様々な人権問題があることを、再度認識する機会となった。日常生活の中で自身にかかわりがないと考えることもないため、こういった活動が積極的に行われていくことを期待している。

- 批判はあると思うが、それに負けることなく、予算と税金を十分に使ってでも実利のある支援を行って欲しいと思う。私は健常者の部類であると思うが、健常者向けの予算を使ってでも、支援を必要とする方に手を伸ばすべき。手を伸ばせるのは、まずは行政だから。その後に我々の参加できる仕組みを使ってもらいたいし、教育や広報もやってもらいたい。不公平・不平等と言う方もいるだろうが、負けずをお願いする。SNS上で見られる差別偏見に正面から対し、折れずにいてもらいたい。
- 講演会や研修、イベントなどでは、結論ありきのものにならないよう注意するべきだと思う。人権問題について、実例、原因、対処方法の例などを紹介し、最終的には参加者の判断材料を増やすものになるといいと思っている。「〇〇すべき」「〇〇はダメ」などの結論が出るものは考え方を狭くすると思う。
- 若い方は人権について何も考えていない。意識が低いと思う。若い方が行く施設やSNSを活用すると良いと思う。
- さまざまな人権問題が解決されるよう自分ができることがあれば協力したいと思う。

#### その他(2件)

- 日本人は生まれたらすぐ、DNAの登録を義務づけるべきだ。すぐ犯人もつかまるし、捜査費も安くなるし、悪い事をしなければ、別にプライバシーも全く問題ないはず。
- 日本では共同親権制度がなく、離婚後、子どもと会えず苦しんでいる父親が近所に何人かいる。調停の際、調停員が「子どもは母親」という固定観念から、父親との面接を軽視する傾向があることがうかがえる。少子高齢社会で、娘が離婚して孫と戻ってくることを歓迎する親の話をよく聞くが、傷ついている父親や子どもには関心が低いと思う。調停員や人権擁護委員は従来の固定的なもの見方で助言に走らないよう、充分気をつけてほしい。



# 長岡市 人権に関する市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から、市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
さて、長岡市では、人権が尊重されるまちづくりをめざして、人権に関するさまざまな施策に取り組んでいます。

このたび、人権に関する施策をより効果的に推進していくために、市民の皆様の人権に関する意識について調査を行うことといたしました。この調査は、18歳以上の長岡市民の中から無作為に抽出された2,000名の方を対象に実施するものです。

調査票は無記名となっており、回答の内容が公表されることは決してありません。また、調査目的以外には絶対に使用しませんので、日頃のお考えをそのままお書きくださるようお願いいたします。

お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年6月  
長岡市長 磯田 達伸

## － ご記入にあたってのお願い －

1. **封筒の宛名のご本人がお答えください。**本人による記入が困難な場合は、ご家族などがご本人から聞き取って代筆してください。
2. お答えは、この「調査票」に直接記入してください。
3. 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
4. 回答については、あなたのお考えに近いものを選んで、できるだけ「○」をつけてください。なお、質問によって「○」の数が違いますので、ご注意ください。
5. ご記入がすみましたら、同封の返信用封筒へ入れて **7月21日(水曜日)までに** ご投函ください。**(切手は不要です。)**

### 【お問い合わせ先】

長岡市市民協働推進部人権・男女共同参画課  
〒940-0062 新潟県長岡市大手通2丁目2番地6 ながおか市民センター2階  
電話：0258-39-2746 / FAX：0258-39-2747  
Eメール：will@city.nagaoka.lg.jp

じんけんぜんぱん  
1. 人権全般についておたずねします。

問1 あなたは、人権に関心がありますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. かなり関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない
4. まったく関心がない

問2 あなたは、人権が守られていると思いますか。

◆それぞれあてはまる番号に1つ○をつけてください。

(1) あなた自身の人権について

1. よく守られている
2. だいたい守られている
3. あまり守られていない
4. 守られていない

(2) 社会全体について

1. よく守られている
2. だいたい守られている
3. あまり守られていない
4. 守られていない

問3 日本の社会には、人権に関わる課題がいろいろありますが、あなたは、どの人権問題に関心がありますか。

◆あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 子どもにかかわる人権問題
2. 女性にかかわる人権問題
3. 高齢者にかかわる人権問題
4. 障害のある人にかかわる人権問題
5. 同和地区（被差別部落）出身者にかかわる人権問題
6. 外国人市民等にかかわる人権問題

※ 外国人市民等には外国人市民のほか両親のいずれかが外国籍である子や日本国籍取得者なども含みます。

7. アイヌの人々にかかわる人権問題
8. エイズ患者、HIV感染者、新型コロナウイルス感染者等にかかわる人権問題

※ エイズ、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）については、15ページの説明をご覧ください。

9. ハンセン病患者、元患者や家族にかかわる人権問題
10. 新瀉水俣病被害者や家族にかかわる人権問題
11. ホームレス（路上生活）状態にある人にかかわる人権問題
12. 性的マイノリティ（LGBT等）にかかわる人権問題
13. 刑を終えて出所した人にかかわる人権問題
14. 犯罪被害者やその家族にかかわる人権問題
15. 拉致被害者や特定失踪者とその家族にかかわる人権問題
16. インターネット上での人権問題
17. その他（ )
18. 特にない

問4 あなたが、もし自分の人権を侵害された場合、まずどのような対応をしますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 家族や親せきに相談する
2. 友人に相談する
3. 職場の同僚・上司などに相談する
4. 相手に抗議するなど自分自身での解決に向けた努力をする
5. 弁護士に相談する
6. 法務局や人権擁護委員に相談する
7. 民生委員・児童委員や主任児童委員に相談する
8. 県や長岡市に相談する
9. 警察に相談する
10. NPO（非営利団体）などの民間団体に相談する
11. 新聞社などのマスコミに通報する
12. 誰にも相談せず我慢する
13. その他（ )
14. 特になにもしない

問5 本人の知らないところで第三者が勝手に本籍、出生、家庭環境、国籍、資産などを調べることを身元調査といいます。第三者が本人の了承を得ないで身元調査を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

◆あてはまる番号に**1つ**○をつけてください。

1. 身元調査をすることは当然のことだと思う
2. よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
3. どちらかといえば、行うべきではない
4. 個人情報の漏えい、人権侵害、差別につながるので行うべきではない
5. わからない

## 2. 女性の人権に関する問題についておたずねします。

問6 あなたが、「女性の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

1. 「男は仕事、女は家庭にいるべき」「女だから〇〇すべき」といった意識や考え方を押しつけられること
2. 就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇<sup>たいぐう</sup>の違いがあること
3. 職場、地域、学校などにおけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)を受けること
4. 職場、地域、家庭などでの方針を決めるときに女性の意見が聞かれないこと
5. 結婚、妊娠、出産、不妊、育児などについて、まわりの人からとやかく言われること
6. 妊娠・出産を理由に解雇や配置転換、契約打ち切りなどのマタニティ・ハラスメントを受けること
7. 夫や恋人などからの女性に対する暴力(なぐる、ひどいことを言われる、行動を見張られる、性行為を強要されるなど)があること
8. 売春・買春(いわゆる「援助交際」<sup>えんじょこうさい</sup>を含む)
9. テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報
10. 女性にとって不平等な慣習やしきたりがあること
11. その他( )
12. 特にない
13. わからない

問7 あなたは、女性の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思えますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

1. 女性のための相談・支援体制を充実させる
2. 夫や恋人からの暴力など、女性に対する人権侵害<sup>きゅうさいさく</sup>への救済策を充実させる
3. 女性の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
4. 女性が被害者となる犯罪の取締りや被害者への支援を強化する
5. 働く場で、男女を平等に扱うよう働きかける
6. 男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を充実させる
7. さまざまな意思決定<sup>い しけつてい</sup>や方針決定の場への女性の参画<sup>さんかく</sup>を進める
8. 男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
9. メディア・リテラシー(メディアからの情報を主体的に読み解き、自ら発信する力)に関する教育を充実させる
10. マスコミ等が紙面、番組、広告などの内容に配慮するなどの自主的な取組を進める
11. その他( )
12. 特にない
13. わからない

### 3. 子どもの人権に関する問題についておたずねします。

問8 あなたが、「子どもの人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

1. 親・同居者がしつけのつもりで体罰を与えること
2. 親・同居者が虐待<sup>ぎゃくたい</sup>したり、無視したり、面倒をみなかったりすること
3. 子どもの前で、夫婦・パートナーの間の暴力があること
4. 子ども同士の「暴力」、「仲間はずし」、「無視」などのいじめがあること
5. いじめられている人が見て見ぬふりをされること
6. 進学先や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視したり、自分の考えを押しつけたりすること
7. 教師が、体罰を行ったり、性的な言動や不快な言動を行ったりすること
8. 児童買春、児童ポルノなどがあること
9. 性的犯罪の被害を受けること
10. その他（）
11. 特にない
12. わからない

問9 あなたは、いじめの問題についてどのように思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. いじめる人が悪い
2. いじめる人が悪いが、いじめられる人にも問題がある場合もある
3. いじめる人が悪いが、いじめられる人も悪い
4. いじめられる人が悪い
5. わからない

問10 あなたは、子どもの人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 親、家族、子どものための相談・支援体制を充実させる
2. 児童虐待<sup>じどうぎゃくたい</sup>やいじめの予防・解決・支援策を充実させる
3. 子どもの人権を守るための広報・啓発活動を推進する
4. 子どもが被害者となる犯罪の取締りを強化する
5. 子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
6. 体罰禁止を徹底させる
7. 他人への思いやりの心を育む
8. 校則や規則<sup>ゆゑ</sup>を緩やかにする
9. 教師等の人間性及び資質の向上を図る
10. 進路等で子どもの意思を尊重（個性を尊重）する
11. 地域の人々が子どもへの関心を持つ（地域での見守り体制を充実させる）
12. 家族の信頼関係を築く
13. マスコミ等が紙面、番組、広告などの内容に配慮<sup>はいりよ</sup>するなどの自主的な取組を進める
14. その他（）
15. 特にない
16. わからない

#### 4. 高齢者の人権に関する問題についておたずねします。

問11 あなたが、「高齢者の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 高齢者の働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
2. 悪徳商法あくとくしょうほうにねらわれることが多いこと
3. 高齢者がじゃま者扱いされること
4. 高齢者がひどいことを言われたり、暴力を振るわれること
5. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
6. ひとり暮らしなどの高齢者に生活に必要な情報が十分に伝わらないこと
7. 家族が世話をすることを避けること
8. 高齢者の金銭を勝手に使い込まれること
9. 病院や福祉施設において、高齢者が不十分な対応や虐待ぎゃくだいをされること
10. 道路の段差解消だんさかいしょう、エレベーターの設置など、高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと
11. その他（）
12. 特にない
13. わからない

問12 あなたは、高齢者の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いませんか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 高齢者のための相談・支援体制を充実させる
2. 高齢者に対する人権侵害への救済策きゅうさいさくを充実させる
3. 高齢者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
4. 高齢者の人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
5. 高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する
6. 高齢者の就業機会しゅうぎょうきかいを確保する
7. 高齢者に配慮した防犯、防災対策を強化する
8. 高齢者と他の世代との交流を進める
9. 地域での見守り体制を充実させる
10. 病院や福祉施設における、十分な対応と虐待防止ぎゃくだいを徹底させる
11. 公共的な施設のバリアフリー化（段差などの障壁しょうへきをなくすこと）を進める
12. その他（）
13. 特にない
14. わからない



## 5. 障害のある人の人権に関する問題についておたずねします。

問13 あなたが、「障害のある人の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 障害のある人に対する人々の理解が不十分なこと
2. 障害のある人がじろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 障害のある人の意見や行動が尊重されないこと
4. スポーツ活動や文化活動などへ気軽に参加できないこと
5. 学校の受け入れ体制が不十分なこと
6. アパートへの入居が困難なこと
7. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
8. テレビ・映画の字幕や場面説明が不十分なこと
9. 道路の<sup>だんさかいしょう</sup>段差解消、エレベーターの設置、その他障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと
10. 点字での案内表示、<sup>しゅわ</sup>手話通訳、<sup>おんせい</sup>音声ガイドなどの体制が整っていないこと
11. その他 ( )
12. 特にない
13. わからない

問14 あなたは、障害のある人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いませんか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 障害のある人のための相談・支援体制を充実させる
2. 障害のある人に対する人権侵害への<sup>きゅうさいさく</sup>救済策を充実させる
3. 障害のある人の<sup>しゅうぎょうきかい</sup>就業機会を確保する
4. 障害のある人とない人が一緒に学習できる学校教育を進める
5. 公共的な施設のバリアフリー化（段差などの<sup>しょうへき</sup>障壁をなくすこと）を進める
6. 障害のある人とない人が一緒に地域活動ができる機会を確保する
7. 障害のある人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
8. 障害のある人の人権に関する学校教育・社会教育・家庭教育を充実させる
9. 福祉施設を充実させる
10. 障害のある人に<sup>はいりょ</sup>配慮した防犯、防災対策を強化する
11. 障害のある人とない人の交流を促進する
12. その他 ( )
13. 特にない
14. わからない

## 6. 同和問題についておたずねします。

※ 同和問題（部落問題）とは、同和地区（被差別部落）の住民や出身者が、人生や日常生活のさまざまな面で差別を受けるなど、基本的人権が侵害されている重大な社会問題です。以下、同和問題、同和地区と表現します。

問15 あなたは、日本の社会にいまだに同和問題や同和地区があることを知っていますか。

◆あてはまる番号に**1つ〇**をつけてください。

1. 知っている ⇒ 「問16」にお進みください。
2. 知らない ⇒ 「問18」にお進みください。

問16 問15で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたが、同和問題や同和地区について、はじめて知ったのは、いつ頃ですか。

◆あてはまる番号に**1つ〇**をつけてください。

1. 小学校入学前
2. 小学生のとき
3. 中学生のとき
4. 15歳～18歳未満（高校生のとき）
5. 18歳～20歳未満
6. 20歳～30歳未満
7. 30歳以上
8. はっきりおぼえていない

問17 問15で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたが、同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけは、何ですか。

◆あてはまる番号に**1つ〇**をつけてください。

1. 家族から聞いた
2. 親せきの人から聞いた
3. 近所の人から聞いた
4. 学校の友だちや先輩・後輩から聞いた
5. 学校の授業で教わった
6. 職場の人から聞いた
7. テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
8. 同和問題の集会や研修会で知った
9. 県や市町村の広報誌などで知った
10. はっきりおぼえていない
11. その他（ )

問18 あなたのまわりで、同和地区の人を嫌<sup>いや</sup>がったり、避<sup>ま</sup>けたりする意識があると思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください

1. ない
2. ほとんどない
3. ある
4. 強くある
5. わからない

問19 あなたは、自分自身に、同和地区の人を嫌<sup>いや</sup>がったり、避<sup>ま</sup>けたりする意識があると思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください

1. ない
2. ほとんどない
3. ある
4. 強くある
5. わからない

問20 あなたは、親しい友人から「〇〇さんは同和地区出身だ」と言われたとき、どのように対応しますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 人権侵害でありよくないと言う
2. 批判がましいことは言わない
3. つい「そうか」と言ってしまう
4. その他 ( )
5. わからない

問21 あなたは、親しく付き合っている隣近所の人と同和地区出身とわかった場合、どうしますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. これまでと同じように付き合う
2. 表面的には付き合うが、できるだけ避<sup>ま</sup>ける
3. 付き合いはやめる
4. その他 ( )
5. わからない

問22 既婚の方のみお答えください。

仮に、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が、同和地区出身者であるとわかった場合、あなたは、どうだと思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 子どもの意志を尊重する
2. 子どもの意志が強ければやむを得ない
3. 家族・親せきの反対があれば認めない
4. 絶対に認めない
5. わからない

問23 未婚の方のみお答えください。

仮に、あなたが、同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、家族や親せきから強い反対を受けた場合、あなたは、どうだと思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 自分の意志を貫いて結婚する
2. 家族を説得して結婚する
3. 家族・親せきの反対があれば結婚しない
4. 絶対に結婚しない
5. わからない

問24 同和問題について「そっとしておけば部落差別は自然になくなる」という意見があります。この意見に対して、あなたはどう思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問25 あなたは、同和問題を解決するために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に3つ以内で○をつけてください。

1. 同和問題にかかわる人権相談や生活相談などを充実させる
2. 人権救済策<sup>きゅうさいさく</sup>を充実させる
3. 学校や地域、企業における人権・同和教育を推進する
4. 広報紙・誌の発行や人権講演会の開催など、人権啓発を推進する
5. 市民一人ひとりが同和問題について、正しい理解を深めるように努力する
6. 差別事件については、行政が積極的にかかわり、関係者に正しい認識と理解を深める努力をする
7. その他 ( )
8. わからない

## 7. 外国人市民等の人権に関する問題についておたずねします。

問26 あなたが、「外国人市民等の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 外国人市民等が、じろじろ見られたり、避けられたりすること
2. 外国人市民等の意見や行動が尊重されないこと
3. 外国人市民等が差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること  
※ ヘイトスピーチとは、一般的に「憎悪に基づく差別的な言動」を意味し、外見上の特徴、国籍、人種、民族、出生、性別、職業、思想、宗教などの違いを理由に、暴力、暴言、誹謗中傷、差別発言や書き込みなどを行い、差別したり、差別をおったり、侮辱したりする行為のことです。
4. 住宅への入居が困難なこと
5. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
6. 納税の義務があっても参政权さんせいけんがないこと
7. 公務員に応募できない場合があること
8. 施設・道路・公共交通機関などに、外国人市民等にもわかりやすい表記ひょうきが少ないこと
9. 外国人市民等に対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと
10. 近隣や地域の人とのふれあいや、理解を深める機会が少ないこと
11. その他（ )
12. 特にない
13. わからない

問27 あなたは、外国人市民等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思えますか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 外国人市民等が相談することができる場を増やす
2. 外国人市民等が、市政に意見や要望を提起できる場を増やす
3. 外国人市民等への情報提供を充実させる
4. 外国人市民等の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
5. 外国人市民等のための日本語教室を拡充する
6. 外国人市民等のための福祉・医療などの制度を充実させる
7. 外国人市民等と日本人の相互理解と交流を進める
8. その他（ )
9. 特にない
10. わからない

## 8. 新型コロナウイルス感染症をめぐる人権問題についておたずねします。

問28 あなたが、「新型コロナウイルス感染症の患者等の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 新型コロナウイルス感染症についての正しい理解がなされていないこと
2. 患者や感染者、その家族等のプライバシーが守られていないこと
3. 就職の際や職場・学校等において不利な扱いを受けること
4. 患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること
5. 医療従事者やその家族等が差別的な発言や行為を受けること
6. 患者や感染者、その家族等の相談・支援体制が十分でないこと
7. マスメディアやSNSで、興味本位であったり、不確実であったり、予断と偏見に満ちた情報が拡散されること
8. その他（）
9. 特にない
10. わからない

問29 新型コロナウイルス感染症の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、あなたのお考えに近いものはどれですか。

◆あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. あってはならない
2. あるのはしかたがない
3. あるのは当然である
4. わからない

問30 あなたは、新型コロナウイルス感染症の患者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 患者等のプライバシー保護を徹底する
2. 市民一人一人が新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身につける
3. 患者等への<sup>へんけん</sup>偏見や差別をなくすため、これまでの感染症に学び、広報・啓発活動を推進する
4. 正しい知識を義務教育の中でも身に付けさせる
5. 患者や家族等のための相談・支援体制を充実させる
6. 行政や医療機関等が連携し、マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制する
7. 患者等への人権侵害に対する救済策を強化する
8. その他（）
9. 特にない
10. わからない

## 9. HIV感染者等をめぐる人権問題についておたずねします。

※ HIV（ヒト<sup>めんえきふぜん</sup>免疫不全ウイルス）に感染して起こる病気をエイズといい、感染すると、身体を病<sup>めんえきけい</sup>気から守る免疫系が破壊されて、身体の抵抗力が低下し、様々な感染症や<sup>あくせいしゅよう</sup>悪性腫瘍にかかってしま<sup>う</sup>うものです。

問31 あなたが、「HIV感染者等の人権が特に守られていない」と思われるのは、どのようなこと  
ですか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. HIVやエイズについての正しい理解がなされていないこと
2. HIV感染者等のプライバシーが守られていないこと
3. 就職の際や職場において不利な扱いを受けること
4. 病院での治療や入院を断られること
5. 結婚を断られたり、周囲から結婚に反対されること
6. 無断でエイズ検査などをされること
7. 差別的な発言や行動をされること
8. その他（ )
9. 特にない
10. わからない

問32 あなたは、HIV感染者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思えますか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. プライバシーに<sup>はいりよ</sup>配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる
2. HIV感染者等への<sup>へんけん</sup>偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進する
3. HIVやエイズに関する正しい知識を義務教育の中でも身に付けさせる
4. HIV感染者等を支援するため、行政、医療機関、NGO等によるネットワーク化を進め  
る
5. HIV感染者等の生活支援をする
6. HIV感染者等の治療費を援助する
7. その他（ )
8. 特にない
9. わからない

10. ホームレス（路上生活）状態にある人をめぐる人権問題についておたずねします。

問33 あなたは、ホームレス（路上生活）状態にある人に対して、嫌がらせや暴力などの人権問題が発生していることを知っていますか。

◆あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

1. 実際に<sup>もくげき</sup>目撃したことがある
2. テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知っている
3. 人から聞いたことがある
4. あまり良く知らない
5. 知らない

問34 あなたは、ホームレス（路上生活）状態にある人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. ホームレス状態にある人のための相談・支援体制を充実させる
2. ホームレス状態にある人の人権を守るための広報・啓発活動を行う
3. ホームレス状態にある人が自立して生活できるよう支援する
4. ホームレス状態にある人が社会復帰できるまでの生活を支援するための施設を充実させる
5. その他（ ）
6. 特にない
7. わからない



## 11. 性的マイノリティ（LGBT等）をめぐる人権問題についておたずねします。

問35 あなたは、性的少数者、性的マイノリティ、LGBTといういずれかの言葉を聞いたことがありますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 言葉は聞いているし、意味も知っている
2. 言葉は聞いているが、意味は知らない
3. 言葉も聞いたことがないし、意味も知らない

問36 あなたが、「性的マイノリティ（LGBT等）の人権が守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 就職の際や職場において不利な扱いを受けること
3. 差別的な言動をされること
4. アパート等への入居を拒否されること
5. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. その他（ )
8. 特にない
9. わからない

問37 あなたは、性的マイノリティ（LGBT等）の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 啓発・広報活動の推進
2. 相談・支援体制の充実
3. 学校における理解の促進
4. 職場における理解の促進
5. 法令の制定や制度の見直し
6. 当事者同士が集まる交流の場をつくる
7. パートナーシップ制度の導入

※ パートナーシップ制度とは、自治体が法律上婚姻できない同性カップルなどを、条例や要綱でカップルとして公認する制度のことです。法的な拘束力はありませんが、公営住宅への入居が認められるなど、その自治体の中において一定の効力が期待できます。

8. その他（ )
9. 特にない
10. わからない

## 12. インターネット上での人権問題についておたずねします。

問38 あなたは、インターネット上の人権侵害として、特にどのようなことが心配されますか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 他人を誹謗中傷する表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること
2. 出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること
3. わいせつ画像や残酷な画像など有害な情報が掲載されていること
4. 個人情報の流出などの問題が多く発生していること
5. 情報発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと
6. 情報発信者が匿名の場合は被害者が救済されにくいこと
7. 悪質商法によるインターネット取引での被害が拡大していること
8. その他 ( )
9. 特にない
10. わからない

問39 あなたは、インターネット上の人権侵害をなくすために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. インターネット利用者に対して教育・啓発活動を推進する
2. 不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
3. 書き込みをした人に直接指摘する
4. プロバイダや掲示板などの管理者に対して、情報の停止・削除を求める  
※ プロバイダとは、インターネットに接続するためのサービスを提供する企業などのことです。
5. 法務局など相談機関に相談する
6. 規制・罰則の強化
7. 違反者への再発防止を図る取組みを進める
8. その他 ( )
9. 特にない
10. わからない

### 13. 人権を守るための活動についておたずねします。

問40 あなたは、人権問題に関する講演会や研修会、イベントなどに参加したことがありますか。

◆あてはまる番号に**1つ**○をつけてください。

1. 積極的に参加している
2. 積極的ではないが参加している
3. ほとんど参加していないが、参加したいと思っている
4. 参加したことがない
5. 参加したいと思わない

問41 あなたは、長岡市がめざしている「互いの人権を認め、尊重しあう社会」を実現するためには、今後、特にどのような取組が必要だと思いませんか。

◆あてはまる番号に**3つ以内**で○をつけてください。

1. 人権擁護じんけんようごについての啓発活動を推進する
2. 学校の人権・同和教育を充実させる
3. 人権相談窓口（電話相談含む）を充実させる
4. 人権に関する総合窓口ちゆうを設ける
5. 人権侵害被害者のためのシェルター（避難所）を設置する
6. 審議会などにおいて、女性や障害のある人などの委員を増やす
7. 人権にかかわる活動をしているNPO法人や市民活動団体を援助する
8. 差別・人権侵害の禁止についてさらに周知する
9. 人権擁護委員じんけんようごいいんの活動を充実させる
10. 人権侵害の被害者を救済きゆうさいする仕組みをつくる
11. その他（ )
12. 特に何かする必要はない
13. わからない

### 14. あなた自身のことについておたずねします。

問42 あなたの性別は

◆あてはまる番号に**1つ**○をつけてください。

1. 女性
2. 男性
3. 選択しない

問43 あなたの年齢は

◆あてはまる番号に**1つ**○をつけてください。

1. 10歳代
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

最後に、人権問題について、普段から考えておられることや感じておられることなどがありましたら、下の欄にご自由にお書きください。

ご記入いただいた「調査票」は、同封した返信用封筒へ入れ、  
7月21日（水曜日）までにご投函ください。（切手は不要です。）

## 人権に関する市民意識調査報告書

---

編集・発行

長岡市

市民協働推進部人権・男女共同参画課

(令和4年4月1日～地方創生推進部)

〒940-0062

新潟県長岡市大手通2丁目2番地6

TEL 0258-39-2746

FAX 0258-39-2747

E-mail [will@city.nagaoka.lg.jp](mailto:will@city.nagaoka.lg.jp)

令和4年3月

---